



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

「甲を着た古墳人」発見 (金井東裏遺跡 渋川市金井)

金井東裏遺跡は、国道 353 号金井バイパス（上信自動車道）建設に伴い、平成 24 年 9 月から発掘調査を開始した。遺跡は吾妻川右岸に立地し、標高は 230m である。遺跡から約 8km 南西の位置には榛名山ニツ岳（1,343m）がある。

下段写真の土層断面の白い壁の部分が 6 世紀中ごろの榛名山の噴火で積もった軽石（Hr-FP）である。中央の溝が、「甲を着た古墳人」が発見された 31 号溝で、幅が約 2m、深さは約 1m の規模で、西方向へ蛇行しながら調査区を横切っている。この溝は、6 世紀初頭榛名山の噴火（Hr-FA）に伴う火砕流堆積物で埋没していた。上段写真右が「甲を着た古墳人」で、左が別の「甲」である。古墳人は、両膝を曲げ頭部を西に向けてうつぶせに倒れた状態であった。着装していた甲は、小札という厚さ 1mm ほどの鉄板を紐でとじ合わせた「小札甲」である。

甲を着た古墳人の西側に 1m 離れて「小札甲」が、東側に 3m 離れて乳児頭骨が見つかった。いずれも同じ火砕流堆積物で埋没していることから、同時に被災したとみられる。また溝の周辺からは矛も出土した。

下段の写真は平成 24 年 12 月 12 日に行われた遺跡説明会の様子である。



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

当事業団は昭和53年7月に設立以来、県内の埋蔵文化財の調査研究並びに保護思想のかん養と普及等に関する事業を行うことで、地域の文化の振興に寄与してまいりました。

平成24年度も国道17号上武道路関連、県公共事業関連および八ッ場ダム関連の発掘調査事業や資料整理事業と共に、埋蔵文化財の調査成果を活用した普及事業を実施しています。それぞれの事業内容は各報告に拠るものとしませんが、これらの事業の進捗によって当事業団の目的が達成されてきたものと考えています。

また、平成24年度は「東国文化」が群馬県の文化振興施策の中心として掲げられ、特に古墳文化の華々しさについては当事業団の調査成果が大きく注目されることにもなりました。さらに、上信自動車道に伴う渋川市金井東裏遺跡の発掘調査で「甲を着た古墳人」が発見されるという全国初の発見は県内をはじめ全国的に大きな話題を投げかけることとなりました。

なお、平成24年度は当事業団が公益財団法人へ移行した初年度にもあたり、今後ますます埋蔵文化財の発掘調査及び研究並びに出土品の保管・活用などを通じて、県民文化の振興と発展に寄与していきたいと考えております。

今後とも当事業団が実施する事業へのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成25年10月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理 事 長 上 原 訓 幸

例 言

1. 本書は平成24年度の事業をまとめたものである。
2. 付篇は、県内の各市町村教育委員会の協力によって作成された資料に基づき、年報紀要委員会が編集した。
3. 本書の編集は年報紀要委員会が行った。年報紀要委員会の構成は以下のとおりである。

原雅信(調査部長：委員長)

渡邊雅恵(総務部経理課主任)

長谷川博幸(資料部資料1課主任調査研究員：年報座長)

石守晃(資料部資料2課上席専門員：編集長)

谷藤保彦(資料部資料2課上席専門員：紀要座長)

山口逸弘(八ツ場ダム調査事務所調査課上席専門員)

西田健彦(資料部普及課専門調査役)

凡 例

1. 降下火山灰の名称と年代は以下のとおりである。

As-A …… 浅間 A テフラ(天明三年(1783))

As-B …… 浅間 B テフラ(天仁元年(1108))

Hr-FP …… 榛名山二ツ岳降下軽石(6世紀中葉)

Hr-FA …… 榛名山二ツ岳降下火山灰(5世紀末～6世紀初頭)

As-C …… 浅間 C テフラ(3世紀後半)

As-BP …… 浅間板鼻褐色軽石群(約2.0～2.5万年前)

Ag-KP …… 赤城鹿沼テフラ(約4.4万年前)

目 次

序

カラー口絵

国内発“甲を着た古墳人”発見！！～金井東裏遺跡(渋川市)

姿をあらわした“甲を着た古墳人”

“甲を着た古墳人”調査経過

I 事業団の概要

- 1 設立の趣旨 …… 1
- 2 目的 …… 1
- 3 沿革 …… 1
- 4 組織・名簿 …… 2
- 5 理事会及び評議員会の開催状況 …… 4
- 6 平成24年度主要行事 …… 7
- 7 会計経理の状況 …… 7

II 事業概要

- 1 発掘調査事業概要 …… 8
 - (1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査 …… 8
 - (2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査 …… 8
- 2 整理事業概要 …… 10
 - (1) 幹線交通関連埋蔵文化財整理事業 …… 10
 - (2) 公共開発関連埋蔵文化財整理事業 …… 10
- 3 普及事業概要 …… 12
 - (1) 資料と施設の公開 …… 12
 - (2) 指導者の派遣 …… 18
 - (3) 情報誌等の刊行 …… 18
 - (4) 資料の保存と活用 …… 20

III 研究活動概要

- 1 職員自主研究活動指定研究 …… 23

IV 各遺跡の調査概要 …… 24

V 付篇

- 1 平成24年度 県・市町村等発掘調査一覧 …… 61
- 2 平成24年度 県・市町村等整理事業一覧 …… 68
- 3 平成24年度 県・市町村等報告書一覧(事業団含む) …… 74
- 4 平成24年度 県・市町村等現地説明会・関連行事一覧 …… 79

国内初“甲を着た古墳人”発見!! ～金井東裏遺跡(渋川市)～

榛名山ニッ岳礫石層(Hr-PP)

溝内の火山灰層中で確認された“甲を着た古墳人”と2号甲

平成24年11月19日、榛名山の火砕流堆積物に埋もれた31号溝の中から、大きな鉄錆の塊と頭蓋骨が出土した。“甲を着た古墳人”発見の一瞬である。確認状況から、古墳人が甲を着たまま火砕流に飲み込まれて亡くなったものと判断された。これまで、古墳時代の火山噴火の被災者は見つかっておらず、まして甲を着たままというのは全国初の発見で大きな話題となった。他にも、“甲を着た古墳人”の東側

には、乳児の頭蓋骨の一部が、16mほど西側には足の骨の一部も出土しており、被災したのは一人だけではなかったことが分かっている。

着ていた甲は、小さな鉄板(小札)を数百枚、紐で綴じる小札甲で、この古墳人の西側からもう1領単体で出土した。また、古墳人と甲の間からは、矢先を東に向けた鉄鏃が20数本出土し、さらに古墳人の西側5mほどの溝の外からは鉄矛が1点出土した。

姿をあらわした“甲を着た古墳人”

写真手前が2号甲で、奥が“甲を着た古墳人”。両方ともにHr-FA初期の火山灰の直上から出土し、その後にく火砕流堆積物(Hr-FA)で埋もれていた。

31号溝の中で発見された“甲を着た古墳人”と2号甲(西から)

中央の鉄鏝の部分が小札甲で、左側に頭骨、その下側に左上腕骨、甲の右側には右大腿骨の一部が見える。

“甲を着た古墳人”（南から）

甲の手前に見えるのが右大腿骨で、膝を地面に付いて倒れている。また、甲内部にも火砕流堆積物(Hr-FA)が充填していた。

“甲を着た古墳人”（東から）

2号甲のCTスキャン画像

2号甲(南から)

甲は巻かれた状況で発見された。下側が草摺りで、内部には火砕流堆積物(Hr-FA)が充満している。

白く見える部分が小札の重なりで、巻かれている様子が分かる。中央にある湾曲した部分が腰札、右側が長側、左側が草摺り。

2号人骨(乳児骨)の調査状況(南から)

絵筆の先に見える丸い部分が頭骨。

小札甲の構造

小札甲復元図

鉄矛の出土状況(西から)

左側の錆の部分の部分が矛の本体で、右側に白く見える部分は柄の飾りと見られる金属箔。

“甲を着た古墳人” 調査経過

金井東裏遺跡の発掘調査は平成24年9月から開始し、表土下に堆積する榛名山二ツ岳軽石層(Hr-FP)上面での遺構調査を終了し、引き続き同軽石下の調査を実施した。

その後、11月にはさらに下層の榛名山二ツ岳火山灰層(Hr-FA)の調査に着手した。その過程で全国初となる“甲を着た古墳人”の発見ということになった。

平成24年11月19日、31号溝から甲を着た状態の人骨の他、乳児の骨(2号人骨)や2号甲、さらに鉄鏃や鉄矛などが発見された。

12月10日、発見の状況などについて記者発表し、12日に遺跡説明会を行ったところ、平日にもかかわらず2,600人を超える見学者が訪れた。

12月13日、“甲を着た古墳人”の骨や甲の劣化を防ぐために、周囲の土ごと切り取り、発泡ウレタンで保護して埋蔵文化財調査事業団保存処理作業室に運び込んだ。

平成25年2月13日に、“甲を着た古墳人”などの発泡ウレタンの除去を行い、詳細調査の準備を完了した。

2月23日には、県教育委員会主管の「金井東裏遺跡出土甲着人骨等調査検討委員会」が開催され、甲を着た古墳人などの調査方針が協議された。

2月24日から、調査検討委員会の方針に基づき、九州大学大学院の田中良之教授のグループを中心として、“甲を着た古墳人”の第1回詳細調査が行われ、四肢骨などが明らかになり、倒れていた状況がより鮮明になった。

3月1日、2号甲のCTスキャンを行い、小札甲であることを確認した。

3月3日から8日まで、事業団本部にて“甲を着た古墳人”の一般公開を行ったところ、8,300人を超える見学者があった。

3月11日から、“甲を着た古墳人”第2回詳細調査を行い、足先や手の位置など細部の状況が判明した。

“甲を着た古墳人”（北から）

平成24年12月12日の遺跡説明会

第1回詳細調査の様子

“甲を着た古墳人” 一般公開

I 事業団の概要

1 設立の趣旨

歴史的に東国古代文化の中心であった本県には、著名な古墳を中心に多くの遺跡が存在する。特に、我が国の旧石器文化の研究の端緒になった岩宿遺跡、1万基にも及ぶとされた古墳の濃密な分布など、本県文化の特徴を物語る遺跡の存在は県民にとって大きな誇りであり、これら文化財を共有の財産として保護し、後世に伝えていくことは、我々の責務である。

しかし、一方では、県民生活の安定向上をはかるための施策として、各種の開発や交通網の整備などが昭和48年度以来急激に増加した。その結果、開発と文化財保護を両立させることが大きな問題となり、それへの対応が急務となった。

こうした背景の下で、文化財保護法の理念にのっとり、開発と文化財保護の調和を図るための施策の一環として、昭和53年度に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された。

平成18年6月「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の施行を受けて、平成24年度から公益財団法人へ移行した。

2 目的

県内の埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想のかん養と普及を図り、もって県民文化の振興に寄与する。

3 沿革

- 昭和53年7月15日 法人設立認可(事務局を前橋市に設置、業務開始)
- 昭和55年4月8日 事務局を勢多郡北橋村に移転
- 昭和59年4月1日 分室を北橋村に建設
- 昭和61年4月1日 関越道上越線調査事務所を多野郡吉井町に設置
- 平成5年3月30日 分室を移転
- 平成6年3月31日 関越道上越線調査事務所を閉所
- 平成8年7月1日 発掘情報館開館
- 平成13年4月1日 東毛調査事務所を伊勢崎市に設置
- 平成14年4月1日 八ッ場ダム調査事務所を中之条町に設置
- 平成15年6月1日 八ッ場ダム調査事務所を長野原町に移転
- 平成17年4月1日 分室を前橋市岩神町に設置
- 平成18年2月20日 市町村合併により住所表示変更(渋川市北橋町下箱田)
- 平成18年3月31日 東毛調査事務所を閉所
- 平成19年1月28日 前橋市岩神分室を閉所
- 平成20年7月15日 創立30周年記念式典を挙行
- 平成24年3月31日 分室を閉所
- 平成24年4月1日 公益財団法人設立及び解散登記申請・移行

4 組織・名簿

ア 役員 総数10名(理事8名、監事2名)

平成25年3月31日現在

役職名	氏名	備考
理事長	須田 榮一	学識経験者
常務理事	郡 和良	学識経験者
理事	笹澤 武	群馬医療福祉大学社会福祉学部長
理事	曾我 孝之	県商工会議所連合会会長
理事	石川 克博	元群馬県小学校長会長
理事	朝倉 雅彦	一般財団法人群馬経済研究所専務理事
理事	神保 侑史	元多胡碑記念館長
理事	右島 和夫	県文化財保護審議会専門委員
監事	荒木 伸夫	公認会計士
監事	秋池 武	下仁田町歴史民俗資料館ふるさとセンター所長

イ 評議員(総数8名)

平成25年3月31日現在

役職名	氏名	備考
評議員	伊勢屋ふじこ	上武大学ビジネス情報学部教授
評議員	井上 唯雄	前橋市文化財調査委員
評議員	久保 田健	上毛新聞社編集局文化生活部長
評議員	小島 隆一	群馬テレビ報道制作局報道部長
評議員	田部 井俊勝	県商工共済・火災共済共同組合理事長
評議員	西野 壽章	高崎経済大学教授
評議員	松本 浩一	県文化財保護審議会専門委員
評議員	西田 健彦	県教育委員会文化財保護課長

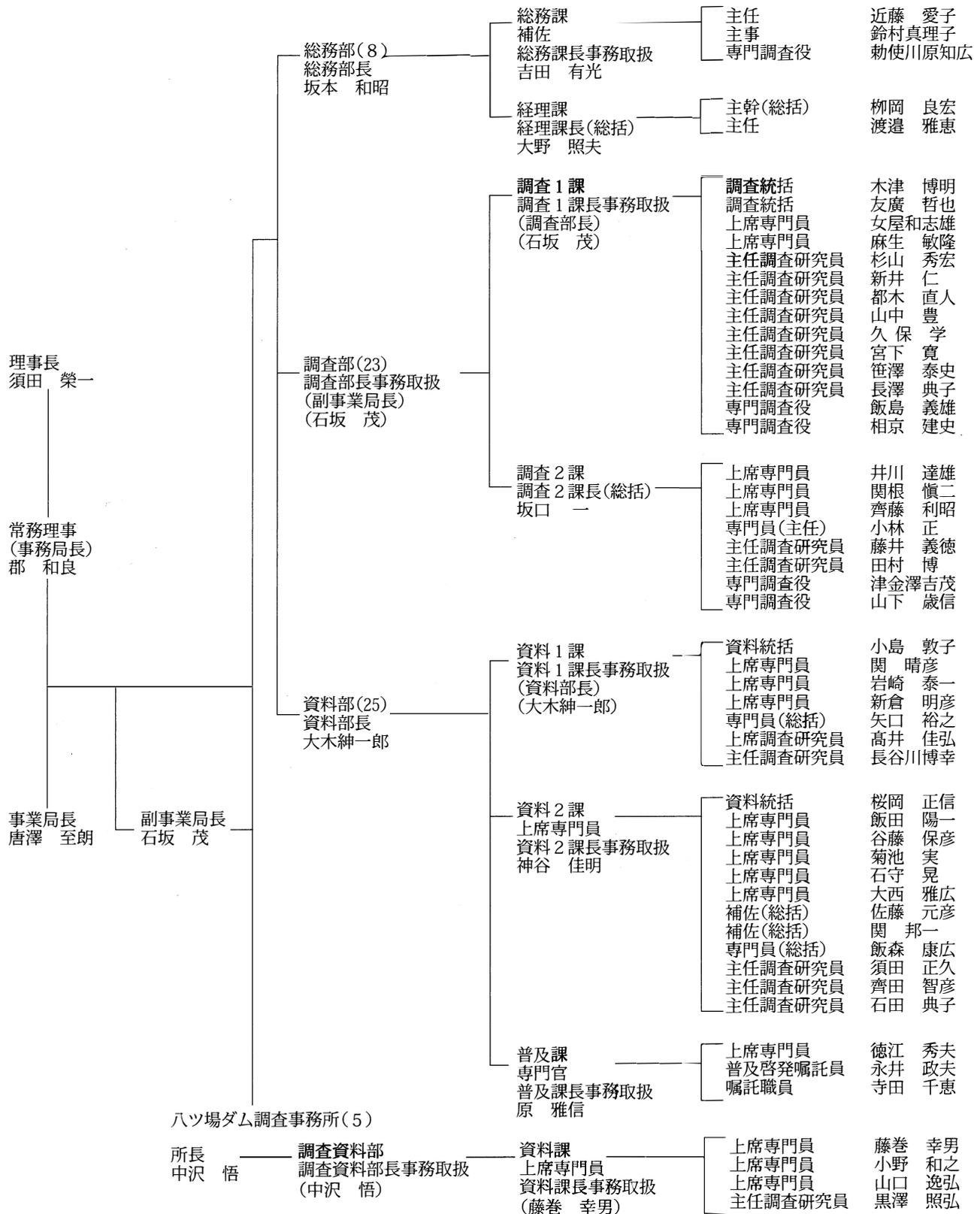
ウ 特別顧問(総数7名)

平成25年3月31日現在

役職名	氏名	備考
特別顧問	今井 登	前理事
特別顧問	松島 榮治	前理事
特別顧問	佐藤 信	前理事
特別顧問	小野 宇三郎	元理事長
特別顧問	高橋 勇夫	前理事長
特別顧問	森田 秀策	前理事
特別顧問	峰岸 純夫	前理事

工 事務局 総数65名(派遣職員 24名、法人職員 39名、嘱託員 2名)

平成25年3月31日現在



(兼務) 補佐 吉田 有光、 専門調査役 勅使川原知広

5 理事会及び評議員会等の開催状況

会議名	開催日 開催場所	表決状況	議案
第105回 理事会	平成24年4月12日 発掘情報館研修室	表決者 8 出席者 7 監事出席 2	1 平成24年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 2 平成24年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 3 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団と外部役員との責任限定契約の締結について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団特別顧問設置要項の制定について 5 その他 ・専決処分の報告について
平成24年度 第1回 特別顧問会議	平成24年5月24日 発掘情報館研修室	参加者 5	1 公益財団法人への移行について 2 平成24年度事業計画について
第106回 定例理事会	平成24年6月26日 発掘情報館研修室	表決者 8 出席者 7 監事出席 2	1 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告について 2 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 3 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 4 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 5 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支計算書について 6 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支附属明細書について ・監査の報告について 7 専決処分の承認について ・平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算の補正(補正2号)について 8 その他 ・平成24年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支計算について(損益ベース予算書)
第47回 定時評議員会	平成24年6月28日 発掘情報館研修室	表決者 8 出席者 5	1 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告について 2 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について 3 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 4 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 5 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支計算書について 6 平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支附属明細書について ・監査の報告について 7 専決処分の承認について ・平成23年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算の補正(補正2号)について

会議名	開催日 開催場所	表決状況	議案
			8 その他 ・平成24年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支計算について(損益ベース予算書)
第107回 理事会	平成24年10月5日 発掘情報館研修室	表決者 8 出席者 8 監事出席 2	1 理事長及び常務理事の職務執行状況について 2 報告事項 (1)情報公開について (2)創立35周年記念誌について
理事・監事評議員 合同視察	平成24年10月5日	参加者 12	1 金井東裏遺跡 2 関根細ヶ沢遺跡 3 かみつけの里博物館
特別顧問現地業務 視察	平成24年11月20日	参加者 4	1 関根細ヶ沢遺跡 2 楽山園(甘楽町小幡) 3 本郷畑内遺跡
第108回 理事会	平成25年3月12日 発掘情報館研修室	表決者 8 出席者 7 監事出席 2	1 平成25年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 2 平成25年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 3 第48回評議員会及び第49回評議員会の招集について 4 報告事項 (1)第107回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況について (2)専決処分の報告について ・平成24年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正について 5 その他 (1)平成25年度発掘調査・整理事業対象遺跡について (2)金井東裏遺跡の発掘調査について (3)創立35周年記念出版について
第48回 評議員会	平成25年3月14日 発掘情報館研修室	表決者 8 出席者 8	1 平成25年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 2 平成25年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 3 報告事項 (1)専決処分の報告について ・平成24年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正について 4 その他 (1)平成25年度発掘調査・整理事業対象遺跡について (2)金井東裏遺跡の発掘調査について (3)創立35周年記念出版について

会議名	開催日 開催場所	表決状況	議案
平成24年度 第2回 特別顧問会議	平成25年3月18日 発掘情報館研修室	参加者 6	1 平成25年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 2 その他 (1)平成25年度発掘調査・整理事業対象遺跡について (2)金井東裏遺跡の発掘調査について (3)創立35周年記念誌について

6 平成24年度主要行事

4月1日	辞令交付式・雇用書交付式
6月21日～22日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会(千葉県)
6月23日	調査遺跡発表会(前橋テルサ)
7月1日	まいぶんバスツアー(江戸東京・明治大学博物館)
7月6日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会総会(栃木県)
7月20日～8月31日	夏休み親子宿題教室開催
8月8日～10日	埋蔵文化財専門講座(教員コース)開講
9月4日～13日	埋蔵文化財専門講座(行政コース)開講
10月20日～11月26日	古代東国文化サミット開催
11月3日	長野原町民文化祭参加(八ッ場ダム調査事務所)
11月4日	野焼き体験教室開催
11月15日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会(東京都)
11月21日～22日	関東甲信越静地区埋蔵文化財行政担当者会議(千葉県)
12月22日	国道17号上武道路開通式
2月16日	公開考古学講座(前橋テルサ)
3月3日～3月8日	出土甲着装人骨一般公開
3月21日～4月10日	春の勾玉まつり開催
3月29日	退職辞令等交付式

7 会計経理の状況

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

	予算額	決算額
事業収入	2,257,037,000	2,257,036,532
その他収入	275,794,000	245,027,896
収入合計	2,532,831,000	2,502,064,428

支出の部

(単位：円)

	予算額	決算額
事業費	1,632,132,000	1,632,130,081
管理費	717,748,000	717,751,805
その他支出	152,184,000	151,693,906
支出合計	2,502,064,000	2,501,575,792

Ⅱ 事業概要

1 発掘調査事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

番号	事業	遺跡名	所在地	面積㎡	調査期間
委託者 国土交通省					
1	一般国道17号(上武道路)改築工事	王久保遺跡	前橋市上細井町	642	平24.4.1～平24.4.28
2		新田上遺跡	前橋市上細井町	10,328	平24.4.1～平24.11.30
3		上細井中島遺跡	前橋市上細井町	809	平24.10.1～平24.10.31
4		上細井蟬山遺跡	前橋市上細井町	21	平24.11.1～平24.11.30
5		引切塚遺跡	前橋市青柳町	2,064	平24.4.1～平24.8.31
6		青柳宿上遺跡	前橋市青柳町・日輪寺町	11,513	平24.4.1～平24.11.30
7		川端根岸遺跡	前橋市川端町	16,000	平24.12.1～平25.3.31
8		川端山下(道東)遺跡	前橋市川端町	2,279	平24.12.1～平25.3.31
9		関根細ヶ沢遺跡	前橋市関根町	9,303	平24.8.1～平25.3.31
10		関根赤城遺跡	前橋市関根町	1,369	平24.4.1～平24.7.31
11	ハッ場ダム	林宮原遺跡	長野原町大字林	850	平24.4.1～平24.5.17 平24.5.31～平24.6.12
12		町遺跡	長野原町大字長野原	4,483	平24.5.16～平24.5.31 平24.6.12～平24.9.10
13		上原Ⅰ遺跡	長野原町大字林	1,392	平24.10.9～平24.11.30
14		三平Ⅰ遺跡	長野原町大字川原畑 他	3,120	平24.9.10～平24.10.9 平24.11.30～平24.12.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

番号	事業	遺跡名	所在地	面積㎡	調査期間
委託者 群馬県県土整備部					
15	渋川大胡線社会資本総合整備(活力基盤(交安))	米野芦沼遺跡	前橋市富士見町	210	平24.7.1～平24.7.31
16	国道353号金井バイパス(上信自動車)道路改築	金井東裏遺跡	渋川市金井	6,338	平24.9.1～平25.3.31
17	国道354号玉村伊勢崎バイパス社会資本総合整備(活力創出基盤整備)	東上之宮遺跡	伊勢崎市東上之宮町	14,338	平24.4.1～平24.12.31
18		南玉二丁町遺跡	玉村町南玉	19,730	平24.4.1～平25.3.31
		南玉埋堀遺跡	玉村町南玉		
		下之宮中沖遺跡	玉村町下之宮		
19	社会資本整備総合交付金(活力創出基盤整備)国道462号(本関拡幅)	関遺跡	伊勢崎市本関町	4,295	平24.4.1～平24.10.31
20	伊勢崎深谷線(東毛広幹道【境工区】)社会資本総合整備(地域住宅支援)	上武士・堀北遺跡	伊勢崎市境上武士	1,339	平24.6.1～平24.6.30
21	社会資本整備総合交付金(街路)事業(都)3.4.18号伊勢崎桐生線	宗高南遺跡	伊勢崎市平和町	739	平24.10.1～平24.10.31
22	都市計画道路3.3.2吉井北通り線社会資本整備総合交付金(活力基盤)	本郷畑内遺跡	高崎市吉井町	6,351	平24.9.1～平25.2.28

番号	事業	遺跡名	所在地	面積㎡	調査期間
委託者 群馬県県土整備部					
23	温井川社会資本総合整備交付金事業(地域自主戦略)	新町戸崎遺跡	高崎市新町	480	平25.1.1～平25.1.31
24	(都)3.4.5原町駅南口線外1線社会資本整備総合交付金(活力基盤)	下郷古墳群	吾妻郡東吾妻町	2,180	平24.11.1～平24.12.31
25	(国)291号地域自主戦略交付金(交安)	深沢Ⅱ遺跡	みなかみ町月夜野	500	平24.7.1～平24.7.31
26	社会資本整備総合(活力基盤)(都)3.2.2東毛幹線(太田第二工区)	田谷遺跡	太田市矢島町・東矢島町	9,286	平24.4.1～平24.11.30
27	社会資本総合整備(活力創出基盤整備)(国)122号(八重笠道路)	石神遺跡	太田市龍舞町	10,203	平24.7.1～平25.3.31
28	太田大間々線バイパス地方特定道路整備	笠松遺跡	太田市新田小金井町	4,471	平24.4.1～平24.7.31
29	足利伊勢崎線社会資本総合整備(活力基盤(交安))	寺中遺跡・上宿遺跡	太田市丸山町・矢田堀町	1,345	平24.8.1～平24.9.30
30	単独道路改築事業(一)大原境三ツ木線	前六供遺跡	太田市新田上田中町	540	平24.4.1～平24.4.30
31	国道354号大泉邑楽バイパス社会資本総合整備事業(活力創出基盤整備)	間之原遺跡 間之原東遺跡	太田市龍舞町・大泉町北小泉	1,431	平24.4.1～平24.6.30
32	社会資本総合整備交付金事業(下水)県中央水質浄化センター施設整備	宇貫北沖遺跡	玉村町大字宇貫	6,500	平25.1.1～平25.3.31
委託者 群馬県企業局					
33	群馬県県央第一水道事務所浄水場増設工事	金井古墳群	榛東村広馬場	3,744	平24.4.1～平24.8.31
委託者 群馬県病院局					
34	群馬県立がんセンター緩和ケア病棟建設	高林西原古墳群	太田市高林西町	2,288 986	平24.8.1～平24.9.30 平25.3.1～平25.3.31
委託者 総務省					
35	前橋地方合同庁舎(仮称)整備	前橋城遺跡	前橋市大手町	2,245	平24.12.1～平25.3.29
委託者 法務省					
36	前橋地家裁高崎支部庁舎耐震改修等	高崎城遺跡	高崎市高松町	293	平24.5.1～平24.5.31

※番号は「IV 各遺跡の調査概要」の番号と同じ

2 整理事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財整理

事業	遺跡名	所在地	刊行報告書	整理期間
委託者 国土交通省				
上武道路その3	上泉武田遺跡	前橋市上泉町	事業団第544集刊行	平24.4.1～平24.6.30
	芳賀東部団地遺跡	前橋市五代町・鳥取町	事業団第551集刊行	平24.4.1～平24.9.30
	堤遺跡	前橋市勝沢町	事業団第568集刊行	平24.4.1～平25.3.31
	丑子遺跡	前橋市上細井町	事業団第558集刊行	平24.4.1～平24.11.30
	上細井五十嵐遺跡			
	天王・東紺屋谷戸遺跡	前橋市上細井町・富士見町		平24.4.1～平25.3.31
	上町・時沢西紺屋谷戸遺跡	前橋市上細井町・富士見町	事業団第561集刊行	平24.4.1～平25.3.31
	上細井蟬山遺跡	前橋市上細井町	事業団第560集刊行	平24.4.1～平24.12.31
	王久保遺跡	前橋市上細井町・富士見町	事業団第557集刊行	平24.4.1～平24.11.30
	上細井中島遺跡	前橋市上細井町		平25.1.1～平25.3.31
	山王・柴遺跡群	前橋市上細井町・青柳町		平25.3.1～平25.3.31
	田口下田尻遺跡	前橋市田口町		平25.1.1～平25.3.31
	ハッ場ダム	長野原一本松遺跡	長野原町長野原	事業団第554集刊行
横壁中村遺跡		長野原町横壁	事業団第559集刊行	平24.4.1～平25.3.31
上ノ平Ⅰ遺跡		長野原町川原畑		平25.1.1～平25.3.31
長野原城跡 林中原Ⅰ遺跡		長野原町長野原ほか		平25.1.1～平25.3.31
楡木Ⅰ遺跡 西久保Ⅳ遺跡(2) 上原Ⅳ遺跡		長野原町林ほか	事業団第549集刊行	報告書刊行のみ

(2) 公共開発関連埋蔵文化財整理

事業	遺跡名	所在地	刊行報告書	整理期間
委託者 群馬県県土整備部				
渋川大胡線社会資本総合整備(活力基盤(交安))	米野芦沼遺跡	前橋市富士見町	事業団第550集刊行	平24.9.1～平24.9.30
高崎渋川線バイパス(第2期工区)社会資本総合整備(活力創出基盤整備)	十日市遺跡他	吉岡町南下十日町他	事業団第563集刊行	平24.6.1～平25.2.28
国道354号(玉村バイパス)社会資本総合整備(活力創出基盤整備)	上新田新田西遺跡 齊田中耕地遺跡	玉村町上新田		平24.12.1～平25.3.31 平24.12.1～平25.3.31
国道354号玉村伊勢崎バイパス社会資本総合整備(活力創出基盤整備)	福島味噌袋遺跡 下之宮高俣遺跡 下之宮中沖遺跡 南玉二丁遺跡 東上之宮遺跡	玉村町福島 伊勢崎市上之宮町		平24.12.1～平25.3.31 平25.2.1～平25.3.31 平25.2.1～平25.3.31 平25.2.1～平25.3.31 平25.2.1～平25.3.31
高崎伊勢崎線(蕪塚工区)社会資本総合整備(地域住宅支援)	阿弥大寺本郷遺跡	伊勢崎市田中町・蕪塚町	事業団第564集刊行	平24.4.1～平25.1.31

事業	遺跡名	所在地	刊行報告書	整理期間
委託者 群馬県県土整備部				
伊勢崎深谷線(東毛広幹道【境工区】)社会資本総合整備(地域住宅支援)	木島・下久保遺跡 上武士・堀北遺跡	伊勢崎市境木島 伊勢崎市境上武士	事業団第543集刊行 事業団第562集刊行	平24.4.1～平24.5.31 平24.4.1～平25.1.31
社会資本整備総合交付金事業(活力創出基盤整備)国道462号(本関拡幅)	新屋敷遺跡 上西根遺跡	伊勢崎市鹿島町・本関町 伊勢崎市鹿島町	事業団第565集刊行	平24.4.1～平25.1.31
社会資本整備総合交付金事業(活力基盤整備)国道462号(本関拡幅)	本関町古墳群 関遺跡	伊勢崎市本関町		平25.2.1～平25.3.31
国道354号高崎玉村バイパス(高崎工区)社会資本総合整備(活力創出基盤整備)	綿貫牛道遺跡 綿貫原北遺跡 綿貫伊勢遺跡 下滝高井前遺跡	高崎市綿貫町 高崎市下滝町	事業団第547集刊行 事業団第556集刊行 事業団第567集刊行	平24.4.1～平25.3.31 平24.4.1～平25.3.31
社会資本総合整備(地域自主戦略(交安))事業一般国道254号川内工区	吉井川下宿遺跡	高崎市吉井町	事業団第566集刊行	平24.11.1～平25.1.31
社会資本総合整備(地域自主戦略(交安))主要地方道藤岡大胡線(下栗須交差点改良)	下栗須門浄法遺跡	藤岡市下栗須	事業団第555集刊行	平24.12.1～平24.12.31
社会資本整備総合交付金事業(活力創出基盤整備)主要地方道路前橋安中富岡線	富岡清水遺跡 富岡城跡	富岡市富岡上高尾地内	事業団第552集刊行	平24.8.1～平24.10.31
国道291号社会資本総合整備(地域自主戦略(交安))	深沢Ⅱ遺跡	みなかみ町月夜野	事業団第553集刊行	平24.10.1～平24.11.30
太田大間々線バイパス地方特定道路整備	笠松遺跡 堀廻遺跡	太田市新田小金井町	事業団第569集刊行	平24.8.1～平25.1.31
(主)桐生伊勢崎線阿左美バイパス社会資本総合整備(活力創出基盤整備)	北山遺跡	みどり市阿左美	事業団第545集刊行	平24.4.1～平24.7.31
地方特定道路整備事業(代行)市道1級208号線	樋ノ下遺跡	桐生市黒保根町	事業団第548集刊行	平24.8.1～平24.8.31
国道354号(大泉邑楽バイパス)社会資本総合整備事業(活力創出基盤整備)	間之原遺跡	太田市龍舞町		平25.2.1～平25.3.31
社会資本総合交付金事業(活力創出基盤整備)長野原草津口駅舎整備	尾坂遺跡	長野原町尾坂	事業団第546集刊行	平24.7.1～平24.7.31

3 普及事業概要

(1) 資料と施設の公開

A 資料の利用と貸出

当事業団では、群馬県埋蔵文化財調査センターが収蔵する考古資料の貸出や利用の事務を行っている。

資料の貸出は、学校・博物館等の公的機関が、公開・教育を目的として資料を利用する場合に行う。資料の利用は、学術研究目的で、センター内で考古資料の観察、撮影、実測等を行うことをいう。

平成24年度の実績は以下の表のとおりである。

ア 資料の利用と貸出数

内訳	貸出・利用			利 用		
	件 数	写真等	遺 物	件 数	写真等	遺 物
1 博物館・資料館等	32	92	1,437	13	15	1,229
2 学 校	22	2	123			
3 地域社会	5	38	1			
4 公的編纂事業						
5 埋蔵文化財行政	22	151	1,453	2		41
6 委託者	2	4				
7 民間事業所				1		193
8 研究者	22	199	155	16	526	2,219
9 報道関係	3	10				
10 出版社	16	67				
11 行 政	2		2			
小 計	126	563	3,171	32	541	3,682
合 計	貸出・利用=158件／写真等1,104点／遺物6,853点					

イ 資料の主な貸出先

貸 出 先	期 間	企 画 等	主な貸出資料
浅間縄文ミュージアム	平24.4.16～ 平24.9.7	企画展「はにわ-古墳からの使者」で展示するため	今井神社古墳群他出土遺物計93点
玉村町歴史資料館	平24.5.21～ 平24.7.31	巡回展「江戸に途中下車 上福島中町遺跡の発掘成果」で展示	上福島中町遺跡出土資料計201点
読売新聞東京本社	平24.5.28～ 平24.6.23	読売新聞紙面の文化財記事に掲載するため	東宮遺跡写真データ9点
群馬県立歴史博物館	平24.6.1～ 平25.5.31	常設展示に使用するため	後田遺跡他出土資料112点
新潟県立歴史博物館	平24.7.20～ 平24.9.14	平成24年度夏季企画展上越新幹線開業30周年記念展「奇跡の新幹線-開業、震災そして30年」に展示	三ツ寺遺跡他出土資料15点・写真データ9点
高崎市教育委員会	平24.8.1～ 平25.3.31	日高遺跡史跡公園に設置する屋外解説版に掲載するため	日高遺跡写真データ9点
明治大学博物館	平24.9.26～ 平24.12.28	第24回企画展に展示するため	白倉下原他遺跡出土資料計78点
群馬県生活文化部 文化振興課	平24.11.9～ 平24.11.30	古代東国文化周知事業「岩宿ムラ収穫まつり」における「古代東国文化情報発信ブース」内展示のため	ハート形土偶レプリカ1点
株式会社メルプランニング	平24.11.15～ 平24.11.30	『学研まんがNEW日本の歴史』第1巻(株式会社学研教育出版発行)に掲載するため	有馬遺跡出土銅釧写真データ1点
埼玉県立 嵐山史跡の博物館	平24.11.20 平25.3.15	企画展「中世の災難合戦と災害」に展示するため	鳥羽遺跡他出土資料16点

B 施設の利用

ア 施設の見学等

平成24年度における発掘情報館の見学や研修等の利用は例年通り活発であった。年間を通じて3期にわたり開催した最新情報展や各種講座および夏休み親子宿題教室などにより県民一般をはじめ児童生徒を含め幅広い年齢層の来館者があった。さらに、昨年12月に全国的な話題となった金井東裏遺跡出土の甲を着た古墳人の詳細調査についての成果を3月3日から8日まで一般公開したところ、6日間で8,306人もの来館者となった。そのため、平成24年度来館者数は、19,255人に上った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
見 学	534	374	325	926	2,543	451	286	250	212	252	244	8,693	15,090
資料調査等	20	10	18	6	14	18	13	25	14	16	3	6	163
行政視察	6	0	1	5	4	2	2	2	6	5	17	0	50
研 修	0	108	92	128	19	178	94	225	153	87	95	0	1,179
学校・教委	3	236	557	277	207	67	191	155	21	21	72	33	1,840
図 書	60	84	91	90	93	74	81	86	70	80	58	66	933
計	623	812	1,084	1,432	2,880	790	667	743	476	461	489	8,798	19,255

イ 図書室の利用

◇ 貸出状況

内部貸出	775件	2,647点
外部貸出	426件	1,575点
貸出総数	1,201件	4,222点

◇ 図書等登録状況

新規登録数	2,922点	
登録内訳	移 管	233点
	寄 贈	2,401点
	購 入	288点
収 蔵 量	119,972点	

◇ 図書室収蔵量の推移

事業年度	累計点数	増 分
平成20年度末	106,921点	3,799点
平成21年度末	110,628点	3,707点
平成22年度末	114,117点	3,431点
平成23年度末	117,050点	2,933点
平成24年度末	119,972点	2,922点

◇ 新規収蔵資料の概要

埋蔵文化財発掘調査報告書	62.00%
市町村誌等	0.40%
一般文化財・民俗関係	0.90%
埋蔵文化財・考古学に関連する雑誌類および各機関の紀要・年報・ニュースレター等	31.00%
埋蔵文化財・考古学および歴史等に関連する単行本・全集・展示図録等	5.40%
辞典・図鑑・地図等	0.30%

C 行事
ア 最新情報展

期 間	平成24年4月1日から平成25年3月31日
主 催	群馬県教育委員会
実施機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター 発掘情報館
展 示	第1期 東宮遺跡～八ツ場で発掘された江戸時代 期間 平成24年5月25日(金)～平成24年8月26日(日) (参加者5,433人) 第2期 田口下田尻・上田尻遺跡～利根川沿いに驚きの古代ムラ 期間 平成24年9月14日(金)～平成23年12月26日(金) (参加者2,294人) 第3期 土器でわかる古墳の時代～遺物って歴史を伝えるんだね 期間 平成25年1月16日(水)～平成25年5月19日(日) (参加者9,598人)
関連講座	講座 (午後1時～3時) ①平成24年6月10日 「東宮遺跡～八ツ場で発掘された江戸時代」講師:飯田陽一 (参加者92名) ②平成24年9月23日 「田口上田尻・下田尻遺跡～利根川沿いに驚きの古代ムラ」講師:桜岡正信 (参加者81名) ③平成25年1月27日 「土器でわかる古墳の時代～遺物って歴史を伝えるんだね」講師:坂口一 (参加者87名)

イ 埋蔵文化財講座

期 間	平成23年7月24日(日)～8月31日(水)
主 催	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター
内 容	7回連続の有料講座 (定員100名)
テ ー マ	東国文化の遺跡物語
関連講座	講座 (午後1時～3時) ①「岩宿遺跡とナウマンハンター」 講師:大工原豊 國學院大學講師 (平成24年5月27日) ②「房谷戸遺跡の縄文土器を読む」 講師:山口逸弘 事業団職員 (平成24年7月8日) ③「日高遺跡と稲作の民」 講師:大木紳一郎 事業団職員 (平成24年9月2日) ④「郡役所と東山道駅路」 講師:神谷佳明 事業団職員 (平成24年10月7日) ⑤「上野国分寺をめぐる古代の栄華」 講師:飯塚聡 群馬県教育委員会 (平成24年12月2日) ⑥「火山灰に埋もれた村 黒井峯遺跡を語る」 講師:石井克己 前渋川市子持公民館長 (平成24年12月16日) ⑦「石造物の中世歴史物語」 講師:秋池武 下仁田町民俗資料館ふるさとセンター所長 (平成25年2月3日)
参加者	延べ 597名



最新情報展示



埋蔵文化財講座

ウ 調査遺跡発表会

日 時	平成24年 6月23日(土) 午前10時～午後3時10分	
主 催	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	前橋テルサ ホール	
内 容	(1)阿弥大寺本郷遺跡の調査(伊勢崎市) (2)本関町古墳群と周辺遺跡(伊勢崎市) 古墳群と周辺集落について 一ノ関古墳の調査 釜の口遺跡の調査 (3)元総社蒼海遺跡群の調査(前橋市) (4)特別講演 「群馬の古墳研究最前線～古墳時代の群馬は元気だった～」	専門員(総括) 矢口裕之 調査2課長 坂口 一 伊勢崎市教育委員会文化財保護課 主査 出浦崇 伊勢崎市教育委員会文化財保護課 主査 川道 亨 前橋市教育委員会文化財保護課 主任 並木勝洋 県文化財保護審議委員 右島和夫
参加者		

エ まいぶんバスツアー

日 時	平成24年 7月1日(日)
主 催	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
内 容	江戸東京博物館「発掘された日本列島2012」と明治大学博物館の見学
参加者	45人

オ 夏休み親子宿題教室

期 間	平成23年 7月24日(日)～8月31日(水)
主 催	群馬県教育委員会
実施機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター 発掘情報館
対 象	小・中学校 児童・生徒及び保護者
内 容	発掘情報館では夏休みの自由研究の学習相談や土器や埴輪製作などの体験学習および学習支援を「夏休み親子宿題教室」として実施する。
参加者	3,924人



調査遺跡発表会



夏休み親子宿題教室

カ 埋蔵文化財専門講座

期 間	平成24年8月4日(水)～9月13日(木)	
主 催	群馬県教育委員会	
実施機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センターおよび発掘調査遺跡	
対 象	①県内公立学校に勤務する教員 ②市町村教育委員会の文化財関係職員	
内 容	① 埋蔵文化財の調査成果を年間の学習指導計画の中に取り入れて学校教育の展開に幅を持たせ、地域の身近な教材を活用する視点の育成と基礎知識の充実を図る。 ② 埋蔵文化財の知識と技術を研修し、市町村の埋蔵文化財と調査体制及び学校教育と生涯学習の資質向上に資する。	
講座日程	①	8月8日 開講式・オリエンテーション「小学校の授業で使えるぐんまの遺跡」「中学校の授業で使えるぐんまの遺跡」
		8月9日 「高校の授業で使えるぐんまの遺跡」「古代風体験学習」
		8月10日 「発掘調査実習」
	②	9月4日 講義:文化財保護法と埋蔵文化財保護行政 埋蔵文化財調査の基礎知識 発掘調査実習遺跡のガイダンス
		9月5日 講義:木製品金属製品等の脆弱遺物の取扱いについて 報告書デジタル編集の基礎知識
		9月6日 発掘調査実習1
		9月11日 講義:土器付着物の安定同位体分析からわかること
		9月12日 発掘調査実習2
		9月13日 発掘調査実習3

キ 毛の国 古墳サミット

主 催	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	かみつけの里博物館
内 容	①オープニングセレモニー他 平成24年10月20日(土)
	②展示会「東国古墳文化の世界-古墳時代はこうして始まった」 平成25年10月20日(土)～11月26日(月)
	③講座:毛の国古墳講座(全5回 定員90人)
	治水王、毛野の大地を拓く 10月21日 講師:若狭徹(高崎市教育委員会)
	群馬県における石製品・石製模造品の製作と古墳 10月28日 講師:女屋和志雄(事業団職員)
	群馬県出土の三角縁神獣鏡-その特徴と意義 11月4日 講師:徳田誠志(宮内庁書陵部陵墓課)
文献資料から見た7世紀以前の上毛野-上毛野氏をめぐると議論について- 11月11日 講師:藤森健太郎(群馬大学教育学部)	
群馬における前方後円墳の登場とその特徴 11月25日 講師:右島和夫(事業団理事)	
参加者	①2,000人
	②4,716人
	③延べ360人



古墳サミット 東国古墳文化の世界



古墳サミット 毛の国古墳講座

ク 県庁31階企画展

日 時	平成24年10月21日(日)～12月10日(月)
主 催	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県庁31階 物産展示室
内 容	「れきし・発掘～ときめきの古代ぐんま～」

ケ 発掘情報館 午後の古代体験教室

主 催	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 発掘情報館体験学習室
内 容	トンボ玉作り:平成24年12月11日(火)、18日(火)、平成25年1月17日(木)、24日(木)、 2月12日(火)、19日(火) 銅鏡レプリカ作り:平成24年12月13日(木)、20日(木)、平成24年1月15日(火)、 22日(火)、2月14日(木)、21日(木) アンギン織り:平成25年3月5日(火)、7日(木) 縄文ポシェット作り:平成25年3月12日(火)、14日(木)

コ 公開考古学講座

期 日	平成25年2月16日(土)午後1時30分～午後3時
主 催	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	前橋テルサ ホール
講 師	松村恵司(独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所所長)
演 題	「古代律令国家の成立と東国文化」
受 講 者	562人



県庁31階企画展



公開考古学講座

(2)指導者の派遣

A 学校等の体験学習への派遣

回	月	日	利用団体	内 容	学 年	人 数
1	5月	2	高崎市立塚沢小学校	勾玉づくり体験	小学6年	100
2	6月	6	長野原町立第一小学校	火おこし、勾玉づくり体験	小学6年	5
3		8	前橋市立岩神小学校	縄文土器づくり体験	小学6年	57
4		15	高山村立高山小学校	縄文土器づくり体験	小学6年	45
5	7月	19	玉村町立芝根小学校	勾玉づくり体験	小学6年	72
6		20	伊勢崎市立北第二小学校	縄文土器づくり体験	小学6年	50
7		4	伊勢崎宮郷第二小学校	縄文土器づくり体験	小学6年	160
8	7月	10	伊勢崎名和小学校	縄文土器づくり体験	小学6年	89
9		27	渋川西部公民館	勾玉づくり体験	小学1～6年	14
10	10月	25	高崎市立里見小学校	勾玉づくり体験	小学4年	68
11	11月	2	赤城養護学校小児医療センター分校	縄文土器づくり体験	小学1～中学2年	12
12		30	玉村町立上陽小学校	勾玉づくり体験	小学5年	82
						計754人

B その他

講演会・講座等への講師派遣、研究会・講習会等への派遣、会議等への派遣が行われた。

(3) 情報誌等の刊行

A 『埋文群馬』

号	頁数	テーマ・特集	内 容
56	12	いま、地域が見えてくる 資料展示室 展示記録 講演記録 掲示板	『榛名山南麓にある古墳群』金井古墳群の調査 『水が湧き、水が流れる』扇状地の扇端部に立地する笠松遺跡 『田口上田尻遺跡 田口下田尻遺跡』利根川沿いに驚きの古代ムラ 『東宮遺跡』八ツ場で発掘された江戸時代 平成24年度 調査遺跡発表会『発掘調査でわかった古墳時代の社会』 平成24年度後半の展示会・講演会のお知らせ (刊行日 平成24年10月31日)
57	12	特集 金井東裏遺跡 ドキュメント 発掘から移送まで 特別寄稿 表紙解説	金井東裏遺跡のあるところ 金井東裏遺跡の発掘調査『甲を着た古墳人』発見 3000人目の目撃者～遺跡説明会の記録～ 取り上げから移送へ～1.8トン移送大作戦～ これが“甲を着た古墳人”だ 金井東裏遺跡を襲った火山災害 金井東裏遺跡の時代背景と調査の意義 あらたな古墳時代像がみえてくる～金井東裏遺跡の期待と課題～ (刊行日 平成25年3月28日)

B 『研究紀要』

号	頁	論文名	執筆者
31	1	吾妻川中流域における縄文時代中期後葉の土器様相—加曾利 E I 式古段階を中心として—	山口逸弘
	17	南蛇井増光寺遺跡出土土器使用痕跡の再観察	洞口正史・外山政子・大木紳一郎・有山径世
	27	群馬県玉村町福島飯塚遺跡における中世掘立柱建物の検討	飯森康広
	43	東宮遺跡における天明三年新暦八月五日の様相—調査成果から推測される天明泥流被害前の状況—	黒澤照弘
	63	伊勢崎市・玉村町域(2)における天明泥流到達範囲—天明三年浅間災害に関する地域史的研究—	関俊明・勢藤力・中島直樹
	81	東宮遺跡出土の繊維遺物について	伊藤美香・小原奈津子・黒澤照弘
	89	前橋城三の丸遺跡出土の半径土管—前橋地方裁判所旧庁舎の排水溝—	石守晃
101	考古学の成果を社会科教育に活かすための一考察—高校日本史教育における遺跡の取り扱い方—	山田精一	

(刊行日 平成25年3月19日)

C 『年報』

号	頁	内 容
31	I	事業団の概要
	1	1 設立趣旨 2 目的 3 公益財団法人への移行について 4 組織・名簿 5 理事会及び評議員会の開催状況 6 平成23年度主要行事 7 会計経理の状況
	7	II 事業概要 1 発掘調査事業概要 2 整理事業概要 3 普及事業概要
	18	III 研究活動概要 1 職員自主研究活動指定研究
	19	IV 各遺跡の調査概要
	V	付 篇
	37	1 平成23年度県・市町村等発掘調査一覧 2 平成23年度県・市町村等整理作業一覧 3 平成23年度県・市町村等報告書一覧(事業団分含む) 4 平成23年度県・市町村等現地説明会・関連行事一覧

(刊行日 平成24年10月1日)

(4)資料の保存と活用

平成24年度発見遺物数(発見届けによる)

事業系統	遺跡名	遺物の年代・種類	コナリ数	備考
国土交通省	王久保遺跡	縄文時代～古代時代の土器・石器	2	一般国道17号上武道路 八ッ場ダム
	新田上遺跡	古代の土器	62	
	上細井中島遺跡	古代の土器	1	
	上細井蟬山遺跡	古代の土器	1	
	引切塚遺跡	縄文時代、古墳時代、奈良時代、平安時代の土器・石器・鉄器	53	
	青柳宿上遺跡			
	川端根岸遺跡	弥生時代、古墳時代、平安時代、中世、江戸時代の土器・石器・鉄器	15	
	川端山下(道東)遺跡	平安時代、中世、江戸時代の土器・石器・鉄器	2	
	関根細ヶ沢遺跡	古代、中世、近世の土器・石器・金属器・人骨・獣骨	72	
	関根赤城遺跡	古代、中世、近世の土器・石器・金属器・人骨・獣骨	14	
	林宮原遺跡	縄文時代の土器・石器、中世～近世の土器・陶磁器・銭貨・骨等	2	
	町遺跡	江戸時代の木製品・鉄製品・陶磁器・石製品・骨・鉄滓等	85	
	上原Ⅰ遺跡	縄文時代、平安時代、中世の土器・石器・陶磁器等	15	
三平Ⅰ遺跡	縄文時代～近世の土器・陶磁器・石器等	2		
公共開発関連	米野芦沼遺跡	縄文時代、平安時代、中近世の土器等	1	渋川大胡線社会資本総合整備(活力基盤(交安))
	金井東裏遺跡	縄文時代、弥生時代、古墳時代、江戸時代の土器・石製品・鉄製品・骨・炭化物・果実の種	100	国道353号金井バイパス(上信自動車道)
	東上之宮遺跡	古墳時代～近世の土器・土製品・石器・石製品・木製品・鉄製品・人骨・獣骨	95	国道354号玉村伊勢崎バイパス社会資本総合整備(活力創出基盤整備)
	南玉二丁町遺跡	縄文時代～近世の土器・石器・木製品・鉄製品	5	
	南玉埋堀遺跡		44	
	下之宮高俣遺跡		2	
	関遺跡	縄文時代～弥生時代の土器・石器古墳時代～平安時代の土器・石製品・鉄製品・中世の土器	61	社会資本整備総合交付金(活力基盤整備)国道462号(本関拡幅)
	上武士・堀北遺跡	縄文時代～中世の土器・石器・鉄製品	2	伊勢崎深谷線(東毛広幹道【境工区】)社会資本総合整備(地域住宅支援)
	宗高南遺跡	縄文時代、古墳時代、中近世の土器・石器	2	社会資本整備総合交付金(街路)事業(都)3.4.18号伊勢崎桐生線
	本郷畑内遺跡	古代の土器片(26箱)・カマド石材(2箱)・炭化材(1箱)・鉄製品(1箱)	30	都市計画道路3.3.2吉井北通り線社会資本整備総合交付金(活力基盤)
	新町戸崎遺跡	近代の煉瓦・陶磁器類・ガラス製品	10	温井川社会資本総合整備交付金事業(地域自主戦略)
	下郷古墳群	古墳時代～平安時代の土器・石製品・鉄製品	19	(都)3.4.5原町駅南口線外1線社会資本整備総合交付金(活力基盤)
	深沢Ⅱ遺跡	縄文時代、平安時代の土器・石器・炭化物	4	(国)291号地域自主戦略交付金(安全)

事業系統	遺跡名	遺物の年代・種類	コナリ数	備考
公共開発関連	田谷遺跡	古墳時代～平安時代の土器・石製品	52	社会資本整備総合(活力基盤)(都)3.2.2東毛幹線(太田第二工区)
	石神遺跡	旧石器時代～近世の土器・石器・鉄製品	72	社会資本整備総合(活力創出基盤整備)(国)122号(八重笠道路)
	笠松遺跡	縄文時代～近世の土器・陶磁器・石製品・金属製品	5	太田大間々線バイパス地方特定道路整備
	寺中遺跡上宿遺跡	古墳時代～平安時代の土器・石製品	23	足利伊勢崎線社会資本総合整備(活力基盤(交安))
	前六供遺跡	古墳時代～近世の土器・陶磁器・木器	6	単独道路改築事業(一)大原境三ツ木線
	間之原遺跡	縄文時代、古墳時代、奈良平安時代、近世の土器・石器	33	国道354号大泉邑楽バイパス社会資本総合整備(活力創出基盤整備)
	間之原東遺跡	縄文時代、古墳時代、奈良平安時代、中近世の土器・石器	3	
	宇貫北沖遺跡	縄文時代～近世の土器・石器・石製品・木製品・金属製品・骨	4	社会資本総合整備交付金(下水)県央水質浄化センター施設整備
	金井古墳群	古墳時代の土器・金属器	3	県一埋蔵文化財発掘調査
	高林西原古墳群	縄文時代～近世の土器・陶磁器・埴輪・石製品	8	群馬県立がんセンター緩和ケア病棟建設
	高林西原古墳群(外構)	縄文時代土器片、古墳時代の埴輪、古代の瓦塔等	3	群馬県立がんセンター緩和ケア病棟外構工事
	前橋城遺跡	江戸時代の土器・陶磁器・木器・金属器・骨	71	前橋地方合同庁舎整備
	高崎城遺跡	近現代の陶磁器・瓦	3	前橋地家裁高崎支部庁舎耐震改修等
	計			987箱

保存処理室の仕事

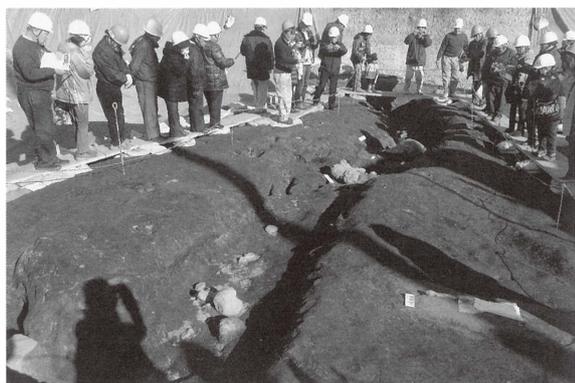
対 象	作業項目	遺跡数	点 数
金 属 製 品	金属製品クリーニング作業	26	711
金 属 製 品	脆弱金属製品含浸強化処理	3	5
金属製品他	X線写真撮影	4	49
木 製 品	木製品実測・トレース	3	23
木 製 品	プレパレート作成	3	21
木 製 品	真空凍結乾燥処理	20	323
木 製 品	樹種同定作業	6	117
土 器	脆弱土器強化処理	8	9
石 製 品	脆弱石製品強化処理	2	2

写真室の仕事 平成24年度幹線別撮影量

事業系統	国土交通省関連	公共開発関連	普及事業関連	その他	計
	9,087	5,148	2,023	2,923	19,181
	47%	27%	11%	15%	

発掘調査説明会等

遺跡名等	期 間	場 所	参加者	概 要
笠松遺跡	平成24年5月13日(日) 10:00～15:00	笠松遺跡現地	330人	古代の新田郡衝と東山道駅路・下新田ルートの一部と、出土遺物の公開。
金井古墳群	平成24年6月17日(日) 10:00～15:00	金井古墳群現地	223人	2基の古墳の石室や墳丘の構築状態や出土遺物の公開と説明。
町民文化祭参加	平成23年11月3日(木)	長野原町立 若人の館	378人	ハッ場ダム建設関連。町民文化祭に併せ発掘調査のパネルや遺物の展示。勾玉作り体験学習を実施。
金井東裏遺跡	平成24年12月12日(水) 10:00～15:00	金井東裏遺跡現地	2,635人	古墳時代後期に噴火した榛名山の火山灰の下から発見された「甲を着た古墳人」と周辺出土遺物の公開。
金井東裏遺跡 「よろいを着た古墳人」特別公開	平成25年3月3日(日)～ 平成25年3月8日(金)	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財 調査事業団	8,306人	金井東裏遺跡から出土した甲着装人骨(甲1)、矛、鉄鏃を公開。



金井東裏遺跡発掘調査説明会



「よろいを着た古墳人」特別公開

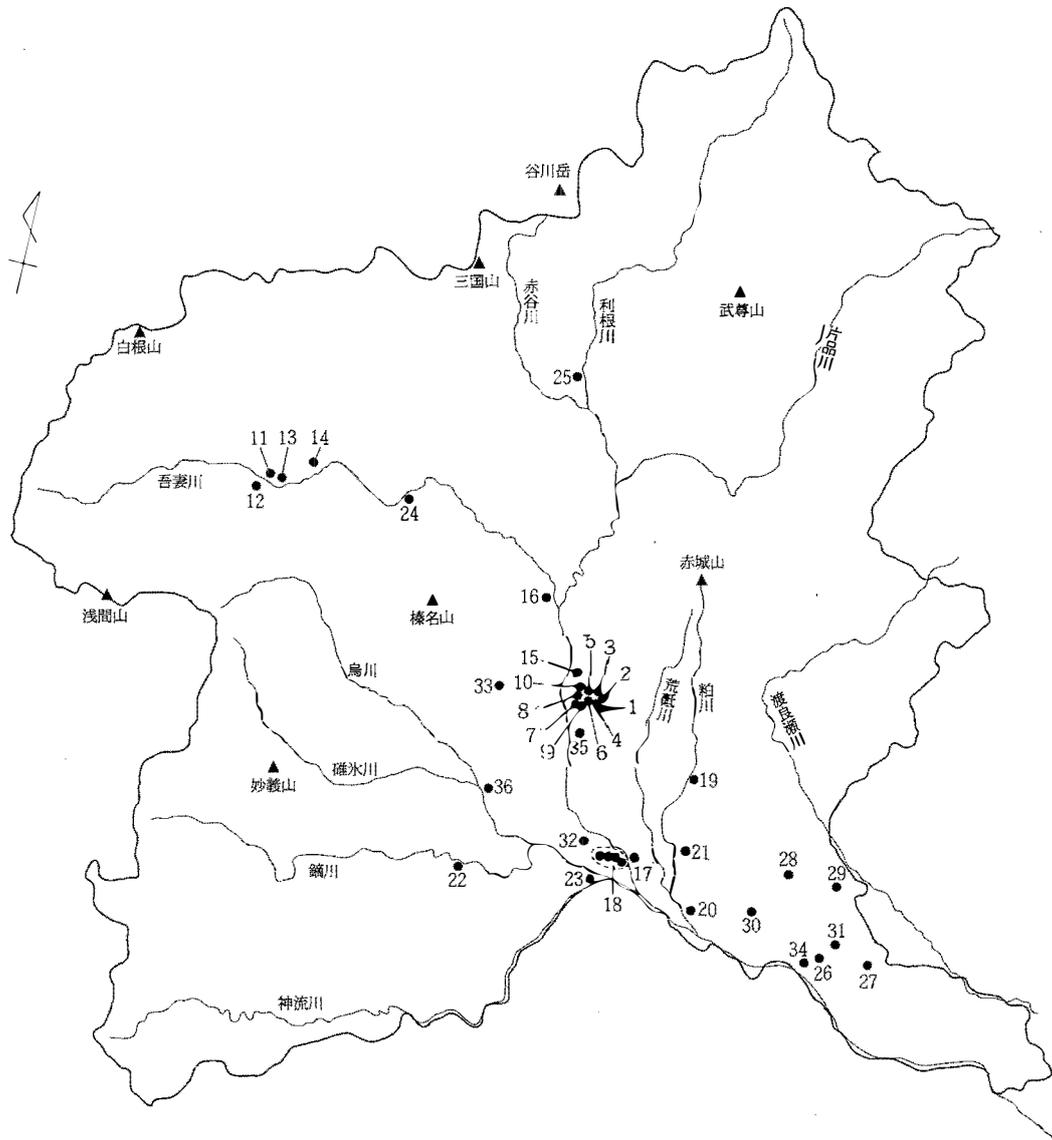
Ⅲ 研究活動概要

1 職員自主研究活動指定研究

平成23年度の職員自主研究活動事業の指定は下記の4件であった。

No.	氏名	研究課題
1	飯森康広	富岡市・甘楽郡地域城館の縄張研究
2	笹澤泰史	古代群馬の鍛冶技術の変遷
3	長谷川博幸	古墳時代前期赤城山南麓における土器交流について
4	飯島義雄	利根川・渡良瀬川間の用水遺構の研究

IV 各遺跡の調査概要



平成24年度 調査遺跡位置図

- | | | |
|--------------|-------------|-----------------|
| 1 王久保遺跡 | 13 上原Ⅰ遺跡 | 25 深沢Ⅱ遺跡 |
| 2 新田上遺跡 | 14 三平Ⅰ遺跡 | 26 田谷遺跡 |
| 3 上細井中島遺跡 | 15 米野芦沼遺跡 | 27 石神遺跡 |
| 4 上細井蟬山遺跡 | 16 金井東裏遺跡 | 28 笠松遺跡 |
| 5 引切塚遺跡 | 17 東上之宮遺跡 | 29 寺中遺跡・上宿遺跡 |
| 6 青柳宿上遺跡 | 18 南玉二丁町遺跡他 | 30 前六供遺跡 |
| 7 川端根岸遺跡 | 19 関遺跡 | 31 間之原遺跡・間之原東遺跡 |
| 8 川端山下(道東)遺跡 | 20 上武士・堀北遺跡 | 32 宇貫北沖遺跡 |
| 9 関根細ヶ沢遺跡 | 21 宗高南遺跡 | 33 金井古墳群 |
| 10 関根赤城遺跡 | 22 本郷畑内遺跡 | 34 高林西原古墳群 |
| 11 林宮原遺跡 | 23 新町戸崎遺跡 | 35 前橋城遺跡 |
| 12 町遺跡 | 24 下郷古墳群 | 36 高崎城遺跡 |

1 おうくぼ 王久保遺跡

所在地 前橋市上細井町

担当者 木津博明・笹澤泰史

遺跡の立地

遺跡は、前橋市北部、赤城山南西麓の竜の口川の東側の台地上に位置する。東側には上町遺跡、西側には竜の口川を隔てて新田上遺跡が位置している。標高は、およそ143mである。

調査の概要

本調査は、一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で642㎡を対象とした。平成21年度に行った調査区(1区～4区)の南側(5区)を調査し、王久保遺跡の全ての調査が終了した。また、今年度は、整理事業も並行して実施しており、報告書を刊行した。

旧石器時代 確認調査の結果、遺構・遺物は検出されなかった。

奈良時代 竪穴住居跡1軒、粘土採掘坑1基を調査した。粘土採掘坑は、調査区内南端で発見されたが、さらに南側の調査区外へ延びている。採掘された粘土は、竪穴住居跡のカマド構築材の粘土と同質であるので、その採掘が目的の一つにあったと考えられる。

平安時代 竪穴住居跡4軒、鍛冶工房跡1軒、土坑4基を調査した。鍛冶工房跡は、竪穴住居跡より新しい遺構である。鉄製品の出土はなかったが、鍛造剥片が多数出土した。このほかに韃の羽口片が出土した。竪穴住居跡は、いずれも横長の長方形を呈する形状を呈し、カマドを東側に備える構造である。竪穴住居跡は、8世紀から9世紀中頃である。

中世 柱穴48基を調査したが、調査区内に散在する状態のため、建物の復元はできなかった。

(木津博明)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



奈良時代 粘土採掘坑(北から)



平安時代 重複竪穴住居跡全景(南西から)



平安時代 鍛冶工房跡全景(北東から)

2 新田上遺跡

所在地 前橋市上細井町

担当者 木津博明・笹澤泰史

遺跡の立地

遺跡は、前橋市北部、赤城山南西麓の麓の口川と観音川に挟まれた、赤城白川扇状地の扇端部に位置する。標高は、およそ143mである。

調査の概要

調査は、一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で10,328㎡を対象とした。

旧石器時代 調査を行ったところAs-Ok1～As-BPの間から、7カ所の石器集中部(ナイフ型石器・削器・縦長剥片・石核)を確認した。

縄文時代 竪穴住居跡20軒(前期3軒・中期15軒・後期2軒)、土坑289基、配石遺構2カ所を調査した。中期の住居・遺物が中心であり、石器・土器が多数出土した。

弥生時代 中期の土坑4基を調査した。赤城南麓地域では、希少な調査例である。

古墳時代 竪穴住居跡1軒、道1条を調査した他、土師器等の土器類が出土した。

奈良・平安時代 竪穴住居跡32軒、竪穴状遺構19基、掘立柱建物3棟、溝9条、道跡5条、土坑372基を調査した。竪穴住居跡は、遺存状態が良好で、規模が大きく深い。道跡は、2条の溝に挟まれた部分が路面として使用されている。9世紀後半から10世紀後半頃の間、3時期に渡り修築され、長期間に渡り、維持管理されたことが判明した。

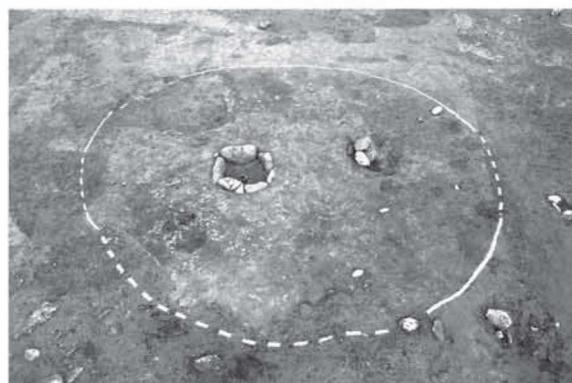
中世 土坑74基を調査した。

近世 溝3条、土坑5基を調査した。建物の坪基礎を検出した。陶磁器が少量出土し、また古銭の天保通宝も見つかった。

(木津博明)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



縄文時代 竪穴住居跡全景(西から)



弥生時代 土坑全景(北から)



平安時代 溝全景(西から)

3 かみほそいなかじま 上細井中島遺跡

所在地 前橋市上細井町

担当者 木津博明・笹澤泰史

遺跡の立地

遺跡は、前橋市北部、赤城山南西麓、かんのんがわ 観音川の西の台地上に位置する。東側に、観音川を隔てて新田上遺跡が、西側に浅い谷地を隔てて、蟬山遺跡が位置している。標高は、およそ143mである。

調査の概要

調査は、一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査である。平成21年度調査に引き続き、未収用地であった809㎡を調査した。

旧石器時代 確認調査を実施したが、遺構・遺物は発見されなかった。

縄文時代 第1面では、竪穴住居跡1軒、土坑42基を調査し、中期の土器・石器も出土した。第2面では、早期後半の遺物包含層の調査を実施した。早期の遺物包含層は、調査区の北側へ更に広がることを確認した。

近世 溝1条を調査した。

(木津博明)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



縄文早期の土器(南東から)



第1面(縄文時代中期)全景(東から)



第2面(縄文時代早期)遺物出土状況(西から)

4 かみほそ いせみやま 上細井蟬山遺跡

所在地 前橋市上細井町

担当者 木津博明・笹澤泰史

遺跡の立地

遺跡は、前橋市北部、赤城山南西麓、かんのんがわ 観音川の西の台地上に位置する。東側に上細井中島遺跡、西側に山王・柴遺跡群が位置している。標高は、およそ143mである。

調査の概要

調査は、一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査である。平成21年度の調査に引き続き、未収用地であった21㎡を調査した。

平安時代 溝と判断される落ち込み1条を調査した。調査範囲が狭いため、遺構の全容は不明であるが、溝の一部であると判断した。少量の土師器が出土した。

(木津博明)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



調査区設定(西から)



調査風景(西から)



溝状遺構全景(西から)

5 ひききりづか 引切塚遺跡

所在地 前橋市青柳町地内

担当者 杉山秀宏・長澤典子

遺跡の立地

遺跡は、赤城山の南麓、白川の右岸の扇状地上にある。県道津久田停車場前橋線を境に東側の引切塚遺跡と西側の青柳宿上遺跡に分かれている。標高はおおよそ90mである。

調査の概要

調査は、一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で、2,064㎡を青柳宿上遺跡と併行して調査を行った。

縄文時代 縄文時代早期の遺物包含層が洪水層下から確認され、180点前後の土器・石器が出土した。縄文時代晩期の土器が旧河道跡から出土し、県道を挟んで西側に存在する青柳宿上遺跡にも連続することが確認されている。

弥生時代 長方形平面で長辺が5mの竪穴住居跡と、方形平面で1辺が7mある大形の弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居跡が確認された。

古墳時代 径3m、深さ1.5mの井戸が確認された。出土遺物から古墳時代の遺構と考えられる。他に土坑が2基、溝が1条検出された。

(杉山秀宏)



国土地理院5万分の1「前橋」使用



赤城白川(左側)と引切塚遺跡



縄文時代 早期遺物出土状況



古墳時代 竪穴住居跡

6 あおやぎしゆくうえ 青柳宿上遺跡

所在地 前橋市青柳町地内

担当者 杉山秀宏・長澤典子

遺跡の立地

遺跡は、赤城山の南麓、白川の右岸の扇状地上にある。県道津久田停車場前橋線を境に西側の青柳宿上遺跡と東側の引切塚遺跡に分かれている。標高はおよそ90mである。

調査の概要

調査は、平成24年度一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で、11,513㎡を対象とした。

旧石器時代 調査地南西部分から剥片が数点出土した。周辺を拡張したが、広がりには認められなかった。

縄文時代 洪水層により覆われた縄文時代早期の遺物包含層を確認し、東接する引切塚遺跡同様の成果が得られた。長辺約3mの隅丸長方形の竪穴住居跡も1軒検出された。柱穴や炉は確認されていない。浅い土坑の壁面に板状礫を並べた状態の集石遺構が複数確認された。礫の表面が被熱するものが多いことから、屋外炉と考えることができる。縄文時代晩期の遺物が、引切塚遺跡から連続する旧河道より出土している。

古墳時代 後期6世紀代竪穴住居跡が中心である。平面形は方形及び長方形で、一辺3mの小形、4m～5mの中形、6mの大形の3種類に分けることができる。カマドの向きは、北東方向を向くものが9割を占め、一部に西向きのものである。幅約1m～2m、深さ約0.7m～1mの溝が丘陵状の地形の縁辺に確認された。用水路の機能を持つものと考えられる。尚、旧河道付近には、川原石を集め割れた土器や焼土が集中する集積遺構が検出された。古墳時代の祭祀遺構の可能性もある。

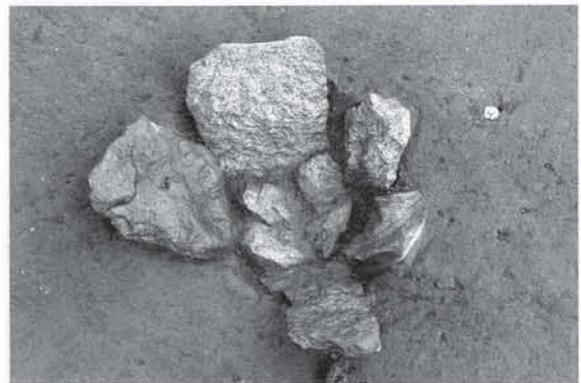
(杉山秀宏)



国土地理院 5万分の1「前橋」使用



縄文時代 早期竪穴住居跡遺物出土状況



縄文時代 早期集石遺構



古墳時代 溝全景

7 かわばたねぎし 川端根岸遺跡

所在地 前橋市川端町

担当者 木津博明・麻生敏隆・長澤典子・飯島義雄

遺跡の立地

遺跡は、前橋市北部、赤城山南西麓の大堰川と桃おおせきかわのもも木川に挟まれた低地にある。標高は、およそ126mである。

調査の概要

調査は、一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で、16,000㎡を調査した。調査区は、市道や水路の区画等に従い、A区～F区と称した。

弥生時代 E区より中期中葉の土器が出土した。

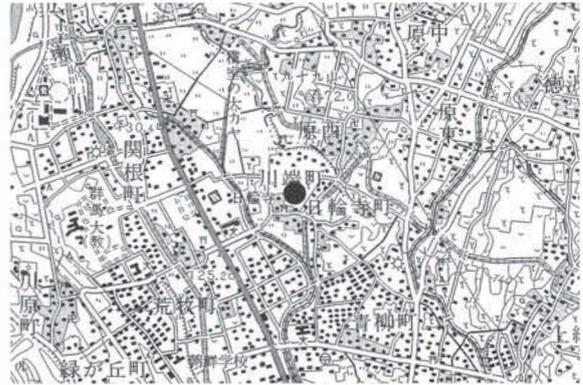
古墳時代 溝9条、水田2面(5世紀洪水層下水田跡、As-C下水田跡)を調査した。

平安時代 竪穴住居跡4軒、溝1条、土坑10基を調査した。溝は、大堰川から引水を目的に構築された灌漑用水と考えられる。少量であるが、9世紀前半頃の土師器杯が出土している。竪穴住居跡は、カマドを南東隅に備える構造で、時期は10世紀末頃である。

中世 竪穴状遺構7軒、掘立柱建物2棟、溝37条、道跡1条、土坑1,086基、水田1面を調査した。出土遺物は、軟質陶器内耳鍋・播鉢・土師質土器皿・瀬戸焼瓶子・青磁などである。方形区画を構成する城館跡の外堀と内堀を確認した。外堀は南北に約100m、内堀は南北約65m、東西約50mを測る。内堀に囲まれた内郭から多数の柱穴跡を検出したが、確認できた掘立柱建物跡は、1棟のみであった。また、内堀の一部分から鉄滓、羽口、および荒砥石が出土した。このことから、利器(刀等)を製作した鍛冶工房が存在したことがうかがえる。

近世 E区の旧細ヶ沢川河道縁辺部で馬歯がまとまった状態で5カ所から出土した。何らかの祭祀が行われた可能性が考えられる。

(長澤典子)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



古墳時代 洪水層下水田跡(南東から)



古墳時代 溝全景(北から)



近世 馬下顎部(西から)

8 ^{かわばたやました みちひがし}川端山下(道東)遺跡

所在地 前橋市川端町

担当者 木津博明・麻生敏隆・長澤典子・飯島義雄

遺跡の立地

遺跡は、前橋市北部、赤城山西南麓に位置し、大^{おお}堰川と桃ノ木川に挟まれた低地にある。調査区中央には、旧細ヶ沢川の流路が推定される。標高は、およそ127mである。

調査の概要

調査は、一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で、2,279㎡を調査した。調査区は、市道や水路の区画等に従い、A・B区と呼称した。

平安時代 竪穴住居跡1軒、溝1条を調査した。

中世 竪穴状遺構1基、溝2条、土坑2基地下式土坑2基を調査した。室町時代の溝から軟質陶器製の燭台、地下式土坑からは、太刀の銅製足金物(帯取り金具)が出土した。燭台は出土例が少なく、特殊な遺構が存在したと考えられる。調査区の北接部周辺には、「東福寺」の存在が地元の口伝に残っており、関連性が推測される。

近世 溝1条を調査した。出土遺物は、陶磁器、焙烙などである。

(長澤典子)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



2号溝全景(西から)



1号地下式土坑全景(西から)



4号溝全景(南西から)

9 関根細ヶ沢遺跡

所在地 前橋市関根町細ヶ沢

担当者 新井 仁・久保 学・笹澤泰史・相京健史

遺跡の立地 遺跡は前橋市北部、赤城山麓南西端部に位置する。周辺には南東流する桃ノ木川と南流する細ヶ沢川があり、この2つの河川により形成された自然堤防上に立地している。標高は約130mである。

調査の概要

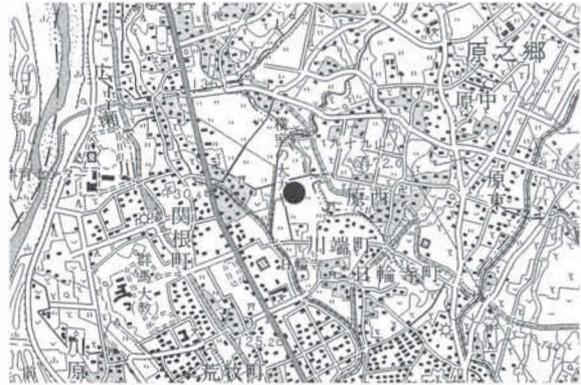
調査は一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で、9,303㎡を調査した。

古墳時代 4区・5区のAs-C混土上面で水田を検出した。上層には榛名山ニッ岳の噴火を起源とする数回の土石流が厚く堆積していた。水田は畳1畳未満～3畳ほどの小区画水田で、残存状態は良く、ほぼ全域で畦畔や水口などを確認することができた。

平安時代 竪穴住居跡155軒、土坑338基、溝34条、製鉄炉3基等を調査した。竪穴住居跡はほぼ10世紀代で、そのほとんどは重複しており、短期間に建て替えが行われたと考えられる。焼失住居が4軒あり、炭化材の遺存状態が良好で、上屋構造や建部材等についての良好な資料が得られた。竪穴住居跡からは土師器や須恵器の他に多数の灰釉陶器が出土し、緑釉陶器も数点出土している。3基の製鉄炉は残存状態が良好で、近くには鍛冶工房跡もあり、古代の鉄生産から鉄器製作までを行っていた様相を明らかにすることができた。

中・近世 1区・2区・4区・5区で耕作痕を検出した。平面形は半月形で、幅約17cm、深さ約12cm、断面は三角形で深く耕作されており、埋土中にはAs-Bが混入している。方向が一定でないことから、As-B降下後に開墾または復旧が行われた作業痕跡である。

(久保 学)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



調査区全景(南東から)



2号製鉄炉(東から)



4区耕作痕跡(南から)

10 関根赤城遺跡

せきねあかぎ

所在地 前橋市関根町赤城東

担当者 久保 学・相京建史

遺跡の立地

遺跡は赤城山麓南西端部、前橋市北部に位置する。周辺には南東流する桃ノ木川と南流する細ヶ沢川があり、この2つの河川に挟まれた北と南東方向に緩やかに傾斜する自然堤防上に立地している。標高は約130mである。

調査の概要

調査は一般国道17号(上武道路)改築事業に伴う発掘調査で、1,369㎡を調査した。主要な遺構は平安時代である。

古墳時代 東端地点で狭い範囲であったが、Hr-FA下の畠を検出した。畝間にはHr-FAの堆積が見られた。

平安時代 調査区全体から10世紀代の竪穴住居跡を検出した。竪穴住居跡39軒、土坑101基、溝12条等を調査した。竪穴住居跡平面は方形で、小型のものから大型のものまで多様である。そのほとんどは重複しており、短期間に建て替えが多く行われていたと考えられる。カマドの多くは南東寄りに位置しており、石組構造をもつものが主である。竪穴住居跡からは土師器や須恵器の他に多数の灰釉陶器が出土しており、緑釉陶器も数点出土している。遺跡西端部では、北に向かう緩やかな傾斜地でAs-B混土層下から畠を検出している。

中・近世 溝7条、土坑15基等を調査した。溝のほとんどは東西または南北に延び、直交する例が多い。中には箱薬研の形状を持つ溝もあり、区画溝の可能性が考えられる。周辺には「関根の寄居」や「金山城」もあることから、関連も考える必要がある。他に火葬墓3基を検出した。

(久保 学)



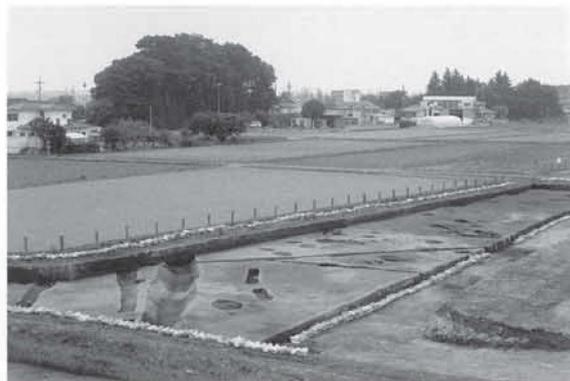
国土地理院5万分の1地形図「前橋」使用



Hr-FA下畠全景(南から)



平安時代 竪穴住居跡全景(西から)



2区全景・奥の林が「関根の寄居」(東から)

11 ^{はらみやらは} 林宮原遺跡

所在地 吾妻郡長野原町大字林字宮原

担当者 山口逸弘・黒澤照弘

遺跡の立地

遺跡は、吾妻川最上位段丘上面に位置し、南側への緩やかな斜面地にある。調査区南側は段丘崖が展開し、下位段丘面との境となっている。北側は山地斜面が東西に迫るが、斜面裾野には王城山神社がある。標高は620m前後、吾妻川河床からは約80mの比高差を測る。

調査の概要

調査は、ハツ場ダム建設工事に関連する町道建設に伴い発掘調査が行われた。当初、西側用地420㎡が対象であったが、東側用地の伐採後の試掘によって、遺構の広がり確認されたため東側用地430㎡を新たに加えて行った。

検出された遺構は、土坑15基、ピット172基が検出された。竪穴住居跡など他の遺構は無かった。

中近世 柱穴はその配列から、6棟以上の掘立柱建物跡になることが確認できた。このうち1号建物跡は、柱穴の深さが1mを測り、軸長も10mを超えるなど規模の大きな建物跡である。また、1号建物跡西側の柱穴底面には、湧水によるためか柱材の一部が遺存していた。確認された6棟の掘立柱建物跡には重複も見られ、おそらく数回の建て替えが行われたものと思われる。掘立柱建物跡からの出土遺物は少量であるが、柱穴内より内耳土器片や円弾が出土したことから、時期を中世と判断した。

土坑は、陥穴状土坑や墓坑を調査した。遺構密度は低く、重複も少ない。陥穴状土坑は古代～中世、土坑は古代～近世のものと思われる。土坑のうち3基は墓坑で、人骨が出土している。

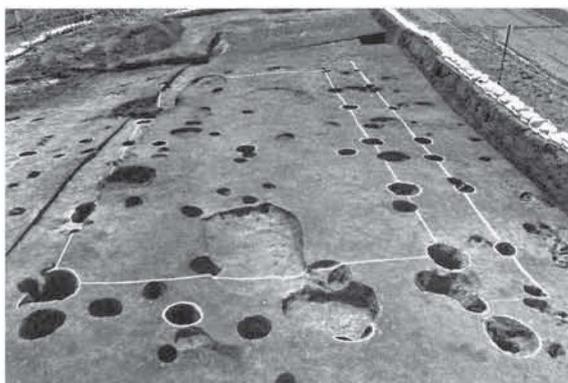
(黒澤照弘)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



柱穴群出土状況(東から)



1号建物跡(東から)



1号建物跡 柱穴柱材出土状況

12 町遺跡

所在地 吾妻郡長野原町大字長野原字町

担当者 山口逸弘・黒澤照弘

遺跡の立地

遺跡は、吾妻川と白砂川しらすながわの合流点の北西、吾妻川左岸の中位段丘面に位置する。北側に山地地形が東西に連続し、長野原城が占地する。標高は約610m前後である。

調査の概要

調査は、八ッ場ダム建設工事に関連する県道建設に伴う発掘調査で、4,483㎡を調査した。昨年度、調査区北東部を調査しており、今年度は残りの対象地の調査を行った。遺構の確認は、天明泥流(1783年)を除去した面で行った。主な遺構は建物跡と畑跡である。

近世 建物跡は調査区西端で1棟が確認された。板間の一部のみの検出に止まったが、大引や根太、床板までもが残存しており、良好な遺存状態であった。出土遺物も、床板下を中心に団扇や扇子、下駄、横笛、漆椀など脆弱な木製品や漆製品などが集中して見られた。本遺跡は、泥流下でかつ湧水が近接していたため、脆弱な遺物も良好に遺存したものと思われる。また、建物跡と堆積泥流の様相から、天明泥流は数波に分かれ、建物を倒壊させたと観察された。なお、礎石下の調査を行ったが、天明期以前の建物跡の痕跡は見出せなかった。

畑跡は、一部が天明泥流により壊されていたが、畝間溝にはAs-Aが良好に堆積していた。地形に沿って、各所に石垣や段差を設けた畑跡である。この畑跡上面には、木製品や建築材が散乱していた。これらは、西端の建物跡周辺から天明泥流により流下した遺物と思われる。

畑跡下からは、鍛冶に伴う鉄滓や鍛造剥片、羽口や鉄製品が出土した。時期は伴出した陶磁器から近世前半～中頃と思われ、天明期以前、近隣で鍛冶生産が行われていたものと考えられる。(黒澤照弘)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



天明泥流下畑跡(北西から)



1号建物跡(南西から)



1号建物跡 横笛出土状況

13 うえはら 上原 I 遺跡

所在地 吾妻郡長野原町大字林字上原

担当者 山口逸弘・黒澤照弘

遺跡の立地

遺跡は、吾妻川左岸最上位段丘面に位置する。周辺は扇状地状の地形で、緩やかな南斜面が広がる。周辺遺跡の密度は濃く、林花畑遺跡、林中原Ⅰ・Ⅱ遺跡、上原Ⅳ遺跡などが調査され、縄文時代～古代、中近世に至る遺構・遺物が検出されている。標高は約640m前後である。

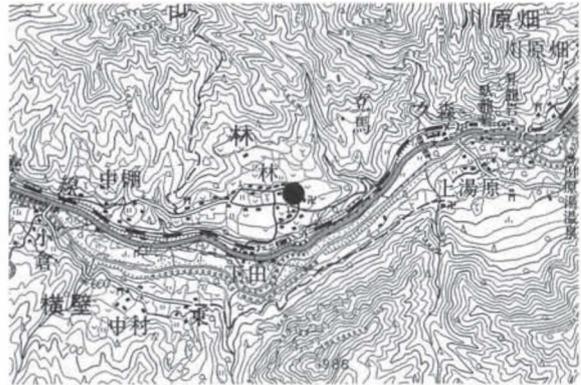
調査の概要

調査は、ハツ場ダム建設工事に関連する町道及び造成地建設に伴う発掘調査で、1,392㎡を調査した。西側隣接地においては、土地改良事業により、長野原町教育委員会が発掘調査を行っている。

発掘調査により2面の遺構面が確認された。第1面は、黒色土上層で、平安時代の竪穴住居跡4軒、陥穴11基などが確認された。第2面は、第1面より1m程掘り下げ、黒色土下層～ローム漸移層で行った。主に縄文時代前期の集落跡が調査対象となり、竪穴住居跡8軒などを検出した。

縄文時代 縄文時代前期初頭の竪穴住居跡8軒は、埋没谷を囲むように確認された。不整形円形～不整形楕円形の平面形を呈し、炉は地床炉である。柱穴配置の規則性は認められなかったが、炭化材が残存するピットも見られた。出土遺物量は多く、土器は羽状縄文を施し胎土に繊維を含む特徴を有す。石器は、押圧剥離を施す小型石器とともに、黒曜石製の石鏃が多い。一方、打製石斧の出土量が少なかった。

平安時代 竪穴住居跡4軒のうち2軒が建て替えに伴う重複住居跡であり、南東側カマドと北側カマドを検出した。住居跡の年代は出土土器から、9世紀後半代にみられる。陥穴は調査区東側の埋没谷の谷頭周辺に集中していた。深さ2mを超える例が多く、その立地から、谷頭にある湧水点に集まる獲物を狙った設営とも思われる。(黒澤照弘)



国土地理院5万分の1地形図「草津」使用



縄文時代 前期初頭竪穴住居跡群(北西から)



6号竪穴住居跡縄文土器出土状況(南から)



重複する平安時代竪穴住居跡(西から)

14 ^{さんだいら}三平 I 遺跡

所在地 吾妻郡長野原町大字川原畑字三平

担当者 山口逸弘・黒澤照弘

遺跡の立地

遺跡は吾妻川左岸最上位段丘面にある。周辺は緩やかな南斜面だが、調査区東側は急斜面地形となり穴山沢あなやまざわに至る。調査区の70m西には平成16・17年度に調査した三平 I 遺跡90区がある。

調査の概要

調査は、ハッ場ダム建設工事に関連する県道建設に伴う発掘調査で、3,120㎡を調査した。9月に調査着手したが、上原 I 遺跡の調査のため10・11月の間を中断し、12月より調査を再開した。

遺跡の西側は黒色土の堆積が厚いため、調査区西半は2面調査となり、黒色土上層とローム漸移層の2回に分けた調査となった。遺構は、1面目の調査でおおよそ検出された。竪穴住居跡3軒、土坑21基、陥穴19基、掘立柱建物跡1棟などを確認した。

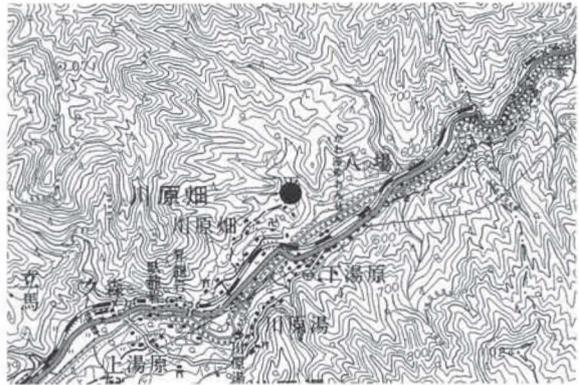
縄文時代 調査区西側で、縄文時代早期～前期の遺物が集中的に出土した。量的には少ないが、早期の押型文系土器片は同一個体が含まれ、貴重な資料である。

平安時代 竪穴住居跡3軒は、調査区西側に集中する傾向が見られ、集落跡は西側の区域外に延びるものととらえられた。出土土器から、3軒とも9世紀後半代に比定される。

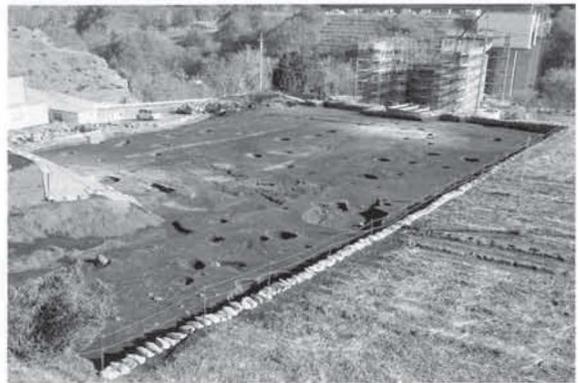
陥穴は調査区全域にまばらに検出された。長軸方向や規模などから、幾つかのまとまりが予想され、地形に沿った設営方法が確認できた。

近世 掘立柱建物跡は、柱穴から出土した陶磁器から近世に比定した。調査区南側で長軸を東西に持ち、柱穴で構成される建物跡である。

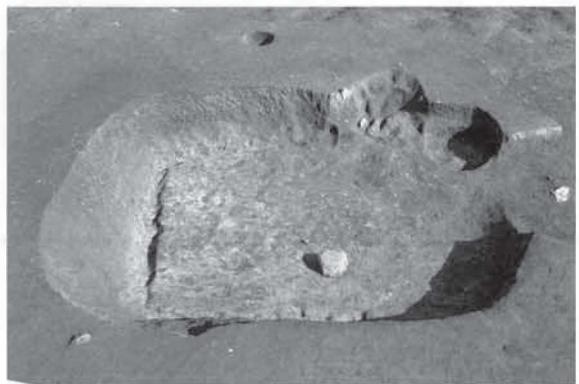
(黒澤照弘)



国土地理院 5万分の1地形図「草津」使用



遺跡全景(北西から)



平安時代 竪穴住居跡(東から)



陥穴(南から)

15 こめの あしぬま 米野芦沼遺跡

所在地 前橋市富士見町

担当者 麻生敏隆

遺跡の立地

遺跡は赤城山南東麓の南西に向かって樹枝状に延びた台地の頂部に位置する。東は法華沢川ほっけざわがわにより深い谷が形成されており、西は橋川たしほながわやその支流によって数条の谷筋が入り込んでいる。標高は225m～226mである。現在の河床からは約10m～15mの比高差である。

調査の概要

調査は、平成24年7月1日から7月31日まで実施した。発掘調査面積は210㎡である。

縄文時代 沢に向かって傾斜する遺跡の西端では、中期後半の竪穴住居跡1軒が検出された。南側半分が調査区外であるが、円形の形状であると考えられる。掘り込みは浅く、北側の壁だけが明確に残っており、すり鉢状に緩やかに立ち上がっている。炉跡は確認されなかった。この他に縄文時代中期前半の陥穴2基が確認され、前期から中期にかけての土器と打製石鏃などの石器が出土している。

古代 9世紀中頃の竪穴住居跡1軒が検出された。カマドは東壁のほぼ中央に付設されている。掘り込みは浅く、北壁の大半と南壁は調査区外に延びる。その他に、土坑1基が検出されている。

中近世 土坑5基・ピット8基が検出された。掘立柱建物の柱穴と考えられるピットが確認され、江戸時代前期以前の建物の存在をうかがわせる。この時期の遺物として、在地系の焙烙ほうろく・鍋などの土器、鉄製品などが出土している。

(麻生敏隆)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



遺跡全景(西から)



縄文時代 中期竪穴住居跡(北から)



平安時代 竪穴住居跡全景(西から)

16 かないひがしうら 金井東裏遺跡

所在地 渋川市金井

担当者 友廣哲也・杉山秀宏・山中 豊・宮下 寛

遺跡の立地

遺跡は、吾妻川右岸の台地上に立地している。遺跡から約8km南西の位置に榛名山二ツ岳(1,343m)があり、標高は約228mである。

調査の概要

調査は、国道353号金井バイパス(上信自動車道)の道路建設工事に伴う発掘調査である。市道などを調査区境として便宜的に1区～7区と呼称し、調査面積は6,338㎡である。調査区の状況にもよるが調査面は9面である。

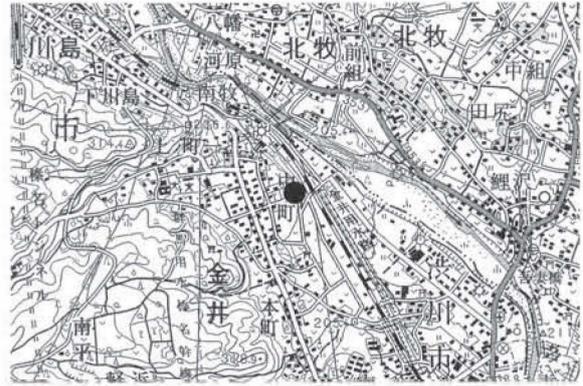
縄文時代 2区では直径約1mの土坑群と前期の竪穴住居跡が1軒検出された。5区では、包含層から遺物が多数出土し竪穴住居跡は8軒検出され時期は加曾利E式期段階である。19号竪穴住居跡からは縦約1.5m横約0.7mの石囲炉が検出され甕が埋設されていた。

弥生時代 竪穴住居跡は5軒検出され、時期はいずれも後期である。4号竪穴住居跡は縦約11m、横約6.5mの長方形で大規模となり、壁周溝のほか支柱穴が6基、床面からは炉が3基検出された。

古墳時代 榛名山二ツ岳の火山噴火によるHr-FP約2m、Hr-FA約50cmが堆積する。Hr-FPを除去すると1区・2区・4区からは道と馬蹄痕が検出された。4区の31号溝はHr-FAの火山灰や火砕流によって埋没し、小札甲を着装した成人男性の人骨、乳児頭骨、小札甲1領、鉄鏃20数本が出土し、31号溝の周辺から矛が出土した。竪穴状遺構2基、祭祀跡2カ所、5世紀後半を中心とする竪穴住居跡は10軒で、周堤帯やカマド等の残存状態は良好であった。3号・9号竪穴住居跡は焼失住居で9号竪穴住居跡は炭化した貯蔵穴の蓋、垂木、萱、40数個の桃の種が残存していた。

近世 畝耕作痕、土坑や溝などが検出された。

(宮下 寛)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」「沼田」使用



5区19号竪穴住居跡遺物出土状況(東から)



4区9号竪穴住居跡遺物出土状況(東から)



4区31号溝甲着装人骨出土状況(南から)

ひがしかみのみや
17 東上之宮遺跡

所在地 伊勢崎市東上之宮町

担当者 新井 仁・藤井義徳・小林 正

遺跡の立地

遺跡は、利根川左岸の平坦地上にあり、表土下には天明三(1873)年の浅間山噴火に際に発生した泥流が厚く堆積している。標高は62m前後である。

調査の概要

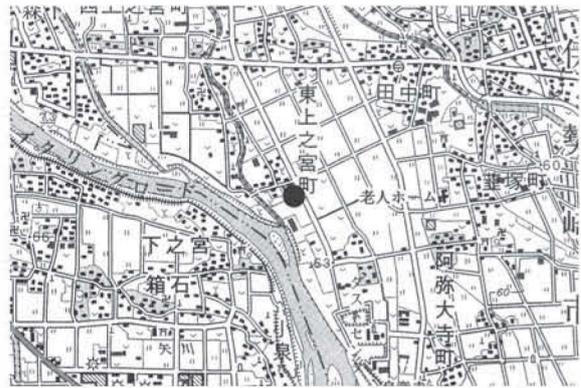
調査は、平成23年度国道354号玉村伊勢崎バイパス社会資本総合整備事業(活力創出基盤整備)に伴う発掘調査で、14,338㎡を調査した。調査は前年度から継続して行われたが、古墳時代から近世までの多面におよび、調査面は、調査区によりやや状況は異なるが、延べ10面となった。

平安時代以前 利根川寄りの1区・5区で、洪水層下から4世紀の竪穴住居跡14軒や畑を検出した。また、同じ洪水層上からは6世紀前半から9世紀代の竪穴住居跡88軒を検出した。

中世～近世初頭 1区～3区・5区で、最高で四時期の水田を検出した。いずれも後世の耕作により水田面や畦畔の高まりは削平され、擬似畦畔や耕作痕、水田区画造成時に掘削された溝を確認するにどまった。また、1区では掘立柱建物も確認したほか、3区も含めて人骨を伴う墓も確認された。

近世 1区・3区・5区の調査区において、As-Aに直接覆われた水田・畑・道路・溝、墓地が良好な状態で検出された。水田面には稻株の痕跡や草取りの際に残された足跡が残されていた。畑は、畝幅50cm～90cm程の区画が合計16筆検出された。また、1区・3区・5区の一部において、これらの水田や畑の下層から灰褐色洪水砂に覆われた水田や畑が検出されたほか、この洪水層を攪拌した畑も確認された。

(小林 正)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



古墳時代 前期竪穴住居跡(南から)



中世 墓(南から)



江戸時代 田畑(北から)

18 ^{なんぎよく にちようまち} 南玉二丁町遺跡・^{なんぎよくうめぼり} 南玉埋堀遺跡・
^{したのみやなかおき} 下之宮中沖遺跡・^{しものみやたかま} 下之宮高俣遺跡

所在地 玉村町南玉・下之宮

担当者 井川達雄・田村 博・飯島義雄・山下歳信

遺跡の立地

遺跡は、利根川の南側、玉村町南玉・下之宮に所在する。遺跡の北側が住宅地、南側が耕作地となっており、標高は約65mである。

調査の概要

調査は、国道354号線社会資本総合整備(活力創出基盤整備)事業(伊勢崎玉村BP)に伴う発掘調査で、面積は19,730㎡である。路線の面から南玉二丁町遺跡、南玉埋堀遺跡、下之宮中沖遺跡、下之宮高俣遺跡である。

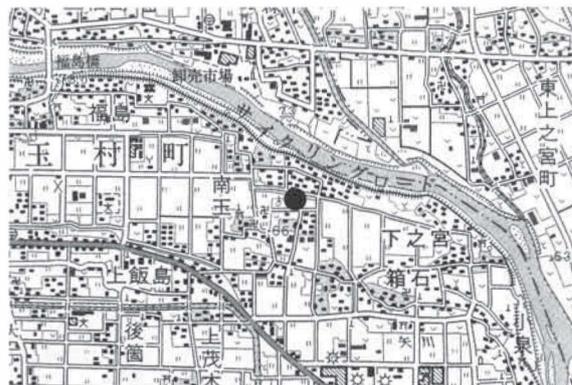
縄文時代 数点の遺物が出土したが、遺構は確認されなかった。

古墳時代 南玉二丁町遺跡4区・5区、南玉埋堀遺跡3区の微高地において竪穴住居跡・土坑等が検出された。

奈良平安時代 南玉二丁町遺跡3区～5区、南玉埋堀遺跡4区・5区の微高地において竪穴住居跡・土坑等が検出された。また、南玉二丁町遺跡4区、南玉埋堀遺跡1区～5区の低地においてAs-B下水道が検出された。

中近世 下之宮高俣遺跡1区に中世の館の土塁・虎口が検出された。南玉二丁町遺跡4区・5区、南玉埋堀遺跡1区～5区、下之宮高俣遺跡1区では、中世からAs-A降下前後までの溝・復旧坑・畑・道路等が検出された。また、南玉埋堀遺跡2区・3区においてAs-A泥流で埋没した矢川が確認され、右岸寄りの流路中から下駄等の木製品や陶磁器が出土した。

(田村 博)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



南玉埋堀遺跡3区6号竪穴住居跡(西から)



南玉埋堀遺跡3区4号復旧坑(南から)



南玉二丁町遺跡5区4号畑(西から)

19 せき 関遺跡

所在地 伊勢崎市本関町

担当者 友廣哲也・山中 豊

遺跡の立地

遺跡は伊勢崎市を東西に走る北関東自動車道、伊勢崎インターチェンジの南西1kmに位置する。大間々扇状地の西端部で、南流する粕川^{かすかわ}の左岸に立地する。標高は約80mである。

調査の概要

調査は平成24年度社会資本整備総合交付金事業(活力基盤整備)国道462号(本関拡幅)に伴う発掘調査で、4,295㎡を調査した。調査区内は粕川の頻繁な氾濫により、何面にもわたる洪水層を確認した。このため調査は3面にわたり実施した。調査区は南北に長いことから、北から1区～6区に分割し実施した。

古墳時代 As-C混土を耕作土とする水田を調査区全域で検出した。水田の畔の形状は地形の傾斜に対応して、耕作地の低い方向に水が落ちるような位置に水口を配置している。また高低差が大きい部分では水田面自体が水平に高低をもち、水が低い方向に畔をオーバーフローするような構造が見てとれた。

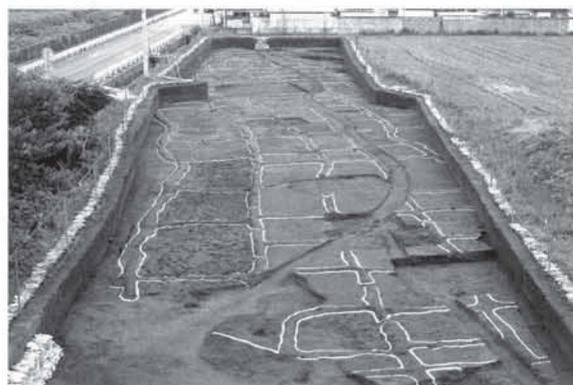
古墳時代～平安時代 竪穴住居跡は66軒検出したが、一部の竪穴住居跡は洪水で覆われていた。6世紀から10世紀代のものが存在した。また、竪穴住居跡の壁やカマドを壊している。土器片を含んだ洪水土の堆積を確認した。

平安時代～中近世 畝跡を確認した。畝は洪水による土砂、さらには洪水で流された軽石等で埋没していた。畝の耕作痕は、幅5cm～30cm、深さ3cm～30cmであった。

(山中 豊)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」「高崎」使用



古墳時代 水田(北から)



平安時代 竪穴住居跡(西から)



平安時代 畝を切っている竪穴住居跡(南から)

20 ^{かみたけし ほりきた} 上武士・堀北遺跡

所在地 伊勢崎市境町大字上武士

担当者 齊藤利昭・藤井義徳

遺跡の立地

遺跡は伊勢崎市の東部に位置し、標高40m前後の利根川中流北岸の沖積地にある。

調査の概要

調査は平成23年度主要地方道伊勢崎深谷線社会資本総合整備(東毛広幹道【境工区】)事業に伴う発掘調査で、1,339㎡を調査した。調査区は3区と4区に分かれ、3区は機械耕作により、かなり攪拌されていた。そのため遺物の出土量も少ない。

縄文時代 3区で5基の土坑を検出した。6号土坑は、袋状土坑と呼ばれる形状で、縄文時代前期の土器片が出土している。3区と4区に炉がなく、柱穴も不明瞭な竪穴住居跡もしくは、大型土坑状の遺構を確認した。

古墳時代 古墳時代前期の方形周溝墓を2基調査した。1基は1辺が15mを超える大型のもので、周溝内からは、As-B下洪水堆積層下よりHr-FAが確認された。4区の低地では水田が検出され、畦畔下にHr-FAが確認された。この洪水層下の水田は古墳時代と考えられる。

古代～中世 3区の中央部を縦断する形で3号溝が開削され、後に1m近い深さの薬研状の断面をもつ並走する2条の溝が低台地を横断する形で開削されている。埋没土の半分近く砂層の堆積が見られ、水流があったことがうかがわれる。4区の台地部で方形区画状の浅い溝2条と谷内でAs-B下の洪水層を掘り込む3条の溝を確認した。

(藤井義徳)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」「深谷」使用



縄文時代 6号土坑(南から)



古墳時代 2号方形周溝墓(南から)



中世 3区溝群(北から)

21 むねたかみなみ 宗高南遺跡

所在地 伊勢崎市平和町

担当者 田村 博・飯島義雄

遺跡の立地

遺跡は伊勢崎市平和町に所在し、JR線・東武線伊勢崎駅から約500m東側に位置する。粕川^{かすかわ}右岸の伊勢崎台地上に立地し、周辺は市街地となっている。標高は約65mである。

調査の概要

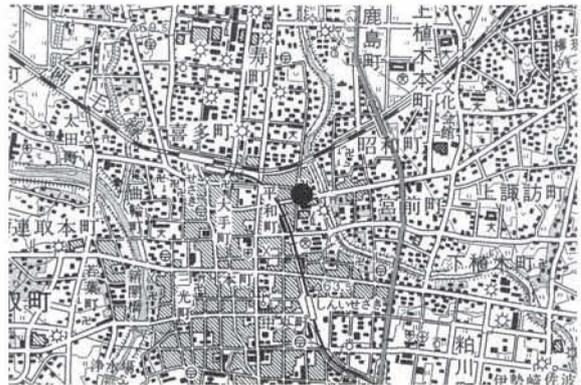
調査は、社会資本整備総合交付金(街路)事業(都)3.4.18伊勢崎桐生線の道路建設工事に伴う発掘調査で、調査面積は739㎡である。

縄文時代 数点の遺物が出土したが、遺構は確認されなかった。

古墳時代 調査区東側より 竪穴住居跡4軒が検出された。いずれの竪穴住居跡も残存状態は良好ではなく、出土遺物も少ない。形態および出土遺物から1号・2号竪穴住居跡は後期、3号・4号竪穴住居跡は2号竪穴住居跡に切られることから後期以前と考えられる。

中近世 溝3条、道路1条、粘土採掘坑4基、井戸1基が検出された。1号道路は最下部に連続した長楕円形状の凹みである波板状遺構をもち、北側には側溝もしくは区画溝と考えられる1号溝が並行している。この1号道路・1号溝は、西は伊勢崎駅方面から、東は天増寺橋・赤城神社方面へと向かっており、中世以降の重要な道路であった可能性がある。2号～4号粘土採掘坑は1号道路の路面を南側から掘り込んでおり、一時期、道路としての機能が停止していた可能性も考えられる。2号・3号溝は1号道路・1号溝に直交することから、同時期の区画溝であったと考えられる。

(田村 博)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



古墳時代 2号竪穴住居跡(南から)



中近世 1号道路・1号溝(東から)



中近世 2号溝・1号粘土採掘坑(南から)

22 本郷畑内遺跡

ほんごうはたうち

所在地 高崎市吉井町本郷大字畑内

担当者 関根愼二・津金澤吉茂

遺跡の立地

遺跡は、^{かぶらがわ}鑷川右岸の下位段丘中央北寄りの標高117m付近に位置する。

調査の概要

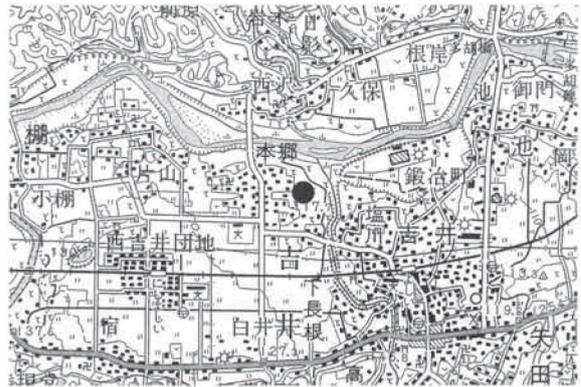
調査は、都市計画道路3.3.2吉井北通り線街路事業に伴う発掘調査で、6,351㎡を調査した。調査対象地は中央西寄りの低地を挟んで西調査区と東調査区に分かれていた。発掘は幅員26m、東西約350mと細長い範囲を長手方向に半裁し、前半、後半に分け実施した。

弥生時代後期・古墳時代前期 弥生時代後期の竪穴住居跡1軒と古墳時代前期竪穴住居跡2軒、古墳時代前期土器分布地点1カ所。これらの遺構は、西側調査区で検出された。古墳時代前期の竪穴住居跡貯蔵穴内から、台付甕等の土器と共に釧状土製品の完形品が出土した。

古墳時代後期～奈良・平安時代 古墳時代後期から平安時代にかけての竪穴住居跡数は62軒で、その分布は西側調査区では粗、東側調査区西部分で比較的密に検出された。掘立柱建物は竪穴住居跡の分布が粗になる場所で検出された。竪穴住居跡は大きさが、小形のもの和大形のもの様々であるが、古墳時代後期と奈良時代のものの中には大形の竪穴住居跡が確認できた。カマドは、2軒のみ北カマドで、大半が東側に配置されていた。遺物のほとんどは、土師器、須恵器の破片であったが、平安時代の竪穴住居跡から石製丸轆や、一部に赤色顔料の付着した平瓦の破片も出土した。

近世 西調査区の一角で粘土採掘坑1基が検出された。粘土の層は20cm～30cmほど薄い状態であった。覆土上層から馬歯が少量出土した。

その他 縄文時代の土器は風倒木痕に流れ込んだような状況で少量出土しているが、明確な遺構は確認できなかった。
(関根愼二)



国土地理院 5万分の1地形図「富岡」使用



古代 竪穴住居跡(西から)



古代 掘立柱建物(南東から)



遺跡説明会(東から)

23 しんまち と ざき 新町戸崎遺跡

所在地 高崎市新町

担当者 齊藤利昭

遺跡の立地

遺跡は、あしがわ鮎川扇状地扇端部の沖積地内を東流するぬくいがわ温井川下流部に位置し、温井川は遺跡地北側約600mでからすがわ烏川に合流する。標高は約60mである。遺跡地下部には河川氾濫堆積土が見られる。

調査の概要

調査は、平成24年度地域自主戦略交付金事業(一級河川温井川)に伴う発掘調査で、480㎡を調査した。クラシエフーズ新町工場の前身は、明治10年から操業を開始した旧内務省勤業寮かんぎょうりょうくぎいとぼうせきじょ屑糸紡績所であり、明治期から昭和期の発展段階で増改築が行われ、それと共に温井川の氾濫に備え煉瓦積護岸も設置されたと考えられる。この煉瓦護岸の調査である。

近代 煉瓦の積み方としては、長手面の列と小口面の列が交互に積み上げられる「イギリス積み」で構築されている。表面側は下位に向かい厚みを増させ、階段状に3段に構築されている。背面側は直立1段で積み上げられている。支柱は2.7m～3.5m間隔で設けられ、支柱間を26区画に分けている。最上部に長さ90cm、幅25cmほどの大矢石風の藪塚石が乗せられていた。2カ所ある湾曲部は小口積や長手面の列に小口面を組み合わせている。また、護岸下部には背面側盛土の水抜き穴として径5cm前後の鉄管を配置している。その他、工場排水管として土管を敷設しているが、護岸を組み上げ後に穴をあけ差し込んだ状況が見られた。使用された煉瓦は、長さ約22.3cm、幅約10.5cm、厚さ約5.8cm、重さ約3kgの規格であった。また積み上げられた煉瓦の平面上に「上敷免製」と刻印があるものが見つかり、埼玉県深谷市上敷免に所在する明治21年(1888年)に操業を開始した『日本煉瓦製造株式会社』製であることがわかった。

(齊藤利昭)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



調査区空中写真(西から)



煉瓦護岸表面被覆土除去作業(西から)



刻印煉瓦「上敷免製」

24 ^{しもごう} 下郷古墳群

所在地 吾妻郡東吾妻町

担当者 友廣哲也・山中 豊

遺跡の立地

遺跡は東吾妻町を東西に走る吾妻川右岸に位置し、吾妻川JR吾妻線原町駅の対岸北約1kmにある。吾妻川により形成された河岸段丘上に立地し、吾妻川は遺跡の北側に100m離れて東流する。南側は榛名山の北東麓上にある。

調査の概要

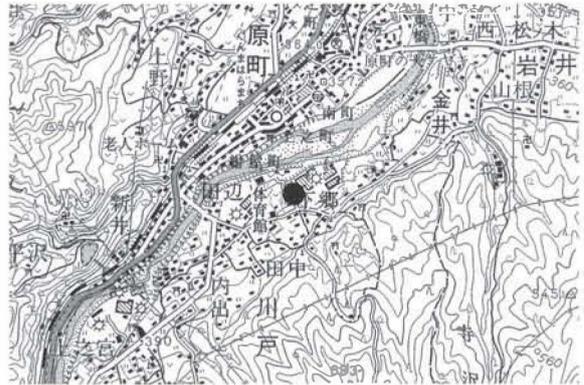
調査は平成24年度(都)3.4.5原町駅南口線外1線社会資本整備総合交付金(活力基盤)事業に伴う発掘調査で、2,180㎡を調査した。調査区を東西に横切る2本の現道があり、これを境に北から1区～3区に分割し調査を実施した。

縄文時代 3区のローム上面で河川跡を検出した。遺構は検出できず、砂礫層内から縄文時代中期の土器が集中して出土した。

古墳時代 2区北端で3世紀～4世紀の竪穴住居跡を1軒検出した。住居内から北陸系^{ちくさかめ}干種甕、東海系ひさご壺、南関東系単口縁台付甕、畿内系小形丸底土器、在来系の高坏等が出土した。

奈良・平安時代 1区、2区にて、竪穴住居跡42軒、掘立柱建物を5棟検出した。掘立柱建物には布堀をもつもの、根石をもつもの、方形の柱穴(内1基は長辺120cm、短辺85cm、深さ120cmを測り、中心には径、深さ、共に約20cmの柱痕)をもつものなどが見られた。掘立柱建物に伴う柵状遺構も検出され、公的な建物あるいは社寺や役所等に関連する建物と推定される。集落跡の上層では、As-Bで埋没した畝跡を検出した。畝の畝幅は10cmから広いもので30cm、畝間との高低差は5cm～20cmであった。

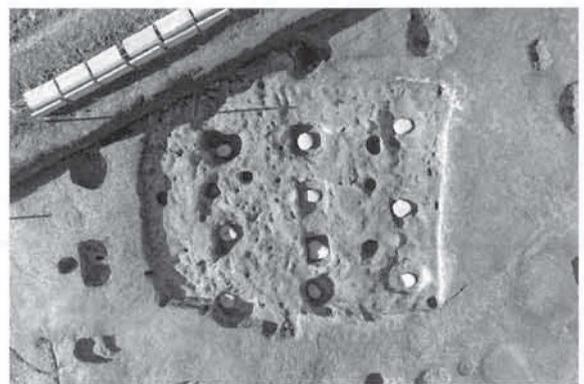
(山中 豊)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



古墳時代 前期竪穴住居跡遺物出土状況(西から)



石を持つ掘立柱建物



公的建物と考えられる掘立柱建物の柱穴(南から)

25 深沢Ⅱ遺跡

所在地 みなかみ町月夜野字澤入

担当者 宮下 寛

遺跡の立地

遺跡は利根川右岸の段丘上に位置し、周囲に味城山(757m)や大峰山(1,254m)などの山々が連なる。上越新幹線上毛高原駅から約400m北側に位置し、県道291号線に隣接する。調査区西側の傾斜面地には棚田が広がり、標高は約465mである。

調査の概要

調査は、(国)291号地域自主戦略交付金(交安)の道路建設工事に伴う発掘調査で、500㎡を調査した。表土からローム漸移層まで約0.5m～2.0mの厚さで調査区北西側から南東側にかけて傾斜地である。

縄文時代 調査区南東部の斜面地から中期の竪穴住居跡が1軒検出された。1号竪穴住居跡は後世の水田耕作などによりほとんど削平されており、床面及び西壁面の一部が残存するのみであった。規模は直径約7mの円形で、14基の柱穴が確認された。中央部に埋甕炉が付設され底部を欠いた甕が埋設されていた。時期は加曾利E3式期と想定される。土坑は3基検出され、形状は円形であり規模は直径約1.0m～1.2mであった。2号竪穴住居跡と重複する3号土坑の底面は平坦面であるが、壁面は袋状に掘り込まれ、底面付近から縄文土器片が検出された。

平安時代 竪穴住居跡とピットが検出された。2号竪穴住居跡は一辺約3.4mの規模となり、10世紀前半の月夜野型の羽釜のほか坏などの遺物が床面から多数出土した。床面精査及び掘り方調査によってピットが2基検出された。竪穴住居跡南側中央部の埋没土中に僅かな焼土が確認されたが、カマドは検出されなかった。3号竪穴住居跡は、長軸長約3.6m、短軸長約3.0mの隅丸長方形であった。東壁の北東隅にカマドが付設され、埋没土及び床面付近から炭化物が多数検出され10世紀前半の坏などが出土した。1号ピットは柱痕が認められ9世紀後半の坏が出土した。

(宮下 寛)



国土地理院5万分の1地形図「四万」使用



1号竪穴住居跡遺物出土状況(東から)



2号竪穴住居跡遺物出土状況(南東から)



3号竪穴住居跡遺物出土状況(西から)

26 たや 田谷遺跡

所在地 太田市西矢島町・東矢島町

担当者 女屋和志雄・都木直人

遺跡の立地

遺跡は大間々扇状地の南東部、宝泉台地から南東に延びる台地上にある。標高86mである。

調査の概要

調査は社会資本整備総合(活力基盤)(都)3.2.2東毛幹線(太田第二工区)事業に伴う発掘調査で、9,286㎡を調査した。

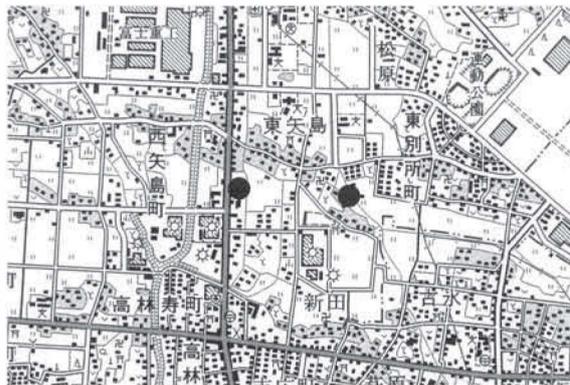
旧石器時代 1区・3区・4区で確認調査を行い、4区では計10点の石器が浅間火山褐色軽石(As-BPグループ)相当の層で出土した。

古墳時代 1区では方形周溝墓4基が検出された。一辺が約20mの1号が最大で、4号が前方後方形である。3区と4区では5世紀前半の方形区画の遺構が検出され、低墳丘墓か、周溝墓に伴う遺構ではないかとみられる。4区では前期の竪穴住居跡と土坑を検出した。

奈良・平安時代 1区では竪穴住居跡9軒、掘立柱建物10棟、井戸などが検出された。掘立柱建物は、柱間が2間×3間のものと、2間×4間のものが南に面してコの字に配置されている。3区と4区では、竪穴住居跡8軒と土坑・井戸が検出され、5区では、灌漑用とみられる溝が検出された。

中・近世 3区と4区にまたがり近世の屋敷跡が検出された。

(都木直人)



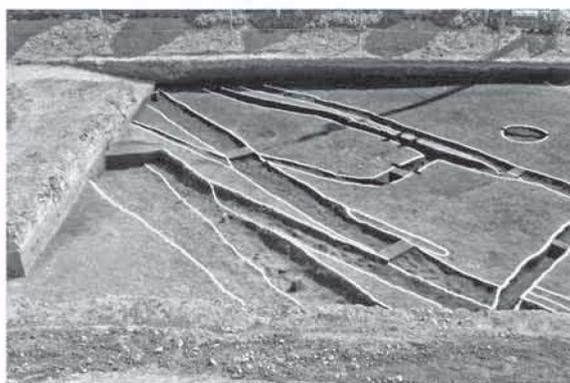
国土地理院 5万分の1 地形図「深谷」使用



方形周溝墓周堀(1区)



溝遺物出土状況(4区)



重複する溝(5区)

27 いしがみ 石神遺跡

所在地 太田市龍舞町

担当者 齊藤利昭・新井 仁・藤井義徳

遺跡の立地

遺跡は太田市の東部、金山丘陵南東部に位置し、標高は30m前後を測り、旧渡良瀬川^{わたらせかわ}の氾濫原上にある。起伏は小さく微高地上に集落が点在する。

調査の概要

調査は平成24年度社会資本総合整備(活力創出基盤整備)(国)122号(八重笠道路)事業に伴う発掘調査で、10,203㎡を調査した。

旧石器時代 1区～4区で確認調査を行った。1区で448点、4区で67点の黒曜石剥片が集中して出土し、旧石器の石器製作跡が確認された。

縄文時代 3区で2基の土坑が検出された。内1基は直径2mの陥穴で、底面中央部に30cmのピットが確認された。遺物は前期の土器片が数点出土した。

古墳時代 4区の南端で前期の竪穴住居跡1軒が確認された。竪穴住居跡の大半は重複する奈良・平安時代の竪穴住居跡に壊されていたが、土器片が数点出土した。3区では、後期の竪穴住居跡2軒が確認された。

奈良・平安時代 1区～4区までのほとんどの竪穴住居跡がこの時期で、98軒が検出された。竪穴住居跡は小型なものから長辺が6mを超える大型なものまで多様である。1区・2区では重複する竪穴住居跡が多く見られ、継続的に集落が営まれていたと考えられる。また、カマドが1軒の竪穴住居跡から2基、3基と複数確認できる竪穴住居跡も数軒あった。掘立柱建物は1区～3区で12棟確認でき、2区で調査した4棟は、近接または重複して建てられていた。

中・近世 1区～4区で溝が58条、井戸が21基確認され、井戸は4区に半数以上の12基が集中していた。また、長方形の形をした近現代の土坑も多数確認された。

(藤井義徳)



国土地理院5万分の1地形図「深谷」使用



旧石器出土状況(北から)



2区東端竪穴住居跡群(北から)



重複する掘立柱建物跡と竪穴住居跡(西から)

28 かさまつ 笠松遺跡

所在地 太田市新田小金井町

担当者 麻生敏隆・飯島義雄

遺跡の立地

遺跡は太田市北西部に位置し、大間々扇状地の南端部に立地し、南方には扇端低地が広がる。東部には、国指定史跡新田郡庁跡が隣接している。標高は62m～63mである。

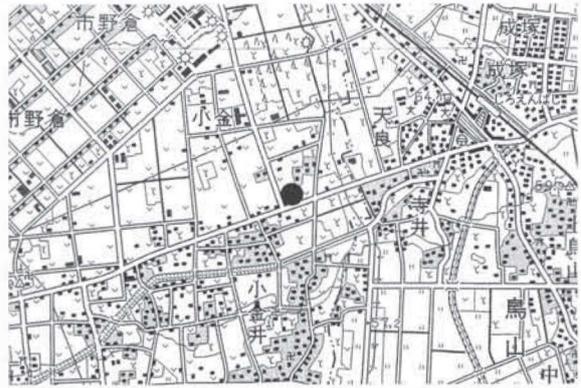
調査の概要

調査は(主)太田大間々バイパス地方特定道路整備事業の工事に伴う発掘調査で、(主)足利伊勢崎線に接する4区とその北方約70mの5区の2地点がその対象地である。調査面積は4,471㎡である。

古代 4区の足利伊勢崎線に沿った地点では、東西・南北の方向で「L」字形に曲がる大きな溝とその内部に何度か建て替えられた大型の掘立柱建物が検出された。溝の埋没土の上位には浅間B軽石が純層で堆積しており、古代末期にはほぼ埋まっていたことが判明した。また、溝の埋没土の下位層からは9世紀前半の須恵器が出土しており、遅くともこの時期には掘削されていたものと考えられる。遺構群は平成21年度・22年度に調査された(主)足利伊勢崎線の南部(1区・2区)と、遺跡の東側の市道を挟んだ地点(3区)で検出された溝・建物群と一体となった施設であると考えられる。

また、4区の中央部では、南東方向から北西方向のほぼ同一方向に並行して掘削された2条の溝(1号溝・9号溝)が検出された。1号溝は上幅約5mと長大で断面は逆台形であり、何度か掘り返しがなされているものと思われる。9号溝は上幅約0.9mで断面は「U」字形である。この2条の溝は、太田市教育委員会により東部で検出されている東山道駅路・下新田ルートの一部と推定される。

中・近世 4区・5区からは、古代の溝などを切り、中・近世の遺構と思われる溝・土坑・井戸・礎石建物などが検出された。(麻生敏隆・飯島義雄)



国土地理院5万分の1地形図「桐生及び足利」「深谷」使用



4区南半部全景(北から)



古代 区画溝(北西から)



古代 掘立柱建物(南から)

29 寺中遺跡・上宿遺跡

所在地 太田市丸山町・矢田堀町

担当者 麻生敏隆・飯島義雄

遺跡の立地

遺跡は太田市東部の金山丘陵と八王子丘陵の間に位置し、大間々扇状地の東南部に立地する。渡良瀬川から約2km西方で、標高は55m～56mである。

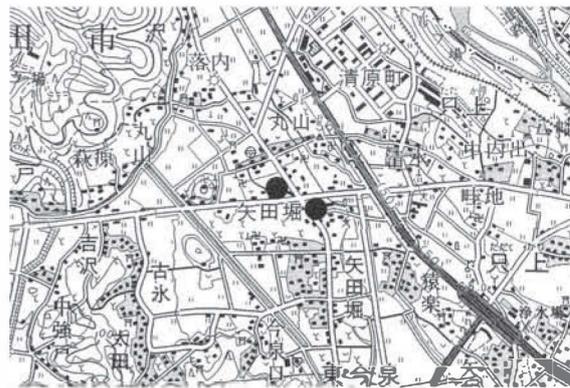
調査の概要

調査は(主)足利伊勢崎線社会資本総合整備(活力基盤(公安))事業に伴う発掘調査で、寺中遺跡では(主)足利伊勢崎線と(主)太田桐生線の丸山町交差点から西方の北側拡幅部の幅約8m、長さ約150m、上宿遺跡では同交差点から南部へ約70m先の東側で幅約3m、長さ約50mがその対象地であった。調査面積は1,345㎡である。

古代 奈良・平安時代を中心とした古代の竪穴住居跡が、寺中遺跡では扇状地の中央部に近い西半部を中心として26軒、扇状地の東端もしくは渡良瀬川の自然堤防上にあたる上宿遺跡では1軒検出された。

寺中遺跡では、渡良瀬川によりもたらされたローム土や砂礫等の堆積層を基盤とし、西から東へ傾斜する緩やかな斜面上に数軒ずつまとまりながら、一部は重複して構築されていた。それらの周囲には10cm～20cmの土器等を含む遺物包含層が存在していた。竪穴住居跡の中や遺物包含層からは比較的多くの土師器や須恵器が出土しており、それらの中には、「門家」と焼成後に刻書された須恵器もふくまれる。

中・近世 古代の竪穴住居跡等を掘り込んで粘土採掘坑や溝が検出された。粘土採掘坑は寺中遺跡の西部で比較的まとまって検出され、表土下約70cm～80cmに堆積している土を採取しているものと想定される。寺中遺跡の中央部で検出された溝は、南西から北東への走向を示し、上幅約3.0m、下幅約0.8m、深さ約1.2mと比較的規模が大きく、水の流れた痕跡は確認されなかった。(麻生敏隆・飯島義雄)



国土地理院5万分の1地形図「桐生及び足利」「深谷」使用



寺中遺跡 1区西半部全景(西から)



奈良時代 竪穴住居跡(西から)



近世 大きな溝(南から)

30 まえろつく 前六供遺跡

所在地 太田市新田上田中町

担当者 齊藤利昭

遺跡の立地

遺跡は、大間々扇状地扇端部の湧水池が点在する地域のやや南にあり、起伏の少ない平坦面上にある。標高は約60mである。東側300mには国指定史跡新田荘遺跡矢太神水源から発する石田川^{いしだがわ}が南流する。また、石田川を挟んだ対岸には、堀が巡り土塁の残る中世新田氏関連の江田館が所在する。

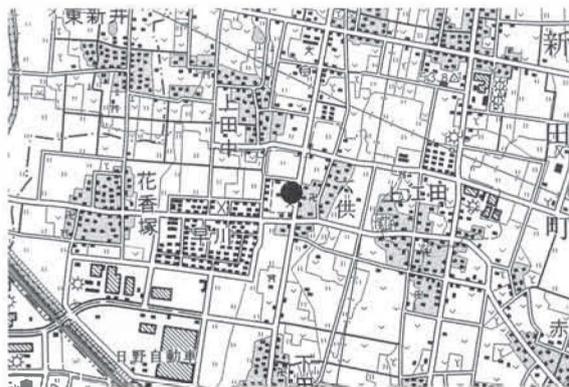
調査の概要

調査は、平成24年度単独公共単独道路改築事業(一)大原境三ツ木線に伴う発掘調査で、540㎡を調査した。調査範囲は県道315号線拡幅工事に伴うものであり、調査区全長約150m、調査区の幅は、北側で約1m、南側で約4mを測る。

古墳時代 調査区中央付近で4軒の竪穴住居跡を検出した。そのうち2軒は重複していた。各竪穴住居跡は、調査区幅が狭く、また後世の土坑や溝などに壊され完全な形状で検出できた竪穴住居跡は無かった。5号竪穴住居跡では、坏、甕等の遺物が南隅でまとまって出土し、掘り方面の調査時には床下から径約40cmの円形土坑が確認され、3個の小型甕が出土した。

奈良・平安時代 5軒の竪穴住居跡の調査を行った。古墳時代の竪穴住居跡同様に調査区幅が狭く、中・近世の土坑・溝や後世の攪乱により壊され完全な形状は検出できていない。内3軒の竪穴住居跡は東壁にカマドが付設されていた。

中・近世 道路を挟んだ東側に中世の館跡とされる長慶寺がある。現在の寺域は狭くないが、調査区南端部で深さ約1mを測る東西に走る溝が検出できた。調査は溝の北法面のみであったが、館堀の可能性が考えられる。また、調査区中央部で2条の並走する浅い溝を検出した。両側側溝の道跡の可能性が考えられる。その他に、脆弱な骨片と共に数枚の古銭を伴う墓壇1基の調査を行った。(齊藤利昭)



国土地理院5万分の1地形図「深谷」使用



1号墓坑(東から)



5号竪穴住居跡全景(南西から)



5号竪穴住居跡内床下土坑出土遺物(南から)

31 ^{あいのほら} 間之原遺跡・^{あいのほらひし} 間之原東遺跡

所在地 太田市龍舞町、大泉町上小泉

担当者 宮下 寛・田村 博

遺跡の立地

遺跡は利根川の左岸に広がる邑楽台地上に位置し、国道354号及び県道38号足利・千代田線に接する。東西に走行する道路を境に北側が間之原遺跡、南側が間之原東遺跡である。周辺は、現在も緩やかな起伏が所々みられるがほぼ平坦な地形となり標高は約35mである。

調査の概要

調査は国道354号線(大泉邑楽バイパス)道路建設工事に伴う発掘調査で、1,431㎡を調査した。

間之原遺跡の調査区名は、平成22年度の発掘調査を踏襲し3区とした。

縄文時代 遺構確認面や後世の攪乱層などから前期～中期の土器小破片や石鏃などの遺物が数点出土した。当該時期の遺構は確認できなかった。

古墳時代～平安時代 竪穴住居跡、竪穴状遺構、土坑、ピットが検出された。間之原遺跡3区では、調査区のほぼ全域から6世紀～8世紀の竪穴住居跡が重複して18軒確認された。間之原東遺跡1区では、竪穴住居跡1軒が検出された。検出された竪穴住居跡は古墳時代後期が主体である。規模は一辺が約4m～5mが中心で、内部に4本の支柱穴や貯蔵穴、周溝をもつものが多く、カマドの残存状況は良好であり西壁、東壁、北壁などにそれぞれ付設されていた。カマドの周辺から土師器など遺物の出土が多く、滑石の白玉が複数出土した。竪穴状遺構は6号・13号竪穴住居跡と重複して2基検出された。形状は円形であり、内部底面から貼床やピット、遺物の出土が認められたがカマドなどは検出されなかった。間之原遺跡3区では、ピットが34基、間之原東遺跡では8基が検出された。長径約50cm、深さ2.0m以上の規模となる大型のピットは16基を数え、底部からは6世紀とみられる完形の坏や椀などが出土した。

(宮下 寛)



国土地理院5万分の1地形図「深谷」使用



間之原遺跡3区全景(南から)



間之原東遺跡1区全景(北から)



間之原遺跡3区2号竪穴住居跡遺物出土状況(東から)

32 宇貫北沖遺跡

うぬぎきたおき

所在地 玉村町大字宇貫

担当者 田村 博・小林 正

遺跡の立地

遺跡は、利根川と烏川に挟まれた微高地にある。現代の削平により、As-C混土黒色土層まで攪乱される地区が多かったが、一部ではAs-B混土層及びAs-A層が残存していた。標高は71m前後である。

調査の概要

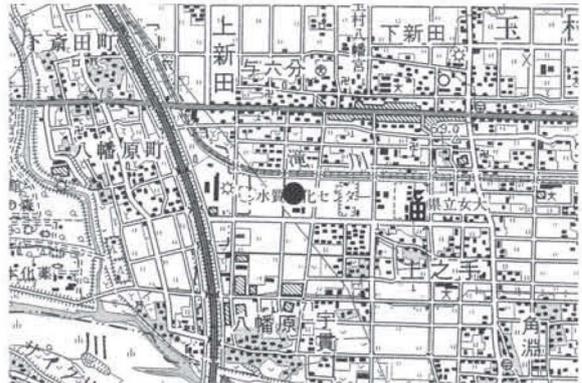
調査は、平成24年度社会資本整備総合交付金事業（下水）県央水質浄化センター施設整備工事に伴う発掘調査で、6,500㎡を調査した。平安時代から近世までの各時代の遺構を検出したが、削平により大半は同一面での調査となった。

平安時代 竪穴状遺構や土坑、溝などが検出された。土坑の中には細かく割れた土器がまとめて出土したものもある。竪穴住居跡は確認されなかったが、近くに集落が存在する可能性がある。

中世～近世初頭 溝や井戸、土坑、ピット、耕作痕群などが検出された。溝の中には、規模は小さいものの薬研堀の形状を呈するものもある。複数の溝で囲まれた区画内では、ピットや井戸が見つかり、屋敷地となっていたと考えられる。井戸は列のように並んで検出されたのが特徴的である。また、その東側では、As-B混土層を攪拌した無数の耕作痕を検出した。

近世 部分的にAs-Aに直接覆われた溝が検出され、溝の隣には人の足跡が列となって見ついている。水田あるいは畑のような柔らかいところを歩いたと思われ、耕作地が広がっていた可能性がある。また、As-Aの軽石を処分するために掘削された復旧坑群も検出された。その他、As-A以降の溝も複数検出された。

(小林 正)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



平安時代 土器がまとめて見つかった土坑(南から)



中世 溝(南から)



江戸時代 復旧坑群(北から)

33 かない 金井古墳群

所在地 北群馬郡榛東村大字広馬場

担当者 関根慎二・津金澤吉茂

遺跡の立地

遺跡は、榛名山南麓に広がる相馬ヶ原扇状地の扇端部に立地し、標高255m～260m付近に位置する。

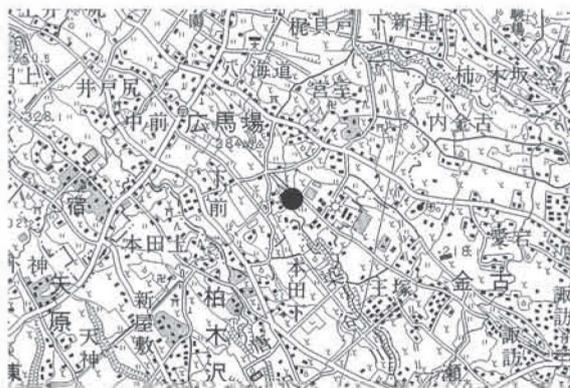
調査の概要

調査は、群馬県県央第一水道事務所浄水場増設工事に伴う発掘調査で、3,744㎡を調査した。

榛東村54号墳、高さ30cm～70cm、直径20mの円形基壇の上に、直径10m、高さ1.2mの墳丘を載せた2段築成の円墳である。古墳主体部は横穴式石室で、ほぼ南側を向いて開口する。玄室の大きさは奥壁前幅1.6m、中央幅1.7m、玄門幅1.0mとやや胴張り気味で、長さ3.0m。羨道部は玄門前幅1.0m、羨門部0.8m、長さ2.2mで、石室全長は5.2m、奥壁部での高さ1.8m。前庭部は羨門の前に逆ハの字状に掘り窪められ、須恵器^{はそう}や土師器坏などが出土した。石室内遺物には、耳環、小刀、責め金具、鉄鏃、釘のほか人の臼歯も認められた。

榛東村55号墳本古墳は、直径20mの周堀に囲まれた基壇の上に、直径12m、高さ1.5mの墳丘を載せた2段築成の円墳である。古墳主体部は南西方向に開口する横穴式石室。石室は後世の大きな破壊を受けていて、玄室は奥壁幅2.0mと確認できたものの、玄室、羨道の長さ、高さとも不明である。しかし、玄室の壁材は幅1m前後の大振りなもので、石室の規模も墳丘の大きさに較べると一際大きかった。出土遺物には、馬具の杏葉、辻金具、鞍金具、鉸具、刀装具の鏢、責め金具の他に、用途不明の鋳状銅製品が多く認められた。前庭部は羨道部から急傾斜で下がり、墓道を連想させるようにU字状石組が取り付けられていた。なお、裏込め石の中から、耳環、責め金具、両頭金具が出土した。

(関根慎二)



国土地理院5万分の1地形図「榛名山」「前橋」使用



54号墳墳丘除去後の石室状況(西から)



55号墳墳丘除去後の石室状況(西から)



遺跡説明会状況(西から)

たかばやしにしはら
34 高林西原古墳群

所在地 太田市高林西町

担当者 関根慎二・宮下 寛・津金澤吉茂

遺跡の立地

遺跡は、太田市南部に位置し、大間々扇状地末端のさらに東側にあたり、低い洪積台地が東西に分布するところである。この洪積台地は、北から新井台地、飯塚台地、矢島台地、高林台地と呼ばれている。高林台地は、調査地となった県立がんセンターの西側付近から大泉町へと続く広い台地で、南北の幅は遺跡付近で1.8km弱である。標高36mである。

調査の概要

調査は、県立がんセンター緩和ケア病棟及び外構建設工事によるもので、3,274㎡を調査した。調査は、8月・9月に病棟部分、3月に外構工事部分が行われた。

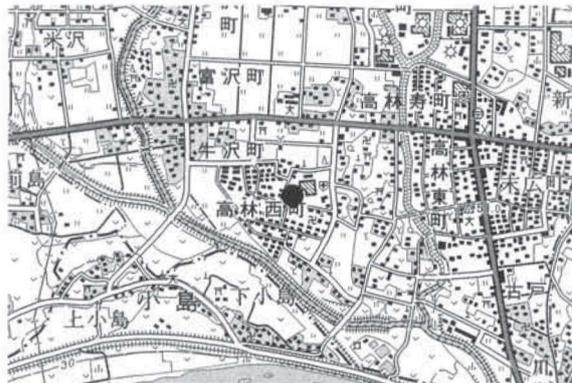
縄文時代 加曾利E式土器の小片が集中する場所が1カ所検出された。埋甕であったものが、後世の攪乱により小片となったものと思われる。

古墳時代 上幅3m、下幅1.5m、深さ1.7mの大溝が検出された。溝は東西方向に作られており、前期土器が出土した。古墳は、4基検出された。墳丘は、削平されており、周溝のみの検出である。12号・13号墳は、周溝の幅約4m、深さ1.3mである。墳丘裾部から、埴輪が検出された。古墳の確認面に、僅かにHr-FAが認められたことから6世紀以降の構築と考えられる。13号墳は、ほぼ全周が検出された。

中世 幅1m、深さ20cm～30cmの溝が、鍵の手状に検出された。埋没土にAs-Bが入っていることから中世に作られたと考えられる。この溝は、前回の調査区でも確認されている。土地の区画に係わる溝と考えられる。

その他、時期不明の土坑・ピットなどが検出されている。

(関根慎二)



国土地理院5万分の1地形図「深谷」使用



13号墳全景(東から)



13号墳埴輪出土状況(南から)



大溝全景(北東から)

35 まえばしじょう 前橋城遺跡

所在地 前橋市大手町

担当者 女屋和志雄・都木直人

遺跡の立地

遺跡は前橋台地上にあり、標高は約139m。調査区は、市指定史跡車橋門の西、前橋城三の丸に隣接した南郭の一角に位置する。

調査の概要

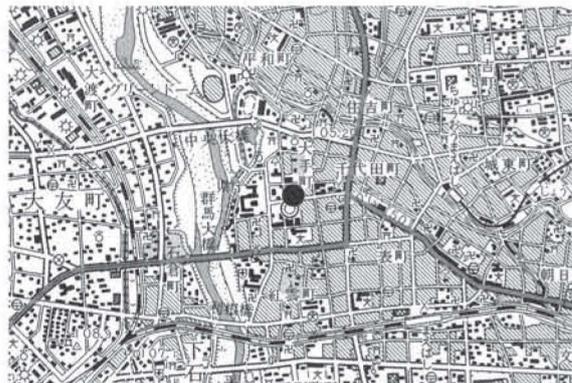
調査は前橋地方合同庁舎(仮称)新営事業に伴う発掘調査で、2,245㎡を調査した。

古代 調査区の一部を、As-C混土層下面まで調査した。円筒埴輪や土師器片等が出土したが、遺構は確認されなかった。

近世 平岩親吉及び酒井氏が前橋藩の藩主であった天正十八(1590)年以降、破却される明和六(1769)年頃までの前橋城の遺構を検出した。およそ南北に走行する直線的な溝は、絵図により調査区内に位置すると想定されていた「十人小路」に伴う溝と思われる。溝は4カ所、一部重複するようであり、検出された溝の中には中世に遡るものや、慶応三(1867)年に前橋城を再築した際に造り直されたものもあって考えている。また、その一つである10号溝からは、炭化した多量の種実が出土している。これらの溝に一部重複して、掘立柱建物が13棟検出された。井戸もあり、城内の屋敷跡が検出されたものと思われる。

陣屋支配の時期及び再築前橋城に伴う遺構や明治前半頃の遺構も検出された。溝6条、土坑22基などが検出されたが、土坑の半数以上には桶が据えられていた。排水施設であった可能性も考えられる。

(都木直人)



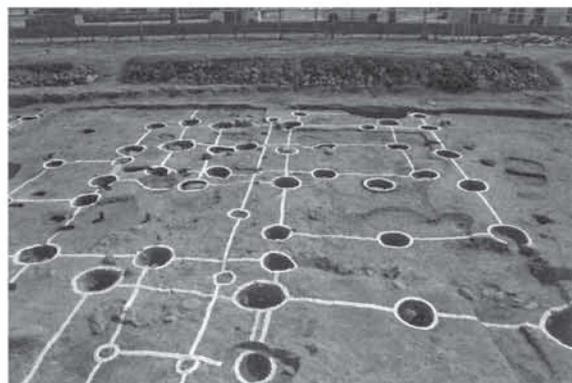
国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」使用



「十人小路」に伴う溝



「十人小路」に伴う溝



掘立柱建物群

36 たかさきじょう 高崎城遺跡

所在地 高崎市高松町

担当者 齊藤利昭

遺跡の立地

遺跡は高崎市役所北西に位置し、200mほど西の国道17号高松立体を越えて烏川^{からすがわ}の崖線に至る。標高は約93mである。高崎城本丸南東部に構築された梅ノ木郭の推定地にあたる。

調査の概要

調査は、前橋地家裁高崎支部の庁舎耐震改修工事に伴い耐震設備設置箇所及び受水槽移設や配電ケーブル切り回し範囲を調査対象とし、293㎡を調査した。

近世・近代 受水槽設置箇所は攪乱が多く遺構は検出できなかった。本館南の耐震設備設置箇所は、高崎城縄張り図を参照し、本丸南東の馬出し梅ノ木郭と二の丸を境の堀跡内と想定でき調査を開始した。調査区内中央部に本館への電気を送電用埋設ケーブルが敷設され、また予定外の埋設管等があり全面発掘はできなかった。調査区内の表土下は、薄く突き固められた版築層が20cm～30cmの厚みで確認でき、旧陸軍第十五連隊関連の構築物が所々見られることから、堀上に作られる建物の基礎を強化するための版築土と考えられる。

高崎城関連の遺構は、梅ノ木郭縄張り図にある埋門(ウズメモン)の対岸の張り出し部と考えられる地山面を検出した。法面の深さ約3.5mを測り、急傾斜となっている。下部に幅70cm程の平坦面が作られ、木杭が辺に沿い3本並んで打ち込まれていた。この平坦面上及び先端部には10cm～50cmの大小礫が乱れて出土し石組みの崩落とも考えられる。上部には炭化物層や基盤層の高崎泥石流混じりの埋め土の堆積が見られ、その中に明治期の瀬戸産の皿や茶碗がまともって出土した。頂部は、攪乱溝等により壊されている。埋め土中に陶磁器が出土した。

(齊藤利昭)



国土地理院5万分の1地形図「高崎」「富岡」使用



調査区全景(東から)



埋門対岸張り出し部遺物出土状況(北から)



埋門対岸張り出し部(東から)

V 付 篇

1 平成24年度県・市町村等発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	安中市 悪途東Ⅱ	原市字東	市教委 菅原龍彦	分譲住宅造成工事 1,503	平24.4.13 ～平24.5.28	円墳3、方墳1
2	国衙下辻Ⅱ	松井田町国衙 字下辻	市教委 菅原龍彦 測研 水谷貴之	小規模土地改良事 業(農道建設工事) 242	平24.11.15 ～平25.1.11	弥生住居4、古墳住居6、土坑10、溝1、ピット4
3	二軒在家原田Ⅱ	松井田町二軒 在家字原田	市教委 菅原龍彦 市嘱託 壁伸明	県営農地整備事業 松義中部地区 14,000	平24.4.16 ～平25.3.25	縄文住居110、古墳住居8、配石墓26、列石1土坑343、溝2、円墳1
4	北浦	野殿字北浦	市教委 瀧川仲男	携帯電話基地局建 設 100		平安住居5
5	上ノ平	小俣字上ノ平	市教委 瀧川仲男	携帯電話基地局建 設 56	平24.7.2 ～平24.7.13	中世溝1
6	西横野東部地区 遺跡群	松井田町人見	市教委 井上慎也	県営農地整備事業 14,000	平24.11.6 ～平24.11.13	旧石器ブロック・礫群、縄文土坑、弥生土坑139、古墳住居1、古代溝
7	三本木Ⅱ・三本 木Ⅲ・平塚	鷺宮	市教委 井上慎也 毛野考研 高橋清文	工業団地造成 2,000	平25.3.11 ～平25.3.31	予備調査、縄文住居、土坑、古代住居、溝等
1	伊勢崎市 今井北原(9次)	赤堀今井町二 丁目	毛野考研 土井道昭	倉庫建設 40	平24.7.17 ～平24.7.25	古代住居2、ピット3
2	太田本郷(2次)	太田町	市教委 早川隆弘 出浦崇	分譲住宅地造成 19	平24.6.25 ～平24.6.26	古代住居1
3	大道上(5次)	八寸町	市教委 早川隆弘 出浦崇	分譲住宅地造成 18	平24.10.23 ～平24.10.25	古墳住居1
4	川上(7次)	下触町	スナガ環測 荻野博巳	分譲住宅地造成 285	平24.12.17 ～平25.1.15	古代住居5、土坑1、ピット1
5	三軒屋(18次)	上植木本町	市教委 早川隆弘 出浦崇	確認調査 350	平24.9.18 ～平24.10.16	時期不明溝6
6	史跡女堀	下触町	市教委 勢藤力 川道亨	学術調査 205	平24.10.15 ～平25.1.30	中世灌漑用水路
7	下諏訪町(2次)	日乃出町	スナガ環測 板垣宏	分譲住宅地造成 900	平25.2.8 ～平25.3.31	古墳～古代住居、土坑、溝
8	下測名(13次)	境下測名	スナガ環測 板垣宏	農道改修 70	平24.11.5 ～平24.12.14	古墳～古代住居11、中世溝4、竪穴状遺構1、土坑8
1	大泉町 専光寺付近	仙石地内	町教委 関本寿雄	店舗	平24.4.5	遺構検出されず
2	鹿沙門	寄木戸	町教委 関本寿雄	集合住宅	平24.5.29	時期不明、ピット1
3	川入	古氷	町教委 関本寿雄	建売り住宅	平24.8.7	遺構検出されず
4	宮下	寄木戸	町教委 関本寿雄	宅地造成	平24.8.10	溝2(同一遺構の可能性あり)
5	大泉町間之原	北小泉	町教委 関本寿雄	宅地造成	平24.11.26	溝1
6	専光寺付近	仙石地内	町教委 関本寿雄	個人住宅	平25.4.12	建物部分(盛土対応)、浄化槽部分遺構検出されず
7	仙石専光寺付近	仙石	町教委 関本寿雄	個人住宅	平25.1.10	遺構検出されず
1	太田市 天良七堂	天良町・市野 井町	市教委 中村涉	学術調査 1,100	平24.11.1 ～平25.2.21	新田郡衙北限溝、区画溝、正倉4
2	細谷八幡	細谷町	市教委 長谷川幸男	消防庁舎 661	平24.8.6 ～平24.9.21	古墳周堀1、方形周溝墓1

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
3	川久保・川久保Ⅱ	新田下田中町	市教委 長谷川幸男 毛野考古 早川麗司	工業団地 2,584	平24.11.15 ～平25.2.8	古墳住居2、奈良住居1、溝5、土坑4
4	木刈・間々下	新田市野井町	市教委 長谷川幸男	市道拡幅 33	平24.9.19 ～平24.9.28	古墳時代溝1、土坑3
5	釣堂	新野町	市教委 長谷川幸男	市道新設 258	平25.2.12 ～平25.3.15	古墳住居3、奈良平安住居8、井戸2、土坑16
6	花園	新田中江田町	市教委 山口高志	老人施設 400	平24.9.3 ～平24.9.28	古墳住居1、平安住居2、土坑8、井戸4
7	東部地区遺跡群	岩松町	市教委 山口高志	区画整理 50	平24.8.23 ～平24.9.7	古墳住居2、溝1、土坑1
8	上新田・世良田環濠集落	世良田町	市教委 山口高志 毛野考古 山本千春	圃場整備 1,221	平24.11.30 ～平25.3.14	中世溝9、土坑51、井戸5
9	矢部	只上町	市教委 山口高志	老人施設 45.5	平25.2.12 ～平25.2.22	平安住居1、井戸1、土坑1
10	下田島	下田島町	市教委 山口高志	区画整理 117	平25.2.22 ～平25.3.1	古墳周堀1、溝1、土坑1、井戸1
11	浜町古墳群	浜町	市教委 山口高志	区画整理 30.5	平24.10.29 ～平24.10.31	平安住居1、土坑1
12	大日山古墳群	石原町	市教委 山口高志	太陽光発電所 31.4	平25.1.25 ～平25.1.26	古墳周堀1
13	下原	新道町	市教委 山口高志	携帯基地局 64	平24.11.21 ～平24.11.29	平安住居1、土坑9
14	金山城跡	金山町	市教委 中村涉 須田茂	学術調査 214	平24.12.11 ～平25.3.27	大手道 水路、石垣
15	江田館跡	新田上江田町	市教委 中村涉 須田茂	学術調査 400	平24.6.26 ～平24.9.27	掘立柱建物、柱穴列、土坑、竪穴状遺構
1	桐生市塚越	広沢町四丁目	市教委 加部二生 新井雅幸	宅地造成 445	平24.4.9 ～平24.6.14	弥生住居跡1、古墳3、井戸跡1、肥溜3、 竪穴遺構1、掘立柱遺構、溝状遺構2
2	富士見ヶ丘3	広沢町二丁目	市教委 加部二生 新井雅幸	集合住宅 110	平24.5.18 ～平24.5.28	古墳1、中世城館跡(堀、土塁)
3	鑄木F	新里町新川	市教委 加部二生	農地改良 152	平24.6.1	なし
4	新屋敷前	川内町三丁目	市教委 加部二生 新井雅幸	個人住宅 8	平24.6.15 ～平24.6.20	古代住居跡2、縄文住居1、土坑10
5	山内出C	新里町武井	市教委 加部二生	個人住宅 84	平24.6.15	なし
6	久保井E	新里町新川	市教委 加部二生	個人住宅 70	平24.8.21	なし
7	童子原	川内町二丁目	市教委 加部二生 新井雅幸	下水道工事 250	平24.8.21 ～平24.10.24	縄文住居跡7、土坑10、古代住居2
8	乙後関I	新里町山上	市教委 加部二生	個人住宅 165	平24.8.31	なし
9	天笠南L	新里町山上	市教委 加部二生	農地改良 1,056	平24.9.7 ～平25.3.29	古代住居6、竪穴状遺構6、土坑多数、中 世館跡堀、井戸跡、建物跡
10	神明山	広沢町三丁目	市教委 加部二生 新井雅幸	擁壁工事 61.24	平24.10.3 ～平24.10.5	古墳住居1、縄文土坑5
11	富士見ヶ丘1	広沢町二丁目	市教委 加部二生 新井雅幸	個人住宅 5	平24.10.17	なし
12	磯M	新里町新川	市教委 加部二生	宅地造成 184	平24.10.18	なし
13	前畑J	新里町野	市教委 加部二生	宅地造成 60	平24.10.25	なし
14	富士見ヶ丘3(第2次)	広沢町二丁目	市教委 加部二生 新井雅幸	個人住宅9	平24.10.30 ～平24.11.1	縄文数点、カワラケ1
15	松原峯VII	新里町武井	市教委 加部二生	分譲住宅造成 374	平24.11.1	なし
16	関長者塚古墳(第IV次)	新里町関	市教委 加部二生	農地改良 300	平24.11.8 ～平24.12.29	五角形墳周溝
17	十三塚I	新里町新川	市教委 加部二生	宅地造成 368	平25.3.21	なし

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	石原西浦遺跡3	石原字西浦	市教委 刺持克洋	分譲住宅建設37.5	平24.5.1 ～平24.5.9	古代住居1
2	石原東古墳群	石原字久保貝	市教委 刺持克洋	駐車場用地造成	平24.6.15 ～平24.6.26	弥生住居1
3	八幡大宮遺跡2	北橋町八幡字大宮	市教委 刺持克洋	介護施設建設 130	平24.7.17 ～平24.7.20	古代住居2、掘立柱建物跡1
4	白井叭谷戸	白井字叭谷戸	市教委 鈴木孝規	携帯基地局電波塔建設 22	平24.11.26 ～平24.12.7	古代住居4、土坑1、製鉄関連遺構1
5	中筋第13次調査	行幸田字中筋	市教委 刺持克洋	分譲住宅地造成	平24.11.26 ～平24.12.7	古墳住居1、畠跡、古代住居1
1	高崎市	井野町	高澤考研 澤田福宏	介護施設建設 1,610	平24.4.2 ～平24.5.15	古墳溝、古代水田
2	上小湍・稲荷	上小湍町	市教委 滝沢匡	介護施設建設 39	平24.4.9 ～平24.4.12	古代水田
3	貝沢塚	貝沢町	市教委 滝沢匡	福祉施設建設 52.9	平24.3.6	古代水田
4	下斎田重土乗	下斎田町	市教委 岡田真敏	道路建設 400	平24.4.13 ～平24.6.29	縄文包含層、古墳溝、中世溝
5	下里見谷戸第3次	下里見町	市教委 岡崎裕子	学童クラブ 200	平24.4.19 ～平24.8.24	縄文包含層、弥生中期後半～後期磯末墓4、土坑1、古墳堅穴4、土坑5、集石遺構1、土坑26、古代堅穴3、土坑1、集石遺構1、畠跡、中近世溝3
6	吉井城東	吉井町吉井	市教委 黒田晃	介護施設建設 546	平24.2.24 ～平24.5.31	時期不明溝6、ピット4
7	菅谷高畑	菅谷町	市教委 原田直人	土地区画整理 800	平24.7.11 ～平25.3.28	古代堅穴3、溝6、土坑3、中世溝1、ピット群
8	棟高遺跡群	棟高町	市教委 田辺芳昭	土地区画整理 4,400	平24.4.2 ～平25.3.29	縄文堅穴1、敷石遺構1、古墳畠跡、古代堅穴17
9	浜尻村西	浜尻町	市教委 角田真也	土地区画整理 140	平24.5.21 ～平24.6.25	古代堅穴、中近世溝、井戸
10	上中居・西屋敷	上中居町	技研測量 山田誠司	複合施設 552	平24.5.31 ～平24.7.17	古墳土坑2、ピット2、古代溝2、中近世溝8、井戸3、土坑11、ピット7
11	栗附・五百山	栗附町	測研 水谷貴之	宅地分譲 138	平24.5.28 ～平24.6.30	古墳堅穴
12	井出村内	井出町	市教委 滝沢匡	個人住宅 752	平24.6.11 ～平24.6.27	縄文包含層、古墳堅穴3、畠1
13	八幡・中原第4次	八幡町	毛野考研 高橋清文	宅地造成 199	平24.6.18 ～平24.7.12	古墳堅穴8、古代溝4、掘立柱建物2
14	江木南屋敷	江木町	市教委 滝沢匡	賃貸住宅 47	平24.6.6	古代水田、古代溝
15	東町第7次	東町	歴史の杜 村上草義	店舗兼共同住宅 230	平24.7.2 ～平24.7.11	古代水田、中世溝2、近世遺物
16	上中居前屋敷第2次	上中居町	市教委 清水豊	道路建設 900	平24.7.6 ～平24.9.6	古墳～近世溝15、土坑7、井戸跡3
17	下之城遺跡群	下之城町	市教委 黒田晃	土地区画整理 8,410	平24.7.4 ～平25.3.29	古代水田、古代溝1、中世溝8、井戸4、ピット群、近世溝10
18	貝沢正天	貝沢町	市教委 滝沢匡	個人住宅 17	平24.7.30 ～平24.7.31	古墳周堀1
19	正観寺并財	正観寺町	市教委 原田直人	個人住宅 362	平24.8.7 ～平24.8.30	古墳～平安堅穴10、近世井戸1
20	萩原・沖中第7次	萩原町	技研測量 前田和昭	工場用地 1,651	平24.9.1 ～平24.11.16	古墳溝、水田、古代水田

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
21	飯玉第3次	飯玉町	市教委 大野義人	学童クラブ 354	平24.9.18 ～平24.9.27	古代～中世溝6
22	下斎田向第2次	下斎田町	市教委 岡田真 飯塚光生	道路建設 800	平24.10.2 ～平24.11.30	中近世溝、中世土坑、古代溝、土坑、ピット、古墳溝
23	西横手・西免第4次	西横手町	技研測量 前田和昭	工場用地 28.8	平24.11.1 ～平24.11.30	古墳水田、平安水田、近世溝
24	下滝・斎田下	下滝町	毛野考研 石丸淳史	鉄塔増設 81	平24.11.14 ～平24.11.29	古墳竪穴7、古代竪穴3、中世土坑12、ピット17
25	多胡碑周辺第2次	吉井町池	市教委 滝沢匡 手島美実子	遺跡範囲確認 960	平24.12.4 ～平25.3.29	縄文包含層、古代竪穴10、ピット6、中世井戸1、時期不明竪穴3
26	吉井・雑木味第2次	吉井町吉井	山下工業 青木利文	建売分譲 150	平24.12.6 ～平24.12.28	古代溝9、近世土坑2、ピット8
27	西横手・西免第5次	西横手町	技研測量 前田和昭	工場用地 1,661.7	平24.12.27 ～平25.2.28	古墳水田、平安水田
28	矢中・村前	矢中町	高澤考研 澤田福宏	特別養護老人ホーム 1,186	平25.1.7 ～平25.2.20	古代水田、竪穴
29	高岡村前第3次	高岡町	市教委 大野義人	土地区画整理 740	平25.1.28 ～平25.3.31	古代以前溝1、古代～中世溝2、縄文包含層
30	下之城仲沖第4次	下之城町	市教委 清水豊	工場用地 2,280	平24.4.3 ～平24.6.8	古墳溝、平安水田、縄文包含層
31	北寝保窪C号墳第2次	棟高町	市教委 大野義人	個人住宅 333	平24.4.16 ～平24.9.11	古墳円墳1
1	館林市 間堀1	上赤生田町	市教委 奈良純一	個人住宅 120	平24.4.24 ～平24.5.31	縄文住居1、年代不明土坑多数
2	日向古墳群	日向町	市教委 奈良純一	その他 10	平24.5.17	年代不明溝1
3	岡野・屋敷前・岡	岡野町	市教委 奈良純一	個人住宅 10	平24.7.10	年代不明溝2
4	館林城跡・城下町	大手町	市教委 奈良純一	集合住宅 17	平24.7.14	年代不明溝1
5	館林城跡・城下町	大手町	市教委 奈良純一	その他 10	平24.11.28	年代不明土坑1、掘削痕
6	天神	新米町天神	市教委 奈良純一	集合住宅 187.5	平24.12.12 ～平24.12.20	井戸1、年代不明溝、土坑多数
1	玉村町 玉村町No.711遺跡	大字下新田・斎田	町教委 中島直樹	都市計画道路啓田上之手線新設 134	平24.10.10	古代As-B直下水田、中、近世以降井戸1、土坑2、ピット2、溝4
1	富岡市 上高田筑前上・ 上高田稲集上	妙義町上高田	市教委 横田大輔 毛野考研 宮本久子	県営農地整備事業 (松義 東部地区) 6,000	平24.5.1 ～平24.8.31	古代住居9、掘立柱建物跡5、畠跡1、溝跡1、土坑66
2	上高田社宮子原・中里下原・中里中原	妙義町上高田・中里	市教委 水田雅美 毛野考研 有山径世 南田法正	県営農地整備事業 (松義 中部地区) 36,000	平24.4.25 ～平24.10.12	縄文住居116、土坑364、弥生住居22、土坑2、古代住居142、掘立柱建物跡23、土坑10、溝跡1
3	中里宮平・中里原	妙義町中里	市教委 水田雅美 山下工業 矢島博文	県営農地整備事業 (松義 中部地区) 10,000	平24.12.17 ～平25.3.8	縄文住居1、土坑2、古代溝跡1、土坑1
4	史跡旧富岡製糸場	富岡	市教委 片野雄介	学術調査 374	平25.1.21 ～平25.3.31	近現代 工女寄宿舎跡 煉瓦施設、花壇、土管、近現代 候門所跡 柱基礎
5	七日市六反田	七日市	毛野考研 常深尚	民間保育園建設 809	平25.1.21 ～平25.2.15	縄文土坑1、平安水田跡1、時期不明土坑1

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	ながのほらまち 長野原町 はやしみやほら 林宮原(9次)	林字宮原	町教委 富田孝彦	町道林線拡幅 33	平24.4.12 ・平24.5.21	遺構なし、土師器、陶磁器出土
2	うえほら 上原I(2次)	林字上原	町教委 富田孝彦	土地改良事業 4,312	平24.5.22 ～平24.10.5	縄文前期初頭住居9、中期後半住居4、土坑2、ピット(石器埋納)1、弥生前期末土坑1、古墳前期住居1、中期土坑1、古代住居12、陥し穴59、焼土遺構5、近世以降土坑5、焼土遺構5、時期不明住居1、土坑50、焼土遺構3、ピット62ほか
3	うえほら 上原IV	林字上原	町教委 富田孝彦	土地改良事業 3,106	平24.4.17 ～平24.4.20 平24.9.21 ～平24.11.30	縄文中期初頭土坑1、後期前葉住居1、土坑2、埋没谷1、古墳後期住居2、古代住居2、時期不明焼土遺構4、土坑11、ピット9、旧河川1、流路跡8ほか
4	ながのほらあざとおにし 長野原字遠西	長野原字遠西	町教委 富田孝彦	個人住宅 9	平24.5.17	遺構なし、天明泥流確認
5	うえのたいら 上ノ平	与喜屋字上ノ平	町教委 富田孝彦	携帯電話基地局 16.2	平24.6.8	遺構なし、黒曜石製石鏃出土
6	おうくわあざしんではら 応桑字新田原	応桑字新田原	町教委 富田孝彦	個人住宅 14.8	平24.6.26	遺構なし
7	よきやあざやまよし 与喜屋字山岸・ あざおんたけ 字大峯	与喜屋字山岸・ 字大峯	町教委 富田孝彦	送電線鉄塔 38.4	平24.7.10	遺構なし
8	やまよし 山岸II	与喜屋字山岸	町教委 富田孝彦	送電線鉄塔 67	平24.7.19・30 ～平24.8.2	縄文前期末土坑1、古代住居1、陥し穴3
9	ひがしほら 東原I(3次)	林字東原	町教委 富田孝彦	個人住宅 21.6	平24.8.3	遺構なし、縄文土器、弥生土器、陶磁器片出土
10	ながのほらじょうあと 長野原城跡	長野原字嶋木	町教委 富田孝彦	町道長野原線 105	平24.10.1 ～平24.10.4	近世天明畑1、陶磁器片出土
11	おうくわあざしんではら 応桑字新田原	応桑字新田原	町教委 富田孝彦	高齢者向け住宅 141.6	平24.11.1	遺構なし
12	しまぎ 嶋木I(3次)	長野原字嶋木	町教委 富田孝彦	町道長野原線 36.96	平24.11.13	近世天明畑、陶磁器片出土
13	ながのほらじょうあと 長野原城跡(2 次)	長野原字嶋木	町教委 富田孝彦	町道長野原線 53.6	平24.11.13 ～平24.11.14	遺構なし
14	ひがしかいざ 東貝瀬III	長野原字東貝瀬	町教委 富田孝彦	町道長野原線 19.36	平24.11.16	近世天明畑
15	つばい 坪井(9次)	大津字松木	町教委 富田孝彦	個人住宅 32.2	平24.11.20	縄文前期前半土坑1、中期後半土坑3(うち2基は掘立柱建物の柱穴)、保存協定
1	ひがしあがつままち 東吾妻町 まつやまつしろ 松谷松下	大字松谷	町教委 吉田智哉	農業基盤整備 1,477	平24.10.9 ～平25.1.9	縄文袋状土坑4、円形土坑8、土坑8、黒曜石集中区2、中世以降竪穴状遺構1、掘立柱建物跡4、ピット群1等
1	ふじおかし 藤岡市 ほんごうしもがいと 本郷下海戸	本郷	市教委 針谷友規	特別支援学校敷地 造成 1,200	平25.1.8 ～平25.2.22	古墳時代住居6、土坑、ピット多数
2	しゆくじんだちく 宿神田地区遺 跡群	神田	市教委 亀井健太郎	農業基盤整備事業 1,992	平24.4.10 ～平25.1.31	古墳8、溝11、土坑3
3	ひらいちく 平井地区2号北 古墳	三ツ木	市教委 井上勉	公園造成 30	平25.3.18 ～平25.3.29	古墳1
4	しゆくじんだ 宿神田II	神田	市教委 針谷友規	住宅建設 31.5	平24.6.27	時期不明土坑1
5	しゅう 城屋敷III	藤岡	市教委 針谷友規	住宅建設 19	平24.7.27	時期不明土坑2、時期不明落込み1
6	しもがいのすつしま 下栗須津島	下栗須	市教委 針谷友規	浄化槽設置 9	平25.1.30	古墳時代住居1、ピット1
7	やば ほうせんぼう 矢場宝泉坊	矢場	市教委 亀井健太郎	工事車両搬入路設 置 7.5	平25.3.4 ～平25.3.25	平安時代落込み1

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	前橋市 上野国府跡	元総社町	市教委 阿久澤智和 並木勝洋	範囲確認調査 705	平24.7.2 ～平25.2.8	古墳～平安時代の住居27、古代の溝1、 中世の溝12、中近世の井戸15、ピット32
2	元総社蒼海遺跡 群(40)	元総社町	市教委 藤坂和延	区画整理事業 1,280	平24.5.10 ～平24.12.27	縄文住居4、土坑2、埋襲2、古墳～平安 住居39、鍛冶遺構1、土坑2、中近世井戸1
3	元総社蒼海遺跡 群(41)	元総社町	市教委 小峰篤 瀧澤重雄	区画整理事業 1,943	平24.5.10 ～平24.12.21	縄文、古墳～古代住居67、鍛冶工房1、 竪穴状遺構3、掘立柱建物1、土坑1、溝1、 井戸1、道路状遺構1、風倒木1
4	元総社蒼海遺跡 群(42)	総社町総社	市教委 小峰篤 瀧澤重雄	区画整理事業 8	平24.5.18	遺構なし
5	元総社蒼海遺跡 群(43)	元総社町	市教委 小峰篤 瀧澤重雄	区画整理事業 280	平24.5.18 ～平24.6.7	古代住居4、溝1
6	元総社蒼海遺跡 群(46)	元総社町	市教委 藤坂和延	区画整理事業 30	平24.8.31 ～平24.9.7	平安住居1、時期不明井戸1
7	元総社蒼海遺跡 群(49)	元総社町	市教委 藤坂和延	区画整理事業 160	平24.10.15 ～平24.10.24	平安住居6、時期不明井戸2、土坑3
8	元総社蒼海遺跡 群(50)	元総社町	市教委 藤坂和延	区画整理事業 290	平24.11.5 ～平24.12.12	縄文住居1、古墳～平安住居18
9	安通・洞No.2 遺跡	粕川町室沢	市教委 阿久澤智和 並木勝洋	範囲確認調査 650	平24.7.23 ～平24.11.16	縄文時代後晩期の遺物包含層、縄文時代 住居1
10	元総社蒼海遺跡 群(44)	元総社町	市教委 福田貴之 技研測量 山田誠司	区画整理事業 320	平24.8.20 ～平24.9.30	古代住居3、溝5、堀2、土壙墓1、井戸1、 土坑39、ピット32
11	元総社蒼海遺跡 群(45)	元総社町	市教委 福田貴之 技研測量 山田誠司	区画整理事業 660	平24.9.26 ～平24.10.31	古墳～古代住居2、溝8、堀2、土壙墓1、 地下式坑1、井戸4、土坑21、ピット104
12	元総社蒼海遺跡 群(47)	元総社町	市教委 福田貴之 シン技術 相澤正信	区画整理事業 156	平25.1.7 ～平25.3.22	堀3、土坑5、井戸6、柱列跡2、ピット72
13	元総社蒼海遺跡 群(48)	元総社町	市教委 福田貴之 毛野考研 日沖剛史	区画整理事業 1,380	平25.2.4 ～平25.2.26	古墳～古代住居32、竪穴状遺構4、溝4、 土坑13、集石1、柱穴多数
14	六供遺跡群 No.7	六供町	市教委 福田貴之 山下工業 櫻井和哉	区画整理事業 400	平24.12.12 ～平24.12.28	古墳住居12、土坑6、柱穴15、溝2
15	朝倉工業団地 遺跡群No.2	下佐鳥町	毛野考研 井上太	工場建設 5,291	平24.11.26 ～平25.2.26	古墳遺物包含層、畠、水田、平安水田、 中世溝
16	朝倉工業団地 遺跡群No.3	下佐鳥町	スナガ環測 板垣宏	倉庫建設 713	平24.7.17 ～平24.8.27	古墳水田、古墳溝、溝
17	朝倉工業団地 遺跡群No.4	下佐鳥町	山下工業 青木利文	工場建設 174	平25.1.25 ～平25.2.3	平安水田、溝7
18	朝倉工業団地 遺跡群No.5	下佐鳥町	毛野考研 宮本久子	工場建設 4,763	平25.2.18 ～平25.4.5	古墳水田、平安水田、溝42、掘立柱1
19	上佐鳥中原前Ⅲ	上佐鳥町	山下工業 櫻井和哉	医療施設建設 302	平25.3.4 ～平25.3.25	平安水田、溝1
20	前箱田村西Ⅲ	前箱田町	シン技術 菊池康一郎	店舗建設 900	平25.2.18 ～平25.3.1	平安水田、溝
1	みどり市 馬見岡第15地点	笠懸町西鹿田	市教委 萩谷千明 松島正志	個人住宅 49.4	平24.5.21 ～平24.5.23	奈良・平安柱穴2
2	北山第12地点	笠懸町阿左美	市教委 萩谷千明 松島正志	病院建築 70	平24.7.10 ～平24.7.12	縄文柱穴6、平安柱穴1
3	大畑	大間々町浅原	市教委 萩谷千明 松島正志	個人住宅 72	平24.8.20 ～平24.8.23	遺構なし
4	馬見岡第16地点	笠懸町西鹿田	市教委 萩谷千明 松島正志	個人住宅 8	平24.8.27 ～平24.8.28	遺構なし
5	宮久保第4地点	笠懸町阿左美	市教委 萩谷千明 松島正志	個人住宅 20	平24.10.15	遺構、遺物なし

番号	遺跡名	所在地	担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
6	かわ 鹿の川第2地点	笠懸町鹿	市教委 萩谷千明 松島正志	個人住宅 3	平24.10.18	縄文土器多数
7	ほりがみ 堀上第6地点	笠懸町阿左美	市教委 萩谷千明 松島正志	露天駐車場 140	平24.12.17 ～平24.12.19	遺構なし
8	しみずきたぐち 清水北口第2地 点	笠懸町鹿	市教委 萩谷千明 松島正志	個人住宅 13.5	平25.1.18 ～平25.1.21	縄文柱穴1
9	きたはら 北原	大間々町桐原	市教委 萩谷千明 松島正志	個人住宅・住宅権 事務所 72	平25.2.19 ～平25.2.21	縄文土坑1
1	けんきょう 県教委 こうぞう 上野国分寺跡	前橋市元総社 町	県教委 橋本淳	平成24年度 国宝 重要文化財等保存 整備事業	平24.9.24 ～平25.1.9	古代寺院

2 平成24年度県・市町村等整理作業一覧

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	安中市 悪途東Ⅱ	市教委 菅原龍彦	平24.5.29 ～平24.11.30	平24.4.13 ～平24.5.28	円墳3、方墳1
2	国衙下辻Ⅱ	市教委 菅原龍彦 市嘱託 壁伸明	平25.1.15 ～平25.3.29	平24.11.15 ～平25.1.11	弥生住居4、古墳住居6、土坑10、溝1、ピット4
3	西横野中部地区 遺跡群	市教委 菅原龍彦 市嘱託 壁伸明	平24.4.16 ～平25.3.25	平20年度 ～平24年度	縄文、古墳、古代集落、終末期古墳、古代溝状遺構
4	西横野東部地区 遺跡群	市教委 井上慎也	平24.4.24 ～平25.3.25	平18年度 ～平24年度	旧石器遺物、縄文住居46、弥生土坑139、古墳住居184、水場、土坑、古墳1、古代住居20、古代道路、区画溝、溝等
1	伊勢崎市 新屋敷(2次)	スナガ環測 金子正人	平24.11.29 ～平25.3.15	平24.1.4 ～平24.3.15	古墳住居4、溝3、土坑7、ピット30、畝間状遺構
2	今井北原(4～6次)	市教委 出浦崇	平24.4.2 ～平24.10.31	平9.9.5 ～平9.10.21	古墳住居6、古代住居1、溝3
3	今井北原(9次)	毛野考研 土井道昭	平24.7.26 ～平24.10.31	平24.7.17 ～平24.7.25	古代住居2、ピット3
4	伊与久・久保田 東(3次)	市教委 早川隆弘 勢藤力	平24.6.1 ～平24.12.28	平23.10.3 ～平23.10.27	古代住居1、竪穴状遺構2、土坑7、古代～近世溝8、古代水田面
5	川上(7次)	スナガ環測 荻野博巳	平25.1.16 ～平25.3.15	平24.12.17 ～平25.1.15	古代住居5、土坑1、ピット1
6	三軒屋	市教委 出浦崇	平24.4.1 ～平24.12.28	平14・16・17・19 年度～平23年度	佐位郡衛正倉跡
7	下ノ西(2次)	市教委 早川隆弘	平24.6.1 ～平25.3.15	平23.4.25 ～平23.4.27	古代住居2
8	西山	市教委 勢藤力	平24.6.1 ～平25.3.15	平23.4.4 ～平23.4.6	古墳住居1、古代溝2
9	社北(2次)	市教委 出浦崇	平24.11.1 ～平25.3.29	平8.11.7 ～平9.6.24	縄文住居7、古墳～古代住居54、古墳祭祀遺構1、石組遺構2、石敷遺構1
1	大泉町 寄木戸東原	町教委 関本寿雄	平24.4.9 ～平24.7.27	平1.6.15 ～平1.6.30	古代住居跡1、土坑1(時期不明)
2	横町遺跡Ⅱ	町教委 関本寿雄	平24.4.9 ～平24.7.27	平8.9.9 ～平8.9.12	古墳前期(石田川期)住居跡1
3	西原	町教委 関本寿雄	平24.9.3 ～平25.2.26	平11.7.23 ～平11.8.4	古代住居跡3
1	太田市 太田市内	市教委 中村涉	平24.5.14 ～平25.3.29	平23 ～平24年度	
2	岩松千歳2	市教委 中村涉	平24.4.2 ～平25.3.29	平17.2.14 ～平17.12.13	
3	北部スポーツ公園 園内遺跡群	市教委 中村涉	平24.4.2 ～平25.3.25	平17.2.15 ～平18.7.31	
4	駒形神社埴輪窯跡	市教委 中村涉	平24.4.2 ～平25.3.25	昭62.4.5 ～昭62.7.8	埴輪窯跡、埴輪集積場
5	金山城跡	市教委 中村涉 須田 茂	平25.2.1 ～平25.2.28	平19年度 ～平23年度	戦国期山城
1	甘楽町 下小塚Ⅳ	町教委 小安和順	平24.4.2 ～平25.3.29	平13.1.9 ～平13.5.30	弥生住居23、古墳住居30、平安住居11
1	桐生市 天笠南Ⅰ	市教委 加部二生	平24.4.1 ～平25.3.15	平23.4.11 ～平23.5.31	古代住居1、中世竪穴状遺構1、中世溝状遺構2、土坑8
2	関長者塚古墳Ⅲ	市教委 加部二生	平24.4.1 ～平25.3.15	平23.6.8 ～平23.6.21	市指定史跡の終末期五角形埴輪溝南西隅部

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
3	あまがさみなみ 天笠南 K	市教委 加部二生	平24.4.1 ～平25.3.15	平23.6.22 ～平23.7.28	古墳住居1、古代住居1、溝状遺構3、中～近世土坑5
4	どうじばら 童子原	市教委 加部二生 新井雅幸	平24.4.1 ～平25.3.15	平23.9.20 ～平23.11.15	古代住居2、土壇2、ピット66、溝状遺構5、道跡1、竪穴遺構1
5	だいゆういんまえ 大雄院前(第1次)	市教委 加部二生 新井雅幸	平24.4.1 ～平25.3.15	平23.10.25 ～平23.11.7	縄文住居4、土坑8、ピット22、古墳住居1、時期不明住居1、土坑8、ピット10、溝状遺構1
6	やまかみしんまち 山上新町IV	市教委 加部二生	平24.4.1 ～平25.3.1	平23.12.1 ～平23.12.28	溝状遺構1
7	もとじやく 元宿 I	市教委 加部二生	平24.4.1 ～平25.3.15	平24.1.10 ～平24.3.23	縄文住居3、溝状遺構1、縄文～中世土坑4、風倒木痕1
1	しづかわし 渋川市 うしろだひがし 後田東遺跡3	市教委 剣持克洋	平24.5.1 ～平24.9.30	平23.11.15 ～平23.11.18	弥生住居3
2	つくだかみあじろ 津久田上安城遺跡2	市教委 後藤佳一	平24.4.1 ～平25.3.31	平22.7.2 ～平23.3.11	古代住居4、竪穴状遺構2、掘立柱建物跡5、柵列1、土坑30、石組1、風倒木痕2 倒木痕1
3	ありまてらばたけ 有馬寺 畑	市教委 後藤佳一	平24.4.1 ～平25.3.31	平23.9.26 ～平24.3.30	古代住居41、溝3、井戸3、柵列5、土坑多数、古墳畠跡、方形、円形周溝墓8、弥生住居11
1	たかまきし 高崎市 おなだかいせきぐん 棟高遺跡群	市教委 田辺芳昭	平24.5.8 ～平25.3.29	平13.4.1 ～平18.3.31	古墳竪穴、畠跡、低墳丘墓、古代竪穴、掘立柱建物
2	たかまきじょう 高崎城 第20次	市教委 清水豊	平24.4.9 ～平25.3.29	平23.5.2 ～平24.3.28	古墳竪穴1、古代竪穴3、中世溝2、近代建物基礎、溝5、井戸1
3	すがやたかなはた 菅谷高畑	市教委 田辺芳昭	平24.7.11 ～平25.3.28	平12.4.1 ～平16.3.31	古墳竪穴、古代竪穴、掘立柱建物
4	はまじりむらにし 浜尻村西	市教委 滝沢匡	平24.5.21 ～平25.3.29	平10.4.1 ～平15.3.31	古墳竪穴、畠、古代竪穴、井戸、中世堀、ピット
5	しももとみみやいと 下里見宮谷戸第2次	市教委 黒田晃	平24.6.1 ～平25.3.30	平23.4.13 ～平23.8.18	縄文包含層、古墳竪穴24、鍛冶炉?1、金床、古代畠跡
6	しもさいだじゅうどやく 下斎田重土葉師	市教委 岡田真 飯塚光生 手島芙実子	平24.7.2 ～平25.3.29	平24.4.13 ～平24.6.29	縄文包含層、古墳溝、中世溝
7	しもさいだいせきぐん 下斎田遺跡群	市教委 岡田真 飯塚光生 手島芙実子	平24.4.1 ～平25.3.29	平23.4.1 ～平23.12.27	縄文包含層、古墳1、方形周溝墓4、竪穴6、溝14、井戸4、土坑14、ピット36、畠跡、古代～中世溝4、中世以降溝18、井戸2、土坑墓5、火葬施設1、土坑5、ピット6
8	しもさいだむかい 下斎田向	市教委 岡田真 山本ジェームズ 飯塚光生	平24.4.1 ～平25.3.29	平23.7.1 ～平24.3.31	縄文包含層、古墳溝2、古代竪穴7、掘立柱建物5、井戸5、土坑75、ピット82、溝64、配石1、水田、中世以降土坑3、溝61、井戸16、ピット3
9	かみまいせきぐん 上滝遺跡群	市教委 清水豊 飯塚光生	平24.4.1 ～平25.3.29	平22.8.24 ～平23.3.31	縄文包含層、土坑2、古墳溝4、古代竪穴7、掘立柱建物5、井戸16、土坑、水田、中世井戸、溝
10	みずぬまてらさわ 水沼寺沢	市教委 角田真也	平24.6.1 ～平25.3.29	平23.6.20 ～平24.3.30	縄文竪穴20、土坑、弥生土坑、古代竪穴14、鍛冶遺構3、土坑、耕作痕、中近世竪穴2、土坑、近世墓1
11	しものじょうなかおき 下之城 仲沖 第3次	市教委 山本ジェームズ	平24.4.1 ～平25.3.29	平21.7.13 ～平22.3.24	古代水田
12	しものじょうなかおき 下之城 仲沖 第4次	市教委 清水豊	平24.4.1 ～平25.3.29	平24.2.1 ～平24.6.30	古墳溝、古代水田
13	しものじょうむらまえ 下之城 村前 第7次	市教委 大野義人	平24.12.10 ～平25.3.29	平23.11.1 ～平24.3.15	古代溝、水田跡
14	かいざわごれいじんじやご 貝沢五霊神社古墳	市教委 山本ジェームズ	平24.6.1 ～平24.12.28	平24.1.5 ～平24.3.30	古墳南側周堀、土坑、ピット、古代～中世溝9、近世土坑5
15	あしどひがしやしきま 足門東 屋敷間	市教委 田辺芳昭	平24.6.1 ～平24.12.28	平23.5.18 ～平23.6.17	中世?畠跡
16	ごんだせきや 権田関谷 第1、2次	市教委 角田真也	平24.4.9 ～平25.3.29	平22.4.12 ～平22.6.25 平23.4.11 ～平23.5.24	自然流路、縄文前期～晩期、弥生前期～後期遺物包含

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
17	八幡・中原 第4次	毛野考研 高橋清文	平24.7.23 ～平24.11.30	平24.6.18 ～平24.7.12	古墳竪穴8、古代溝4、掘立柱建物2
18	上中居・西屋敷 第4次	技研測量 山田誠司	平24.9.18 ～平24.9.28	平24.5.31 ～平24.7.17	古墳土坑2、ピット2、古代溝2、中近世溝8、井戸3、土坑11、ピット7
19	乗附・五百山	測研 水谷貴之	平24.7.1 ～平24.10.31	平24.5.28 ～平24.6.30	古墳竪穴
20	下滝・斎田下	毛野考研 石丸淳史	平24.12.3 ～平25.3.15	平24.11.14 ～平24.11.29	古墳竪穴7、古代竪穴3、中世土坑12、ピット17
21	住吉町 第2次	毛野考研 南田法正	平24.4.6 ～平24.6.30	平24.3.26 ～平24.4.5	古代水田跡、近世～近代建物1、ピット4
22	東町 第7次	歴史の杜 村上章義	平24.7.17 ～平24.9.30	平24.7.2 ～平24.7.11	古代水田、中世溝2、近世遺物
23	井野・天水	高澤考研 澤田福宏	平24.5.16 ～平24.8.30	平24.4.2 ～平24.5.15	古墳溝、古代水田
24	吉井・雑木味 第2次	山下工業 青木利文	平24.12.29 ～平25.3.29	平24.12.6 ～平24.12.28	古代溝9、近世土坑2、ピット8
1	館林市 間堀1	市教委 奈良純一	平24.6.1 ～平25.3.31	平24.4.24 ～平24.5.31	縄文住居1、年代不明土坑多数
2	日向古墳群	市教委 奈良純一	平24.5.18 ～平25.3.31	平24.5.17	年代不明溝1
3	岡野・屋敷前・岡	市教委 奈良純一	平24.7.11 ～平25.3.31	平24.7.10	年代不明溝2
4	館林城跡・城下町	市教委 奈良純一	平24.7.15 ～平25.3.31	平24.7.14	年代不明溝1
5	館林城跡・城下町	市教委 奈良純一	平24.11.29 ～平25.3.31	平24.11.28	年代不明土坑1、掘削痕
6	天神	市教委 奈良純一	平24.12.21 ～平25.3.31	平24.12.12 ～平24.12.20	井戸1、年代不明溝、土坑多数
1	玉村町 深沢	町教委 中島直樹	平24.5.31 ～平24.12.27	平7.2.20 ～平7.3.15	古墳(周堀)2、住居1、土坑1、溝8、As-B以降溝1、近世以降か溝2、時期不明溝4、時期不明ピット3
2	深沢(第2次調査)	町教委 中島直樹	平24.5.31 ～平24.12.27	平7.12.4 ～平7.12.26	古墳(周堀)1、住居1、古墳時代以降土坑2、古代水田1、As-A以降土坑4、時期不明ピット3
3	玉村町No.711遺跡	町教委 中島直樹	平24.5.31 ～平24.12.27	平24.1.25 ～平24.1.26 平24.10.10	古代As-B直下水田、中・近世以降井戸1、土坑2、ピット2、溝4
1	富岡市 上高田筑前上・ 上高田稲葉上	市教委 横田大輔	平24.5.1 ～平24.7.30 平24.10.1 ～平25.1.31	平23.12.1 ～平24.3.16	古代住居18、溝跡1、土坑8、井戸1
2	上高田社宮子 原・中里下原	市教委 水田雅美	平24.10.20 ～平25.3.19	平23.1.20 ～平23.2.18 平23.6.14 ～平23.9.30 平23.12.6 ～平24.3.16 平24.4.25 ～平24.10.12	縄文住居105、土坑330、弥生住居25、土坑2、古代住居118、掘立柱建物跡20、溝跡1、土坑10
3	史跡旧富岡製糸場	市教委 片野雄介	平24.9.1 ～平25.3.31	平23.10.7 ～平24.3.31	近現代 西置繭所周囲 煉瓦造排水溝、除雷施設、土管、溝跡、近現代 蚕種製造所跡 建物基礎、布基礎、蚕種洗落場跡、石組側溝、地下室跡

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	長野原町 林中原Ⅰ(9次)	町教委 富田孝彦	平24.4.9 ～平24.7.30	平18.9.19 ～平18.10.25	縄文後期住居2、配石遺構24、土坑10
2	林中原Ⅰ(12次)	町教委 富田孝彦	平24.7.2 ～平24.8.23 平25.3.25 ～平25.3.29	平19.4.11 ～平19.6.28	縄文後期住居2、配石遺構10、土坑15、中期後半包含層、古代掘立柱建物1ほか
3	林中原Ⅰ(14次)	町教委 富田孝彦	平24.4.9 ～平24.4.27	平19.10.4 ～平19.11.20	縄文中期後半住居2、土坑15
4	林中原Ⅰ(15次)	町教委 富田孝彦	平24.4.5 ～平25.3.29	平20.10.27 ～平20.12.5	縄文中期末住居1、後期住居3、配石遺構22、土坑4
5	林中原Ⅰ(16次)	町教委 富田孝彦	平24.1.23 ～平24.3.30	平20.10.8 ～平20.10.22 平20.12.8 ～平20.12.24	縄文中期末～後期包含層、埋没河道、土坑11
6	山岸Ⅱ	町教委 富田孝彦	平24.8.3 ～平25.2.15	平24.7.30 ～平24.8.2	縄文前期末土坑1、古代住居1、陥し穴3
7	三平Ⅰ	町教委 富田孝彦	平24.4.9 ～平25.3.15	平20.6.12 ～平20.8.7	縄文早期後半～後期中葉土坑25、弥生中期土坑3、古代住居1、焼土遺構2、陥し穴8、不明遺構1、時期不明土坑4
8	坪井(8次)	町教委 富田孝彦	平24.4.9 ～平25.2.15	平23.7.28 ～平23.8.12 平23.10.13 平23.10.14	縄文早期土坑1、後期前葉土坑1、弥生中期前半竪穴状遺構1、土坑3、古代陥し穴3、時期不明土坑8
9	上原Ⅱ(2次)	町教委 富田孝彦	平24.4.2 ～平25.3.29	平23.5.20 ～平23.10.6	縄文中期初頭竪穴状遺構3、焼土遺構5、土坑21、不明遺構1、包含層1、古代陥し穴3、時期不明土坑53、ピット9
10	上原Ⅲ(2次)	町教委 富田孝彦	平24.4.2 ～平25.3.29	平23.5.20 ～平23.10.6	縄文前期末～後期前葉土坑2、弥生中期前半土坑2、古代鍛冶工房1、住居11、焼土遺構6、陥し穴29、土坑11、中世竪穴状遺構1、近世以降墓1、自然流路5、時期不明土坑126、ピット131
11	中棚Ⅰ(2次)	町教委 富田孝彦	平24.4.2 ～平25.3.29	平23.10.31 ～平23.12.22	縄文土坑1、古代住居4、時期不明土坑16、ピット57
12	上原Ⅰ(2次)	町教委 富田孝彦	平24.10.10 ～平25.2.28	平24.5.22 ～平24.10.5	縄文前期初頭住居9、中期後半住居4、土坑2、ピット(石器埋納)1、弥生前期末土坑1、古墳前期住居1、中期土坑1、古代住居12、陥し穴59、焼土遺構5、近世以降土坑5、焼土遺構5、時期不明住居1、土坑50、焼土遺構3、ピット62ほか
13	上原Ⅳ	町教委 富田孝彦	平24.12.7 ～平25.3.29	平24.4.17 ～平24.4.20 平24.9.21 ～平24.11.30	縄文中期初頭土坑1、後期前葉住居1、土坑2、埋没谷1、古墳後期住居2、古代住居2、時期不明焼土遺構4、土坑11、ピット9、旧河川1、流路跡8ほか
14	東原Ⅰ(3次)	町教委 富田孝彦	平25.2.7 ～平25.2.27	平24.8.3	遺構なし、縄文土器、弥生土器、陶磁器片出土
15	長野原城跡	町教委 富田孝彦	平25.2.7 ～平25.2.27	平24.10.1 ～平24.10.4	近世天明畑1、陶磁器片出土
16	嶋木Ⅰ(3次)	町教委 富田孝彦	平25.2.7 ～平25.2.27	平24.11.13	近世天明畑、陶磁器片出土
17	坪井(9次)	町教委 富田孝彦	平25.1.28 ～平25.2.6	平24.11.20	縄文前期中前半土坑1、中期後半土坑3(うち2基は掘立柱建物の柱穴)、保存協定
1	沼田市 広瀬	市教委 小池雅典	平24.9.20 ～平25.3.29	平22.12.21 ～平23.3.25	縄文土坑群33
2	月夜野	市教委 小池雅典	平24.9.20 ～平25.3.29	平23.12.21 ～平24.3.23	縄文土坑群124、古墳住居1
1	藤岡市 藤岡南部地区遺跡群	市教委 田野倉武男	平24.5.14 ～平25.3.15	平21.4.1 ～平23.3.31	古墳～平安住居196、中近世溝166、井戸1、祭祀遺構2

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
2	鮎川藤ノ木C	市教委 田野倉武男	平24.1.5 ～平25.3.29	平23.6.8 ～平23.11.14	古墳～平安住居18、竪穴状遺構3、掘立柱建物8、土坑、ピット571
3	三本木地区遺跡群	毛野考研 石丸敦史	平21.5.11 ～平23.3.25	平24.6.11 ～平25.3.25	古墳～平安住居95、掘立柱建物7、竪穴状遺構2、溝53、土坑203、ピット848
4	宿神田地区遺跡群	市教委 亀井健太郎	平23.12.19 ～平24.3.15	平25.2.1 ～平25.2.28	古墳5、近世土坑、溝
5	神田宿Ⅱ	市教委 針谷友規	平24.6.27	平24.11.1 ～平25.3.15	時期不明土坑1
6	城屋敷Ⅲ	市教委 針谷友規	平24.7.27	平24.11.1 ～平25.3.15	時期不明土坑2、時期不明落込み1
7	下栗須津島	市教委 針谷友規	平25.1.30	平25.1.31 ～平25.3.15	古墳時代住居1、ピット1
8	矢場宝泉坊	市教委 針谷友規	平25.3.4 ～平25.3.25	平25.3.25 ～平25.3.29	平安時代落込み1
1	前橋市 上野国府跡	市教委 阿久澤智和 並木勝洋	平25.2.12 ～平25.3.31	平24.7.2 ～平25.2.8	古墳～平安時代の住居27、古代の溝1、中世の溝12、中近世の井戸15、ピット32
2	元総社蒼海遺跡群(40)	市教委 藤坂和延	平24.6.26 ～平25.3.22	平24.5.10 ～平24.12.27	縄文住居4、土坑2、埋蔵2、古墳～平安住居39、鍛冶遺構1、土坑2、時期不明井戸1
3	元総社蒼海遺跡群(41)	市教委 小峰篤 瀧澤重雄	平24.12.25 ～平25.3.15	平24.5.10 ～平24.12.21	縄文、古墳～古代住居67、鍛冶工房1、竪穴状遺構3、掘立柱建物1、土坑1、溝1、井戸1、道路状遺構1、風倒木1
4	元総社蒼海遺跡群(43)	市教委 小峰篤 瀧澤重雄	平24.12.25 ～平25.3.15	平24.5.18 ～平24.6.7	古代住居4、溝1
5	元総社蒼海遺跡群(46)	市教委 藤坂和延	平24.9.6 ～平25.3.22	平24.8.31 ～平24.9.7	平安住居1、時期不明井戸1
6	元総社蒼海遺跡群(49)	市教委 藤坂和延	平24.10.24 ～平25.3.22	平24.10.15 ～平24.10.24	平安住居6、時期不明井戸2、土坑3
7	元総社蒼海遺跡群(50)	市教委 藤坂和延	平24.12.10 ～平25.3.22	平24.11.5 ～平24.12.12	縄文住居1、古墳～平安住居18
8	安通・洞No.2 遺跡	市教委 並木勝洋 阿久澤智和	平24.11.19 ～平25.2.28	平24.7.23 ～平24.11.16	縄文時代後晩期の遺物包含層、縄文時代住居1
9	元総社蒼海遺跡群(39)	市教委 福田貫之 毛野考研 伊藤順一	平24.10.22 ～平25.3.22	平24.3.12 ～平24.6.29	古墳～古代住居44、溝9、土坑26、柱穴
10	元総社蒼海遺跡群(44)	市教委 福田貫之 技研測量 山田誠司	平24.11.1 ～平25.3.22	平24.8.20 ～平24.9.30	古墳～古代住居2、溝8、堀2、土壇墓1、地下式坑1、井戸4、土坑21、ピット104
11	元総社蒼海遺跡群(45)	市教委 福田貫之 技研測量 山田誠司	平24.11.1 ～平25.3.22	平24.9.26 ～平24.10.31	堀3、土坑5、井戸6、柱列跡2、ピット72
12	元総社蒼海遺跡群(47)	市教委 福田貫之 シン技術 相澤正信	平25.2.26 ～平25.3.27	平25.1.7 ～平25.3.22	堀3、土坑5、井戸6、柱列跡2、ピット72
13	六供遺跡群 No.7	市教委 福田貫之 山下工業 櫻井和哉	平25.1.4 ～平25.2.21	平24.12.12 ～平24.12.29	古墳住居12、土坑6、柱穴15、溝2
14	朝倉工業団地 遺跡群No.2	毛野考研 井上太	平25.2.27 ～平25.8.30	平24.11.26 ～平25.2.26	古墳遺物包含層、畠、水田、平安水田、中世溝
15	朝倉工業団地 遺跡群No.3	スナガ環測 板垣宏	平24.8.20 ～平24.10.26	平24.7.17 ～平24.8.27	古墳水田、古墳溝、溝
16	朝倉工業団地 遺跡群No.4	山下工業 青木利文	平25.2.4 ～平25.3.8	平25.1.25 ～平25.2.3	平安水田、溝7
17	朝倉工業団地 遺跡群No.5	毛野考研 宮本久子	平25.4.8 ～平25.8.30	平25.2.18 ～平25.4.5	古墳水田、平安水田、溝42、掘立柱1
18	上佐島中原前Ⅲ	山下工業 櫻井和哉	平25.3.26 ～平25.5.15	平25.3.4 ～平25.3.25	平安水田、溝1
19	前箱田村西Ⅲ	シン技術 菊池康一郎	平25.3.4 ～平25.4.19	平25.2.18 ～平25.3.1	平安水田、溝3
1	みどり市 阿左美遺跡元屋敷地区第8地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.4.6 ～平22.4.8	中世城館及び集落跡

番号	遺跡名	整理担当者	整理期間	調査期間	遺跡の内容
2	清水北口 第2地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.4.26 ～平22.5.26	縄文土坑15、柱穴多数、中世柱穴多数
3	岩宿Ⅱ 第6地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.5.21 ～平22.6.28	岩宿(旧石器)4点、縄文土坑1
4	北山 第7地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.5.25	縄文土坑1、時期不明の柱穴多数
5	阿左美遺跡仲地区第25地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.6.1 ～平22.6.18	縄文住居2、土坑3、平安柵列、柱穴多数、中世土坑5以上
6	鹿清水 第16地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.7.15 ～平22.7.16	縄文土坑7、柱穴20、平安住居1
7	阿左美元屋敷地区第9地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.7.22 ～平22.7.23	中世城館及び集落跡
8	高松A 第2地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.8.30 ～平22.9.24	縄文住居1、土坑7、柱穴多数
9	北山 第8地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.10.12 ～平22.11.5	縄文土坑1、柱穴多数、平安柱穴10
10	北山 第9地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.11.4 ～平22.11.5	遺構なし
11	岩宿遺跡周辺部	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平22.11.2	遺構、遺物なし
12	谷端 第2地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平23.3.23	縄文土坑1、柱穴12
13	宮久保 第3地点	市教委 萩谷千明	平24.4.10 ～平25.1.31	平23.3.23	遺構なし
14	市内遺跡	市教委 萩谷千明	平20.1.31 ～平25.3.26	平20.1.31 ～平25.2.17	市内遺跡詳細分布調査採集遺物、散布地、集落跡
15	馬見岡 第15地点	市教委 萩谷千明	平24.5.23 ～平25.3.26	平24.5.21 ～平24.5.23	奈良・平安柱穴2
16	北山 第12地点	市教委 萩谷千明	平24.7.12 ～平25.3.26	平24.7.10 ～平24.7.12	縄文柱穴6、平安柱穴1
17	大畑	市教委 萩谷千明	平24.8.23 ～平25.3.26	平24.8.20 ～平24.8.23	遺構なし
18	馬見岡 第16地点	市教委 萩谷千明	平24.8.28 ～平25.3.26	平24.8.27 ～平24.8.28	遺構なし
19	宮久保 第4地点	市教委 萩谷千明	平24.10.15 ～平24.10.31	平24.10.15	遺構、遺物なし
20	鹿の川 第2地点	市教委 萩谷千明	平24.10.18 ～平25.3.26	平24.10.18	縄文土器多数
21	堀上 第6地点	市教委 萩谷千明	平24.12.19 ～平25.3.26	平24.12.17 ～平24.12.19	遺構なし
22	清水北口 第2地点	市教委 萩谷千明	平25.1.21 ～平25.3.26	平25.1.18 ～平25.1.21	縄文柱穴1
23	北原	市教委 萩谷千明	平25.2.21 ～平25.3.26	平25.2.19 ～平25.2.21	縄文土坑1
1	県教委 上野国分寺跡	県教委 橋本淳	平25.2.12 ～平25.3.29	平24.9.24 ～平25.1.9	古代寺院
2	県内遺跡	県教委 桜井美枝 津島秀章 横山千晶 諸田康成 石田真	平24.4.1 ～平25.2.10	平23.4.10 ～平24.3.31	試掘・確認調査
3	岩押皿	県教委 桜井美枝 津島秀章 横山千晶 諸田康成 石田真	平24.7.1 ～平25.1.31	平23.11.14 ～平23.11.18	古代水田

3 平成24年度県・市町村等報告書一覧(事業団分含む)

番号	報告書名	遺跡名	内 容	発行年月日
1	安中市 悪途東Ⅱ遺跡	同左	円墳3、方墳1	平24.12.28
2	西横野中地区遺跡群	二軒在家原田Ⅱ遺跡	縄文住居110、古墳住居8、配石墓26、列石1、土坑343、溝2、円墳1	平25.3.25
3	西横野東部地区遺跡群6	人見西向原、上人見	旧石器ブロック・礫群、弥生中期土坑群、古代牧関連区画溝、溝	平25.3.19
1	伊勢崎市 新屋敷遺跡2	同左	古墳住居4、溝3、土坑7、ピット30、畝間状遺構	平25.3.15
2	今井北原遺跡9	同左	古代住居2、ピット3	平24.10.31
3	伊与久・久保田東遺跡3	同左	古代住居1、竪穴状遺構2、土坑7、古代～近代溝8、古代水田面	平25.3.15
4	川上遺跡7	同左	古代住居5、土坑1、ピット1	平25.3.15
5	三軒屋遺跡一総括編一	同左	佐位郡衛正倉跡	平25.2.20
6	市内遺跡2	赤坂、伊与久、矢中、下ノ西、西山、今泉本郷、女堀用水遺構	古墳住居1、古代住居2、古代溝3、古代土坑1、中世灌漑水路	平25.3.22
1	大泉町 古海地内10番古墳	同左	6世紀初頭の築造と想定される帆立貝式古墳、円筒及び朝顔形、家形埴輪等出土、また大刀及び大刀飾り、鉄鏃、竪櫛、ガラス玉、管玉等の副葬品多数出土	平24.12.20
1	太田市 市内遺跡8	遺跡他	平成23年度の市内遺跡確認調査	平25.3.29
1	桐生市 桐生市文化財調査報告書第32集 新里地区遺跡群発掘調査報告Ⅳ	石山西、武井廃寺跡、武井峯B、梨子木C、藤生沢C、梨子木D、新宿A、北原A、新宮F、下宿東、元宿C、堂城B、梨子木E、久保井B、梨子木F、武井峯C、太郎A、下鶴ヶ谷B、東畑A、山上天笠D、藤生沢D、新宮G、武井峯D、広間地西Ⅱ、武井峯F、観音寺、武井峯G遺跡	平成4・5・6年度国庫補助事業として実施した発掘調査および確認調査の報告	平25.3.15
1	群馬県埋蔵文化財調査事業団 木島・下久保遺跡	木島・下久保遺跡	古墳遺物集中部2・土坑1、平安・中近世土坑11・ピット3・溝4	平24.7.31
2	上泉武田遺跡	上泉武田遺跡	奈良住居10・土坑1、平安住居10・掘立柱建物2・溝1、奈良平安住居2、中近世溝1	平24.12.7
3	北山遺跡	北山遺跡	旧石器土坑3・縄文竪穴住居6・土坑162・ピット25、平安地割れ	平24.9.19
4	尾坂遺跡	尾坂遺跡	江戸畑	平24.9.19
5	綿貫牛道遺跡	綿貫牛道遺跡	古墳竪穴住居10・土坑・溝、飛鳥・奈良・平安竪穴住居4・掘立柱建物1・土坑・溝、中世掘立柱建物26・土坑89・井戸4・溝10、近世溝2	平24.12.19
6	樋ノ下遺跡	樋ノ下遺跡	縄文竪穴住居1・小竪穴遺構1	平24.10.26
7	楡木Ⅰ遺跡・上原Ⅳ遺跡(2)・西久保Ⅳ遺跡	楡木Ⅰ遺跡、上原Ⅳ遺跡、西久保Ⅳ遺跡	楡木Ⅰ：縄文土坑1、平安住居跡4・竈屋1・土坑、近世礎石建物跡1・石垣1・土坑・溝 上原Ⅳ：中・近世土坑6 西久保Ⅳ：縄文掘立柱建物跡2・柱列3・土坑145、平安住居跡1・焼土遺構4・畑跡、近世畑跡	平24.12.7
8	米野芦沼遺跡	米野芦沼遺跡	縄文竪穴住居1・土坑2、平安竪穴住居1・土坑1、中世・近世土坑5・ピット8	平24.11.19

番号	報告書名	遺跡名	内 容	発行年月日
9	はがとうぶだんち 芳賀東部団地遺跡	芳賀東部団地遺跡	縄文竪穴住居3・土坑14、古墳住居24、奈良平安住居35・井戸1、近世墓12	平25.1.25
10	とみかかしのみず 富岡清水遺跡・富岡城跡	富岡清水遺跡、富岡城跡	富岡清水:縄文竪穴住居2・敷石住居2・土坑7・ピット28、奈良・平安竪穴住居29・掘立柱建物1・土坑20・溝、古代水田・畠・用水路、中近世建物2・土坑10・道路状遺構・溝、富岡城跡:弥生竪穴住居7・土坑3、古墳円墳2、戦国城郭1	平24.12.25
11	ふかさわ 深沢Ⅱ遺跡	深沢Ⅱ遺跡	縄文竪穴住居1・土坑3・風倒木痕、平安竪穴住居2・ピット10	平25.1.23
12	ながの ほんまつ 長野原一本松遺跡(6)	長野原一本松遺跡	縄文住居62・掘立柱建物跡7・埋嚢5・炉1・土坑・配石1、平安土坑、近世土坑	平25.3.25
13	しもくわすえんじょうほう 下栗須円浄法遺跡	下栗須円浄法遺跡	飛鳥古墳2	平25.2.20
14	わたぬきほらきた 綿貫原北遺跡	綿貫原北遺跡	古墳竪穴住居3・土坑1・溝17、飛鳥・奈良・平安竪穴住居16・井戸1・土坑25・溝17、中世掘立柱建物37・土坑146・井戸17・溝65、近世掘立柱建物1・土坑121・井戸2・墓19・溝49・復旧溝群4	平25.2.28
15	おうくぼ 王久保遺跡	王久保遺跡	奈良平安竪穴住居25・掘立柱建物1・鍛冶遺構1・土坑7・溝10、中世土坑1	平25.2.27
16	うしこ 丑子遺跡・上細井五十嵐遺跡	丑子遺跡、上細井五十嵐遺跡	丑子:弥生竪穴住居1、古墳竪穴住居33・土坑、奈良竪穴住居3、平安竪穴住居1、中近世堀2・土坑・溝・井戸・ピット、上細井五十嵐:縄文竪穴住居1、古墳土坑、平安竪穴住居4・水田、中近世土坑・溝	平25.2.28
17	よこかべなかむら 横壁中村遺跡(13)	横壁中村遺跡	縄文住居18	平25.3.22
18	かみほそいせみやま 上細井蟬山遺跡	上細井蟬山遺跡	縄文前期竪穴住居1・竪穴2、飛鳥古墳1、古墳竪穴住居1、飛鳥竪穴住居1、奈良竪穴住居2、平安竪穴住居25、平安道路1・井戸1、土坑136	平25.3.18
19	かみちよう 上町・時沢西紺屋谷戸遺跡	上町・時沢西紺屋谷戸遺跡	飛鳥竪穴住居3・土坑1、奈良竪穴住居20・掘立柱建物4・土坑・ピット、平安竪穴住居24・土坑・掘立柱建物4・道路・溜井、中世土坑・掘立柱建物1、近世水田	平25.3.18
20	かみたけし 上武士・堀北遺跡	上武士・堀北遺跡	縄文住居3・土坑11、古墳墳墓2、平安住居1・竪穴遺構3・掘立柱建物1・井戸1・土坑16・ピット5・溝23・水田1	平25.3.18
21	とうかいち 十日市遺跡 住遺跡 遺跡 千代開北遺跡 千代開南 舞台遺跡	十日市遺跡・住遺跡・千代開南遺跡・千代開北遺跡・舞台遺跡	十日市:縄文住居1・土坑21・ピット27、古墳墳墓1・溝1、平安住居72・竪穴遺構4・掘立柱建物2・土坑129・溝1、火葬墓1、中世掘立柱建物32・竪穴15・土坑280・礎石建物1・集石5・井戸8・溝32・土坑墓12・ピット983 住遺跡:平安住居12・土坑29・溝1、中世土坑29、土坑墓2・ピット65・溝3 千代開南:平安住居11・土坑140・土坑墓2、中世掘立柱建物2・ピット125・溝7 千代開北:縄文住居1・土坑3・ピット65、平安住居2・土坑16・溝1、中世土坑8・井戸1・溝5 舞台:縄文住居2・土坑8・集石1・ピット46、古墳～奈良・平安溝1、中世溝6	平25.3.18
22	あみだいじほんごう 阿弥大寺本郷遺跡	阿弥大寺本郷遺跡	古墳竪穴住居88・水田・畑、平安住居14・掘立柱建物3・井戸1、中世方形館・掘立柱建物3・竪穴状遺構3・井戸7・畑	平25.3.18

番号	報告書名	遺跡名	内 容	発行年月日
23	あら やしき 新屋敷遺跡・上西根遺跡・関遺跡(1)	新屋敷遺跡・上西根遺跡・関遺跡	新屋敷:奈良竪穴住居1、中世・近世土坑38・ピット50 上西根:古墳竪穴住居29・竪穴状遺構5・溝1、奈良・平安竪穴住居31・竪穴状遺構7・溝2、中世・近世礎石建物1・柵2・溝2・井戸2・土坑105・ピット131 関遺跡:古墳竪穴住居13・溝1、奈良・平安竪穴住居8、中世・近世墓坑3・柵1・溝5・井戸5・土坑24・ピット88	平25.3.18
24	よし い かわし むじゆく 吉井川下宿遺跡	吉井川下宿遺跡	古墳竪穴住居1、江戸建物3・井戸1・道・鍛冶3・土坑4	平25.3.12
25	わたぬき い せ 綿貫伊勢遺跡	綿貫伊勢遺跡	古墳・奈良・平安竪穴住居298・掘立柱建物2・土坑239・井戸6・窠1・土器埋設遺構3・溝40、中世掘立柱建物24・土坑43・井戸11・墓1・火葬跡2・溝13、近世土坑1・溝1	平25.3.18
26	つつみ 堤遺跡	堤遺跡	縄文草創期石器ブロック6・後期住居11・土坑81・埋燬炉2・焼土遺構3・配石2・集石1・旧河道跡、平安竪穴住居1・溝2、中近世竪穴状遺構6・火葬跡4・溝2・井戸1・土坑12・ピット10	平25.3.18
27	かぎまつ 笠松遺跡・堀廻遺跡・天良七堂遺跡	笠松遺跡・堀廻遺跡・天良七堂遺跡	笠松:奈良・平安掘立柱建物9・ピット・溝、奈良・平安・中世道路側溝、中世土坑・井戸・溝・ピット 堀廻:平安・中近世竪穴状遺構1・土坑6・溝4 天良七堂:奈良・平安・中世硬化面・溝	平25.3.19
1	しづかわし 浜川市 しろ い にい や 白井二位屋遺跡 4	白井仁位屋遺跡 4	古代住居20、土坑153、溝3、ピット多数、性格不明遺構3、畠跡多数	平24.10.31
2	しづかわし し ない い せき 浜川市市内遺跡 6		平成23年度試掘調査・範囲確認調査結果報告	平25.3.25
3	かみ み ほら だ ひがし みね じょうもん じ 上三原田 東峯遺跡Ⅱ区 縄文時代	東峯遺跡Ⅱ区	縄文住居16、土坑119	平25.3.25
4	かみ み ほら だ ひがし みね 上三原田 東峯遺跡Ⅲ区	東峯遺跡Ⅲ区	古代住居8、土坑95、竪穴状遺構1、地下式土坑1、溝状遺構2	平25.3.25
1	たか ぎ 市 高崎市 しば ぎ せき じん 柴崎・隼人遺跡 3	同左	古代竪穴2、溝2、土坑4、水田跡、ピット	平24.8.31
2	すみよし ちやう 住吉町遺跡 2	同左	古代水田跡、近世～近代建物1、ピット4	平24.8.31
3	かみ なかい にし や しき 上中居・西屋敷遺跡 4	同左	古墳土坑2、ピット2、古代溝2、中近世溝3、井戸3、土坑11、ピット7	平24.9.28
4	あずま ちやう 東町遺跡 7	同左	古代水田、中世溝2、近世遺物	平24.10.31
5	しも さと み やが い と しも むら 下里見宮谷戸遺跡第1次 下室 だ まち 田街遺跡 上中居荒神遺跡第3次	同左	縄文～弥生包含層、古墳竪穴5、溝1、土坑2、畠跡、古代竪穴1、畠跡、道状遺構、水田、中世以降溝3、土坑4、ピット14、近世以降溝2	平25.3.31
6	むなか い せき ぐん 棟高遺跡群 1	棟高水窪3次・棟高辻の内5次・棟高辻久保2次	縄文包含層、古墳竪穴12、掘立柱建物1、溝、畠跡、古代竪穴50、井戸4、溝、中世井戸3、ピット群	平25.3.26
7	しも たま ざい だ しも 下滝・斎田下遺跡	同左	古墳竪穴7、古代竪穴3、中世土坑12、ピット17	平25.3.15
8	みづぬま てら ざわ 水沼寺沢遺跡	同左	縄文竪穴20、土坑、弥生土坑、古代竪穴14、鍛冶遺構3、土坑、耕作痕、中近世竪穴2、土坑、近世墓1	平25.3.29
9	しもの じょう なか おき 下之城 仲沖第3次	同左	古墳水田、平安水田	平25.3.31
10	しもの じょう むら まえ 下之城 村前第7次	同左	古代水田、溝、土坑、中世土坑、近世以降溝、土坑	平25.3.29
11	しも さい だ い せき ぐん 下斎田遺跡群 3	下斎田遺跡群・下斎田重土薬師遺跡	縄文包含層、古墳1、方形周溝墓4、竪穴6、溝14、井戸4、土坑14、ピット36、畠跡、古代中世溝4、中世以降溝18、井戸2、土坑墓5、火葬施設1、土坑5、ピット6	平25.3.31
12	しも さい だ い せき ぐん 下斎田遺跡群 1	上滝遺跡群・下斎田向遺跡	縄文包含層、土坑2、古墳溝4、古代竪穴7、掘立柱建物5、井戸16、土坑、水田、中世井戸、溝	平25.3.31

番号	報告書名	遺跡名	内 容	発行年月日
13	しもさいだ いせきぎん 下斎田遺跡群 2	上滝遺跡群・下斎田向遺跡	縄文包含層、古墳溝2、古代竪穴7、掘立建物5、井戸5、土坑75、ピット82、溝64、配石1、水田、中世以降土坑3、溝61、井戸16、ピット3	平25.3.31
14	たかきまじょう 高崎城遺跡20	同左	古墳竪穴1、古代竪穴3、中世溝2、近代建物基礎、溝5、井戸1	平25.3.21
15	しやうせい 平成24年度市内遺跡	-	市内確認・試掘調査・工事立会の概要	平25.3.29
1	たてばやし し 館林市 館林市埋蔵文化財発掘調査報告書第49集 館林市内遺跡発掘調査報告書	間堀1、日向古墳群、岡野、屋敷前、岡、館林城跡、城下町、天神遺跡		平25.3.31
1	たまむらまち 玉村町 行人塚Ⅵ遺跡 上之手石塚Ⅴ遺跡 八幡原赤塚Ⅳ・宇貫Ⅲ遺跡	行人塚Ⅵ、上之手石塚Ⅴ、八幡原赤塚Ⅳ、宇貫Ⅲ遺跡		平24.9.28
2	あかまち 深町遺跡・深町遺跡(第2次調査)・深町Ⅱ遺跡・蛭堀東遺跡・水口遺跡・若宮遺跡・玉村町No.711遺跡	深町、(第2次調査)、深町Ⅱ、蛭堀東、水口、若宮、玉村町No.711遺跡		平25.1.31
1	とみおか し 富岡市 うだえ げはら 宇田恵下原遺跡	同左	縄文住居7、集石1、土坑6、弥生住居3、古墳住居3、古代住居4、中世溝跡1、集石1、土坑7、近世溝跡2、時期不明住居1、竪穴2、掘立柱建物跡1、溝3、土坑1	平25.3.19
2	し せきぎんとうみおかせい しじょう ないようかくじん 史跡旧富岡製糸場 内容確認調査報告書1	同左	近現代 西置繭所周囲 煉瓦造排水溝、除雷施設、土管、溝跡、近現代 蚕種製造所跡 建物基礎、布基礎、蚕種洗落場跡、石組側溝、地下室跡	平25.3.19
1	ながの はらまち 長野原町 ちやうない いせき 町内遺跡Ⅻ	坪井、小滝Ⅱ、上原Ⅰ遺跡	平成23年度緊急発掘調査報告書	平25.2.15
2	やまし 山岸Ⅱ遺跡	同左	縄文前期末土坑1、古代住居1、陥し穴3	平25.2.15
3	さんだら 三平Ⅰ遺跡	同左	縄文早期後半～後期中葉土坑25、弥生中期土坑3、古代住居1、焼土遺構2、陥し穴8、不明遺構1、時期不明土坑4	平25.3.15
1	ふじおか し 藤岡市 し ない いせき 市内遺跡ⅩⅨ		市内開発に伴う試掘・確認調査(11カ所)	平25.3.26
2	じん だ なかみち 神田吹谷戸C遺跡 神田中道遺跡 神田中道B遺跡 神田中道C遺跡 神田中道D遺跡 神田神明B遺跡 神田西林寺遺跡 神田西林寺B遺跡 矢場神明B遺跡 矢場前原B遺跡 神田丸沢B遺跡 矢場三ツ橋B遺跡 一平成21～24年度 県営経営体育成基盤整備事業に伴う藤岡南部地区遺跡群埋蔵文化財発掘調査報告書一	神田吹谷戸C、神田中道、神田中道B、神田中道C、神田中道D、神田神明B、神田西林寺、神田西林寺B、矢場神明B、矢場前原B、神田丸沢B、矢場三ツ橋B遺跡	古墳～平安住居196、中近世溝166、井戸1、祭祀遺構2	平25.3.15
3	さんぼん おおや いせき E23a 三本木大谷B遺跡 E さんぼん なかみちひがし いせき 23b 三本木中道東B遺跡 E さんぼん なかみちひがし いせき 23c 三本木中道東C遺跡 一 さんぼん ぎこう ぎんなん ちぞうせい ともな まいぞう 三本木工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一	三本木大谷B遺跡、三本木中道東B遺跡、三本木中道東C遺跡	古墳～平安住居87、掘立柱建物3、竪穴状遺構2、溝19、土坑161、ピット854	平24.3.26

番号	報告書名	遺跡名	内 容	発行年月日
4	E23 d 三本木中道東 E 遺跡 E23 e 三本木中道東 F 遺跡 E23 g 三本木中道東 II 遺跡 E24 a 三本木大谷 A 遺跡 E 24 b 三本木水口 A 遺跡 E 24 d 三本木中道東 D 遺跡 一三 本木工業団地造成に伴う埋蔵文 化財発掘調査報告書一	三本木中道東 E 遺跡、三本木中 道東 F 遺跡、三本木中道東 II 遺 跡、三本木大谷 A 遺跡、三本木 水口 A 遺跡、三本木中道東 D 遺 跡	古墳～平安住居95、掘立柱建物7、竪穴状遺構2、 溝53、土坑203、ピット848	平25.3.25
5	F44 鮎川藤ノ木 C 遺跡 一西 武建材株式会社砂利採取事業に 伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 一	鮎川藤ノ木 C 遺跡	古墳～平安住居18、竪穴状遺構3、掘立柱建物8、 土坑20、ピット551	平25.3.29
6	F43 富士井戸 II C 遺跡 一西 上 武幹線鉄塔新設工事に伴う埋 蔵文化財発掘調査報告書一	富士井戸 II C 遺跡	縄文包含層、縄文住居1、古墳～平安住居14、竪 穴状遺構3	平25.3.31
1	前橋市 推定上野国府～平成23年度調査 報告～	上野国府	古墳～平安時代の住居19、古代の溝3、古代の土 坑1、中世の溝5、中近世の井戸3、ピット群	平25.2.28
2	もとそうじやちゅうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(40)(46)(49) (50)	同左	縄文住居5、土坑2、埋壘2、古墳～平安住居64、 鍛冶遺構1、土坑5、中近世井戸4	平25.3.30
3	もとそうじやちゅうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(41)(42)(43)	同左	縄文、古墳～古代住居71、鍛冶工房1、竪穴状遺構3、 掘立柱建物1、土坑1、溝2、井戸1、道路状遺構1、 風倒木1	平25.3.22
4	あんづら ぼら 安通・洞No. 2 遺跡	同左	縄文時代後晩期の遺物包含層、縄文時代住居1	平25.3.22
5	もとそうじやちゅうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(39)	同左	古墳～古代住居44、溝9、土坑26、柱穴	平25.3.22
6	もとそうじやちゅうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(44)	同左	古墳～古代住居2、溝8、堀2、土壘墓1、地下式坑1、 井戸4、土坑21、ピット104	平25.3.22
7	もとそうじやちゅうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(45)	同左	堀3、土坑5、井戸6、柱列跡2、ピット72	平25.3.22
8	もとそうじやちゅうみ いせきぐん 元総社蒼海遺跡群(47)	同左	堀3、土坑5、井戸6、柱列跡2、ピット72	平25.3.27
9	ろくく 六供遺跡群No. 7	同左	古墳住居12、土坑6、柱穴15、溝2	平25.2.28
10	あさくらこうぎょうだん いせきぐん 朝倉工業団地遺跡群No. 3	朝倉工業団地遺跡群	古墳水田、古墳溝、溝	平24.11.9
11	あさくらこうぎょうだん いせきぐん 朝倉工業団地遺跡群No. 4	朝倉工業団地遺跡群	平安水田、溝7	平25.3.22
1	みどり市 みどり市内遺跡 4	阿左美遺跡元屋敷地区、清水北 口、岩宿 II、北山、阿左美遺跡 仲地区、鹿清水、阿左美遺跡元 屋敷地区、高松 A、岩宿遺跡周 辺部、谷端、宮久保遺跡	岩宿(旧石器)時代の遺物散布地、縄文住居3、土 坑30以上、柱穴多数、平安住居1、柱穴多数、中 世土坑、柱穴多数	平24.3.26
2	みどり市遺跡地図	ゴンズイ・ゴランダ遺跡他計267 遺跡	みどり市内の埋蔵文化財包蔵地地図	平24.3.26
1	みなかみ市 なぐらみ じょうし 名胡桃城址	同左	平成4年度～18年度に実施した史跡整備事業に伴 う調査で、天正年間の山城構造を把握した。	平25.2.25
1	けんきょうい 群馬県内公共開発に伴う平成23 年度県内遺跡発掘調査報告書	引切塚、青柳宿上遺跡 など	試掘・確認調査	平25.3.22
2	いわおし いせき だいに じちやうき 岩押Ⅲ遺跡一第4次調査(都) 3.3.8高崎駅東口線社会資本整 備総合交付金(活力基盤)事業に 伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	同左	古代水田	平25.3.25

4 平成24年度県・市町村等行事一覧

番号	遺跡名・行事名	場 所	実施年月日	主催・共催	内 容	見学者数
1	あんなかし 安中市 西横野中部地区遺跡群(二軒在家原田Ⅱ遺跡)現地説明会	安中市松井田町二軒在家地内	平24.9.8	市教委	縄文住居、古墳住居、配石墓、弧状列石、土坑、溝、円墳等の現地説明及び資料配布	120
1	いせぎし 伊勢崎市 パネル展—宮柴前遺跡—	市清掃リサイクルセンター 21	平24.4.1 ～平25.3.31	市教委	天明3年の浅間山大噴火により埋没した水田、畑、水路、人の足跡等の写真パネルを展示	
2	埋蔵文化財展「発掘!! 古代の役所」	スマーク伊勢崎	平24.8.3 ～平24.8.5	市教委	伊勢崎市、太田市、深谷市で確認された郡衙に関連する遺物と写真パネルを展示	1,572
3	埋蔵文化財パネル展「女堀の発掘はじめました」	市役所東館1F市民ホール	平24.10.31 ～平24.11.7	市教委	国指定史跡女堀の発掘調査成果を写真パネルにして展示	252
4	埋蔵文化財パネル展「女堀の発掘はじめました」	市民サービスセンター宮子	平24.11.13 ～平24.11.25 平25.3.5 ～平25.3.31	市教委	国指定史跡女堀の発掘調査成果を写真パネルにして展示	321
5	史跡女堀現地説明会	発掘調査現場	平24.12.9	市教委	地元を対象にした現地説明・資料配布	115
1	おおいずみまち 大泉町 町所蔵資料 説明会	大泉町文化むら(民俗資料館等)	平24.5.25	町教委	校外学習の開催に伴い、町外小学生を対象とした埋蔵文化財展示室及び民俗資料館等の説明会を開催した。	75
2	「古海地内10番古墳」遺跡展	大泉町文化むら(展示ホール棟)	平25.1.22 ～平25.1.27	町教委	報告書の刊行を記念して、同古墳出土遺物等の展示会を「大泉町児童生徒作品展」(学校教育課主催)と同時に開催した。	2,415
3	親子で歴史とグルメツアー	大泉町文化むら(文化財展示室)	平25.1.27	大泉観光協会町教委	観光協会主催の企画開催に伴い、参加者への町所蔵文化財の説明会を行った。	27
1	おとなし 太田市 埋蔵文化財現地説明会	発掘現場	平24.12.15	市教委	史跡上野国新田郡庁跡と新田郡衙の北隈溝、区画溝、正倉跡の説明会	310
2	埋蔵文化財現地説明会	発掘現場	平25.1.21	市教委	地元小学校6年生児童を対象にした、史跡上野国新田郡庁の説明会	86
3	太田市文化財講演会	太田市立藪塚文化ホール	平24.11.24	市教委	「縄文土器の話」国学院大学名誉教授 小林達雄	78
4	第8回金山歴史講演会	史跡金山城ガイダンス施設	平24.5.13	市教委	「太田金山城の最新研究」江戸東京博物館学芸員 齋藤慎一	68
5	第9回金山歴史講演会	史跡金山城ガイダンス施設	平24.10.6	市教委	「金山の歴史的に見た自然と今後の管理の在り方」東京農工大学名誉教授 亀山 章	33
6	第10回金山歴史講演会	史跡金山城ガイダンス施設	平25.2.17	市教委	「金山城八王子山ノ砦について」太田市職員 宮田 毅	80
7	太田市の古墳を知ろう	史跡金山城ガイダンス施設	平24.7.14 ～平24.8.26	市教委	企画展示	3,669
8	江田館跡展	史跡金山城ガイダンス施設	平24.5.12 ～平24.7.1	市教委	企画展示	2,859
9	せいぞろいオクマン山古墳の埴輪	藪塚本町歴史民俗資料館	平24.4.28 ～平24.6.10	市教委	オクマン山古墳から出土した形象埴輪を一堂に展示	614

番号	遺跡名・行事名	場 所	実施年月日	主催・共催	内 容	見学者数
1	しづか 夏休み子ども文化財教室	渋川市赤城歴史資料館	平25.8.4	市教委	オープン粘土でつくる古代のアクセサリーづくり	16
2	古代米づくり体験教室	半田早尾神社西端の水田 古巻公民館	平25.7.7 ～平25.12.1	市教委	古代米の田植え、稲刈り、収穫祭	延320
3	宇津野・有瀬遺跡講演会	渋川市北橋公民館	平25.2.23	市教委	榛名山の噴火で埋没した古墳時代の遺跡群	43
4	じょうもん講演会	渋川市北橋公民館	平25.3.2	市教委	焼町土器と火焰土器	38
1	たかぎ 北寝保窪C号墳発掘調査 現地説明会	調査現場	平24.7.15	市教委	7世紀頃の円墳の調査	73
2	多胡碑周辺重要遺跡現地説明会	調査現場	平25.3.17	市教委	多胡郡衙推定地の調査	134
1	たまむら 巡回展inたまむら「江戸に 途中下車 上福島中町遺 跡の発掘成果」	玉村町歴史資料館	平24.5.31 ～平24.7.22	町教委(玉村町歴史資料館)(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	上福島中町遺跡について	742
2	巡回展inたまむら「江戸に 途中下車 上福島中町遺 跡の発掘成果」記念講演会	玉村町文化センター	平24.6.30	町教委(玉村町歴史資料館)	上福島中町遺跡について講演	60
3	埴輪作り教室	玉村町文化センター	平24.7.26 平24.8.17 ～平24.8.19	町教委(玉村町歴史資料館)	(7.26)作品制作 (8.17～8.19)作品展示	20
4	アンギン編み教室	玉村町文化センター	平24.8.2 平24.8.3	町教委(玉村町歴史資料館)	アンギン編み教室を開催	21
5	歴史資料館ナイトツアー	玉村町歴史資料館	平24.8.8	町教委(玉村町歴史資料館)	暗闇のなか歴史資料館と文化財整理室を見学	15
6	軍配山カレーを作ろう	玉村町文化センター	平24.11.23	町教委(玉村町歴史資料館)	小学生を対象に、玉村カレーをベースにして、ご飯は南小の古代米を使用したカレー作り教室を開催。軍配山古墳に見立てて飾り付けをした。	8
7	玉村南中学校職場体験学習	玉村町文化財整理室・県埋文事業団発掘現場	平24.6.19 ～平24.6.21	町教委	発掘調査体験・勾玉作り体験・遺跡整理作業	4
8	玉村中学校職場体験学習	玉村町文化財整理室・県埋文事業団発掘現場	平24.11.20 ～平24.11.22	町教委	発掘調査体験・勾玉作り体験・遺跡整理作業	2
9	歴史講座「下之宮高俣遺跡の中世館」	玉村町文化センター	平25.1.26	町教委	東毛広域幹線道路に伴う発掘最新成果について講演	51
10	出前講座「玉村町の災害史」	玉村消防署	平24.4.12 平24.4.19	町教委 玉村消防署	玉村町で起きた災害について講座	12
11	出前講座「玉村の古墳時代」	玉村小学校	平24.5.18	町教委	小学6年生を対象に、玉村の古墳時代について講座	96
12	出前講座「玉村の戦国時代」	玉村小学校	平24.8.30	町教委	小学6年生を対象に、玉村の戦国時代について講座	96
1	とみがし 富岡市 上高田社宮子原遺跡・中 里下原遺跡現地説明会	妙義町上高田・中里 上高田社宮子原遺跡・中里下原遺跡地内	平25.9.8	市教委	調査成果の現地解説、パンフレットの配布と出土品の展示	162
2	富岡市内出土品展	市立美術博物館	平25.2.8 ～平25.2.17	市教委	平成24年度の市内の発掘調査及び整理作業の速報展、遺跡説明会・体験コーナーの併設	1,277
3	史跡富岡製糸場発掘調査現地説明会	富岡製糸場	平25.3.11	市教委	調査成果の現地解説、パンフレットの配布と出土品の展示	100
1	ながの 長野原町 縄文時代中期後半の住居跡内遺物廃棄－最近の整理調査から－	若人の館	平24.11.3	町教委	平成20年度に調査した林中原1遺跡(町営住宅)の住居内一括廃棄土器を展示。	652

番号	遺跡名・行事名	場 所	実施年月日	主催・共催	内 容	見学者数
2	平成24年度 町営林土地改良事業に伴う埋蔵文化財調査 上原Ⅱ遺跡 上原Ⅲ遺跡	若人の館	平24.11.3	町教委 (株)歴史の杜	町文化祭で出土遺物と写真パネルを展示。	652
3	上原Ⅳ遺跡現地説明会	林字上原	平24.11.7 平24.11.8	町教委 (株)歴史の杜	町営林土地改良事業で発掘調査を実施した上原Ⅳ遺跡の縄文～平安集落の遺構検出状況および遺物出土状況を現地で説明。	30
1	<small>ぬまたし</small> 沼田市 広瀬・月夜野遺跡・文化財展(沼田市文化祭)	中央公民館3階講義室	平24.11.2 ～平24.11.4	沼田市文化協会 沼田市	発掘調査で出土した主な遺物を展示	200
1	<small>ひがしあがつままち</small> 東 吾妻町 三町合同企画展「麻藍布」	群馬県東吾妻町	平24.9.15 ～平24.9.17	主催：東吾妻町・東吾妻町教育委員会 共催：藍住町教育委員会・愛荘町	麻・藍染め・近江上布の伝統工芸技術の展示・体験	約1,000
1	<small>ふじおかし</small> 藤岡市 春季企画展「平井地区1号古墳と皇子塚古墳出土品展」	藤岡歴史館	平24.4.28 ～平24.6.10	市教委	県指定史跡「平井地区1号古墳」出土の国指定重要文化財「平井地区1号古墳出土品」を写真やパネルとともに展示公開	1,215
2	夏季企画展「藤岡6世紀の武具—100年振りに故郷に帰る諏訪神社古墳出土品—」	藤岡歴史館	平24.7.21 ～平24.9.9	市教委	東京大学総合研究博物館所蔵の諏訪神社古墳出土の衝角付冑を中心として市内の古墳から出土した武具・祭祀具を展示	1,212
3	秋季企画展「ユーモア上州 藤岡江戸の古典」	藤岡歴史館	平24.10.27 ～平24.12.9	市教委	江戸時代に古典をモチーフとして創作された和歌や狂歌などの文物について、藤岡に縁のある狂歌師の作品を交えて展示	829
4	「「高山社」と藤岡の「群馬絹遺産」	藤岡歴史館	平25.1.26 ～平25.2.17	市教委	藤岡市域に存在する「ぐんま絹遺産」について、養蚕に係る道具類と解説パネルを展示	622
5	冬 期 企 画 展 「MAIZOUBUNKAZAI—藤岡考古速報展」	藤岡歴史館	平25.3.2 ～平25.4.14	市教委	平成23・24年度に刊行された埋蔵文化財発掘調査報告書で報告された遺物の内、代表的な遺物を展示	1,249
6	「古墳時代の武具—群馬県を中心として」講演会	藤岡歴史館	平24.8.26	市教委	県埋文事業団の杉山秀宏氏による、群馬県内の古墳出土の武具の概要についての講演会	27
7	「藤岡6世紀の武具」展示解説講座	藤岡歴史館	平24.9.9	市教委	企画展示の解説と展示を見ながらのギャラリートークを実施	5
8	「百人一首と平安人の雅—ドラマを内在させる和歌—」	藤岡歴史館	平24.10.28	市教委	群馬大学教授の藤本宗利氏による、百人一首に入れられた和歌を取り上げての和歌の人的・社会的背景についての講演会	17
1	<small>まえばしし</small> 前橋市 大室古墳群公開イベント 2012「☆たんけん☆大室古墳王国！」	大室公園、大室古墳群	平24.6.10	市・市教委	古墳めぐりスタンプラリー、勾玉づくり、火おこし、古墳案内、郷土食体験等	2,434

番号	遺跡名・行事名	場 所	実施年月日	主催・共催	内 容	見学者数
2	「大室 古墳(つか)の語り部」による古墳案内	大室公園、大室古墳群	平24.5.12 他26回	市教委	市民ボランティア解説員による大室古墳群案内	551
3	前二子古墳石室復元市民プロジェクト	前橋市総合福祉会館他	平24.7.20 ～平25.1.12	市・市教委	大室公園でのオリエンテーション、前二子古墳出土の埴輪の複製品の製作	279
4	前橋・高崎連携事業文化財展(前橋会場)	前橋プラザ元気21	平25.1.9 ～平25.1.15	前橋市・高崎市・両市教委	東国千年の都『パワースポットへようこそ！～古墳時代の祈りのかたち～』・『発見されたタカラモノ～新発見！前橋・高崎の発掘調査速報～』	2,614
5	前二子古墳石室復元市民プロジェクト 冠製作完成記念考古学講演会	前橋市総合福祉会館	平25.2.24	市・市教委	「前二子古墳で見つかった杖形埴輪の謎」 講師：和田一之輔氏	74
6	前二子古墳石室復元市民プロジェクト	前橋市総合教育プラザ	平25.3.6 ～平25.3.30	市教委	「杖形埴輪の謎を探る～前二子古墳出土の杖形埴輪から～」市民プロジェクトで製作した復元品を展示	89
7	元総社蒼海遺跡群発掘調査現地説明会	元総社町	平24.9.1	市教委	元総社蒼海遺跡群(40)(41)の遺跡の説明、遺物の展示	91
1	みどり市 春期展示『みどり市の歴史と文化財』	岩宿博物館	平24.4.28 ～平24.7.16	市教育委員会	旧石器から近代にかけての市内の文化財を展示。	5,980
2	第54回企画展『人が動く、時代も動く～東日本の細石刃文化を追う～』	岩宿博物館	平23.10.6 ～平24.11.25	市教育委員会	東日本(東北地方南部から中部地方)の細石刃文化期石器群を展示し、地域の分野から人びとの動きを浮き彫りにした。県内出土資料として、枅形遺跡・鳥取福蔵寺遺跡等の出土品を展示した。	4,512
3	岩宿フォーラム2012『北関東の細石刃文化』	みどり市笠懸公民館	平24.11.3 ～平24.11.4	岩宿フォーラム実行委員会・市教育委員会	北関東細石刃文化について、周辺地域との比較等を行いその特色を明らかにした。	198
4	第55回企画展『山の恵み～みどり市の林業史～』	岩宿博物館	平25.2.2 ～平25.3.10	市教育委員会	材木生産や炭焼きに焦点を絞り、みどり市の林業史を外観。旧石器時代の石斧や弥生～平安時代の県内出土鉄斧、平安時代の鋸なども展示。	1,560
1	古代東国文化サミット(毛の国古墳サミット) かみつつけの里古墳祭り	上毛野はのにわの里公園、かみつつけの里博物館	平24.10.20	主催：群馬県、群馬県教育委員会、群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会、かみつつけの里古墳祭り実行委員会 共催：高崎市、高崎市教育委員会	王の儀式・祭り太鼓などのイベント、古代米の餅・すいとんなどの配布、飲食・地元農産物などの販売など	約8,000

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報32

平成25年11月21日 印刷

平成25年11月25日 発行

編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 渋川市北橘町下箱田784番地2

電話 0279-52-2511 (代表)

URL <http://www.gunmaibun.org/>

印刷/朝日印刷工業株式会社
